Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1310

LASER SHOT

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

CD-ROM このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド CD-ROM

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書）

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編 CD-ROM

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド CD-ROM

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

ユーザーズガイドの構成について

第１章　お使いになる前に　必ずお読みください

第２章　プリンタの使いかた　必ずお読みください

第３章　給紙・排紙のしかた　必ずお読みください

第４章　日常のメンテナンス

第５章　困ったときには

第６章　付録

おもな仕様、用語集、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを掲載しています。

巻末に、操作パネルで設定できる項目を階層で示した「メニュールートマップ」があります。設定項目や設定値を知りたいときにご活用ください。

目次

第４章　日常のメンテナンス

はじめに

このたびはキヤノンLBP-1310をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 • 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 • 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー .... [オンライン]
- コンピュータ画面上のボタン .... [設定]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system を Windows と表記しています。

Extended Unix Code を EUC と表記しています。

キヤノン内蔵型プリントサーバ NB-5F をプリントサーバ NB-5F と表記しています。

LASER SHOT LBP-1310 を LBP-1310 と表記しています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery、LASER SHOT、MaxiMem、TypeWing は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、EtherTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PowerPC、PS/55 シリーズ、PS/V シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Novell、NetWare® は、米国 Novell, Inc. の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

N5200 シリーズ、PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。

FMR シリーズは、富士通株式会社の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC Zapf Dingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

下記の書体は International Typeface Corporation の商標です。
ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成明朝体™W5、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7、平成角ゴシック体™W9 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

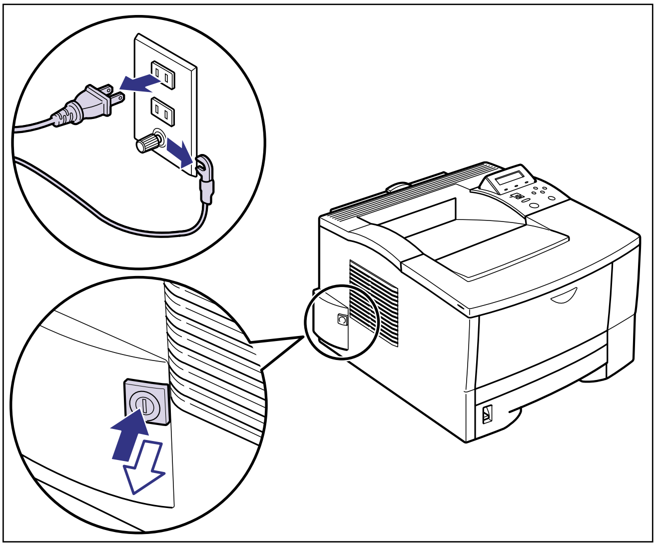
⚠ 安全にお使いいただくために

設置について

⚠ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に次のような物を置かないでください。
  機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所

・直射日光のあたる場所

・高温になる場所

・火気に近い場所

- 機器を設置する場合は、機器と床面、機器と機器の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、機器の故障や感電の原因になることがあります。
- 機器を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。機器を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→プリンタを移動する：P.4-23）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、機械内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが機器内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブル接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

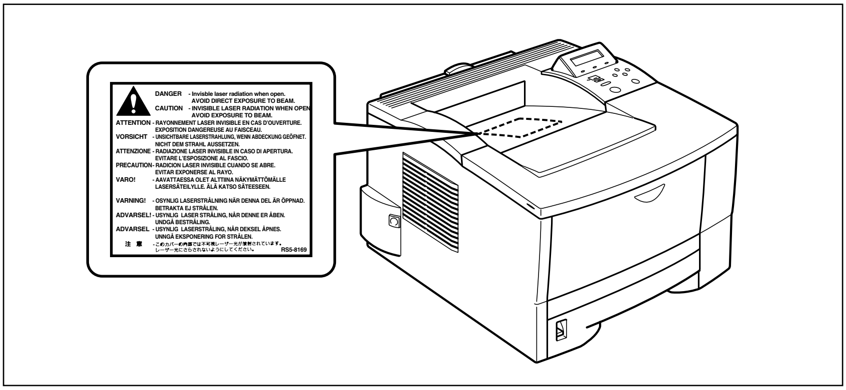
⚠ 注意

- 機器の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。



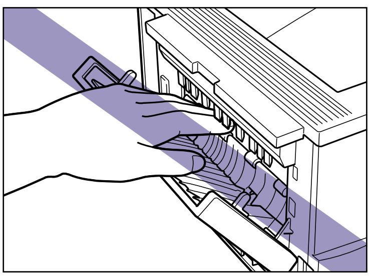
保守／点検について

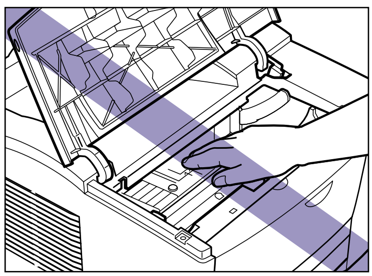
⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 注意

- 機器内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。





- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

1
CHAPTER

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ 高速プリント

18PPM（A4 時）の高速エンジンに高性能 RISC プロセッサ PowerPC とスーパー・レーザショット・チップで構成された新開発の高速コントローラを搭載して超高速処理を実現しました。ウォームアップ 0 秒（電源投入時は 10 秒以下）のクイックスタートやメモリ効率化機能「MaxiMem」、TrueType フォントを高速出力する「TypeWing」機能の強化により、コピーモードのみならずファーストプリントや複数ページ印刷も印字速度が向上し、快適な高速プリントを可能にしました。

■ 両面ユニット標準搭載

両面ユニットを標準装備。これにより、用紙の節約やファイルスペースの効率化が図れます。また、設置スペースの効率化にも十分配慮しています。

■ エコロジー

「資源エネルギー庁長官賞」受賞経験のある低消費電力を実現したオンデマンド定着方式を採用。オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「パネルオフモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分＊に抑えて印刷するトナー節約モード等の機能を備える優れたエコロジープリンタです。

＊注　データによって異なります。

■ 超高精細画質

初めて印字機構に 1200DPI エンジンを搭載し、文字はもちろん写真データやグラデーションの印刷において超高精細画質を可能にしました。また、LIPS IV もデータ解像度 1200DPI 処理に対応することで「スーパーファインモード」を実現し、鮮明な画質の表現力を高めました。

■ ネットワークプリンタ

拡張インタフェースに各種オプションのプリントサーバを装着することによって多様なホスト／ OS 環境に対応するネットワークプリンタとなります。また、高速 DMA 転送（プリンタのメモリに直接データを送る）や自動インタフェース切り替え、自動エミュレーション切り替え機能によって、ネットワーク環境下での快適なプリンティングが行えます。また、オプションのネットワークボードには、ブラウザを使ってネットワークボードの設定が変更できる HTTP サーバを内蔵しており、ネットワークボードの管理をネットワーク上のパソコンから行えます。

■ ユーザフレンドリー

USB インタフェースを標準装備し、Windows のみでなく Mac OS にも対応可能となった簡単操作が自慢の LIPS IV ドライバを用意しました。
印刷したい設定をアイコンで簡単に選択できる「お気に入り」メニューや、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等の便利なプリント機能を使用できます。
さらに、パソコン上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Console」、「NetSpot Device Installer」と、プリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」等を同梱しています。

メモ
- 本プリンタに付属されているソフトウェアの対応 OS、インストールのしかた、詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

■ TrueType フォント「FontGallery」同梱

和文 20 書体、かな 31 書体、欧文 100 書体を標準で CD-ROM に収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG 環境を実現できます。
また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGallery の各種 TrueType フォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。

メモ
- 同梱のプリンタドライバや各種ユーティリティソフトウェアの対応 OS につきましては、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

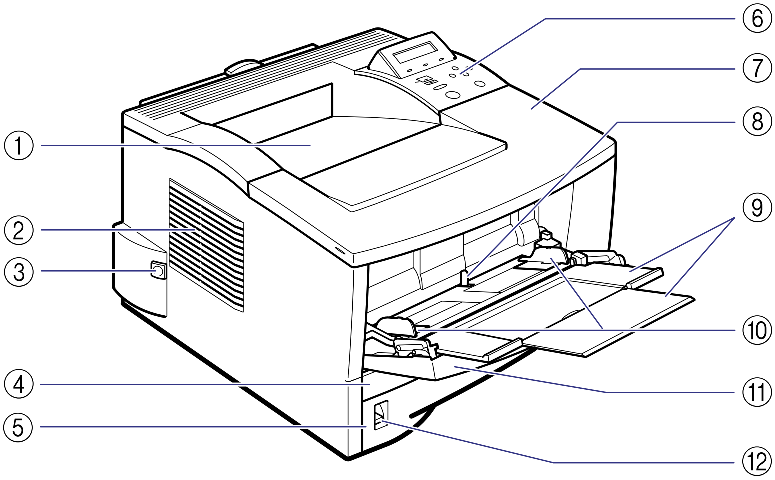
プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

⚠注意 • 本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

メモ • 操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。



① **排紙トレイ**
プリントされた用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→ P.3-12）

② **冷却用吸気口**
プリンタ内部冷却用の吸気口です。

③ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。（→P. 2-6）

④ **両面ユニット**
両面プリントするためのユニットです。（→ P.3-43）

⑤ **給紙カセット**
最大 250 枚までの A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブの普通紙がセットできます。（→ P.3-16）

⑥ **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（→ P.1-7）

⑦ **上カバー**
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→ P.4-3、P.5-6）

⑧ **給紙トレイ用紙センサー**
給紙トレイの用紙の有無を検知します。

⑨ **補助トレイ**
A4 サイズなど大きい用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。（→ P.3-26）

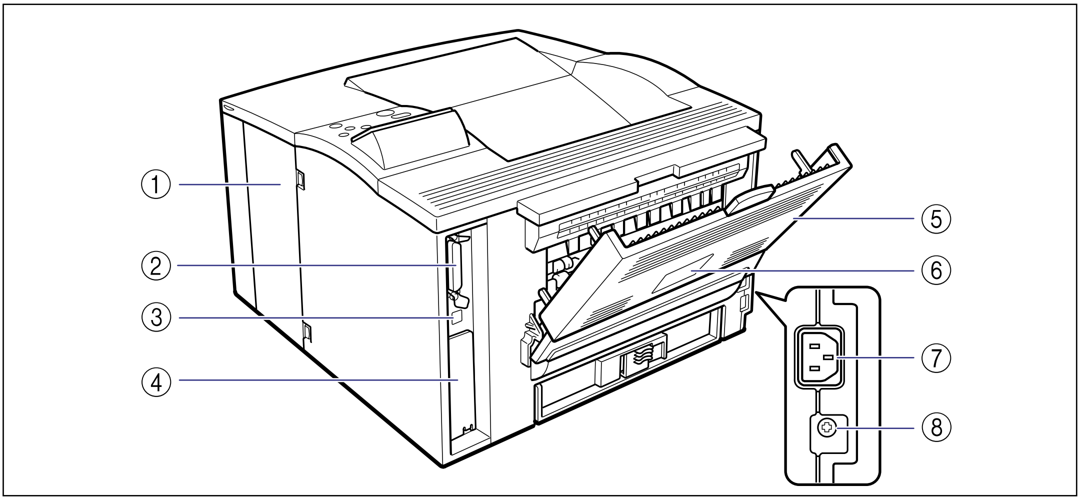
⑩ **用紙ガイド**
セットした用紙の左右を固定するためのガイドです。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。

⑪ **給紙トレイ**
用紙を給紙トレイから給紙するときに、用紙をセットします。（→ P.3-25）

⑫ **用紙残量表示**
給紙カセットの用紙残量が表示されます。（→ P.3-23）

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。



① **右カバー**
オプションの RAM や ROM を取り付けるときに、ここを開けて作業します。

② **パラレルコネクタ**
IEEE1284 準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。(→ P.6-5)

③**USB コネクタ**
USB インタフェースケーブルの接続部です。パソコンがUSBインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

④ **拡張ボードスロット**
オプションのプリントサーバを取り付けます。

⑤ **サブ排紙トレイ**
プリントされた用紙が上向き（フェースアップ）で排紙されます。（→ P.3-13）

⑥ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー(Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値(6.6A)は、平均消費電流です。(→ P.6-22)

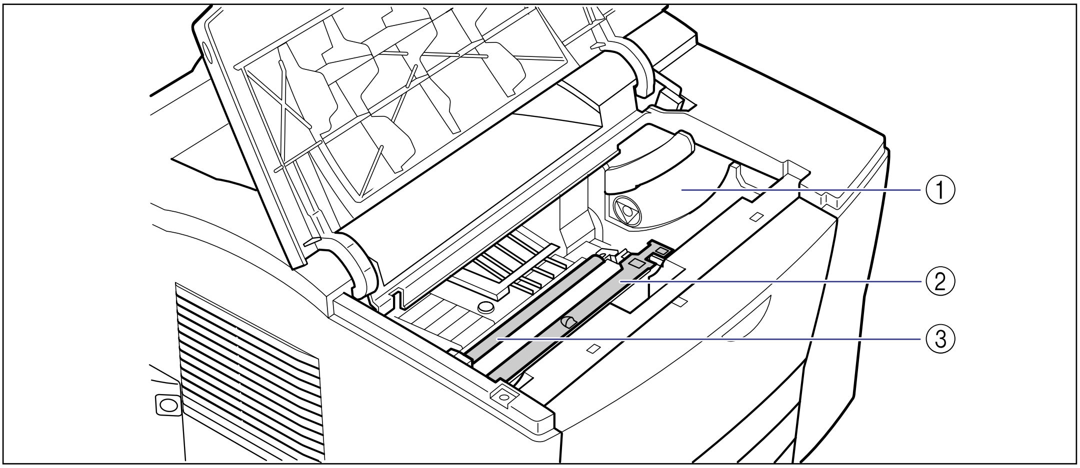
⑦ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑧ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

上カバー内部

上カバー内部の各部の名称と機能を説明しています。

重要 • 転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



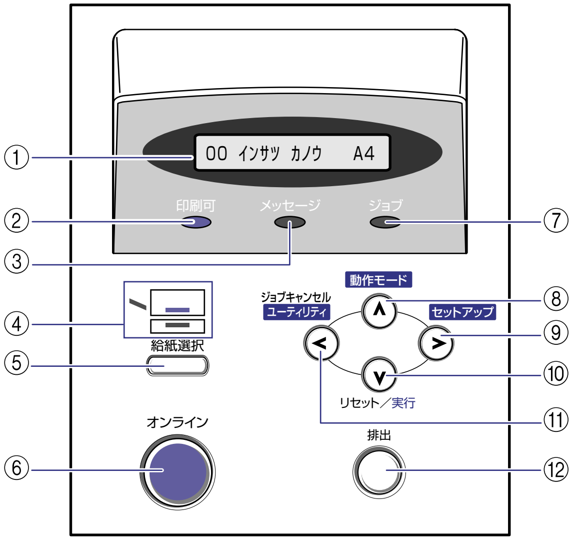
① **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするときは、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。（→ P.4-5）

② **搬送ガイド**
上カバー内部の紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→ P.5-8）

③ **転写ローラ**
プリント時にトナーを用紙に転写させる重要な部品です。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



① **ディスプレイ**
プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。(→次項目)

② **印刷可ランプ（緑色）**
点灯：
プリント可能な状態。(オンラインでパネルオフモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。)
点滅：
自己診断中または、ウォーミングアップ中。
消灯：
プリントできない状態。

③ **メッセージランプ（オレンジ色）**
オレンジ色点灯：
プリンタに何かトラブルが起きてプリントできない状態。(オフラインでパネルオフモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。)
消灯：
プリンタが正常な状態。

④ **給紙元表示ランプ（緑色）**
点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、または給紙カセットが装着されていない状態。
消灯：
現在選択されていない状態。オプション品を含む給紙カセットまたはペーパーフィーダが装着されていない状態。

⑤ **［給紙選択］キー**
オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
給紙選択メニュー時：
給紙元やトレイ用紙サイズの設定値が順に切り替わります。

⑥ [オンライン] キー／オンラインランプ（緑色）

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。
エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。
キー内部にオンラインランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：
オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。
点滅：
オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：
オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）。ただし、プリンタがパネルオフモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。（→ P.2-8）

⑦ ジョブランプ（緑色）

点灯：
プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：
プリントデータを処理している状態。
消灯：
プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

⑧ [動作モード]（∧）キー

オフライン時：
動作モードメニューを表示します。3 秒以上押し続けると優先エミュレーションメニューを表示します。（→ LIPS 機能ガイド）
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑨ [セットアップ]（>）キー

オフライン時：
セットアップメニューを表示します。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑩ [リセット／実行]（V）キー

オフライン時：
1秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。（→ P. 2-25）
5 秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。（→ P. 2-26）
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニュー（設定値が表示されている状態）では、設定値を確定します。

⑪ [ユーティリティ／ジョブキャンセル]（<）キー

オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。（→ P.2-24）
ジョブランプ消灯時はユーティリティメニューを表示します。（→ P.4-19）
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。設定値を減らします。

⑫ [排出] キー

オフライン時：
プリンタのメモリに残っているプリントデータを強制的にプリントし、ジョブを終了させます。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05　ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。
オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。
何らかの原因でプリントデータが途中で途切れたり、プリントが中断したりしたような場合、ジョブランプが点灯したままプリンタが停止してしまうことがあります。このようなときには、[排出] キーでメモリに残っているデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合は、実行中のジョブを終了します（ジョブランプ消灯）。（→ P. 2-23）

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態



操作パネルでメニュー操作中の状態



① 状態、動作欄
プリンタの状態や動作モードを表示します。

② 給紙元、用紙サイズ欄
現在選択されている給紙元の用紙サイズを略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。（レター：LT、リーガル：LG、エグゼクティブ：EX、ユーザペーパー：80 〜 99、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2、洋形 4 号封筒：Y4）

プリンタの使いかた

2
CHAPTER

この章では、本プリンタの基本的な使用方法について説明しています。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ
- プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

■ LIPS IV プリンタドライバ

Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

■ NetSpot Console

パソコンからネットワークで接続したプリンタの管理を行うユーティリティソフトです。デバイスの一覧表示やマップ表示、プロトコルの詳細な設定、デバイスの状態の表示や通知、ジョブの操作など、さまざまな情報の設定や表示を行うことができます。NetSpot Console は 1 台のパソコンにインストールすることで、ネットワークに接続されているパソコンから Web ブラウザを使用して利用できるようになります。

■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ
- 「NetSpot Job Monitor」は双方向パラレルインタフェースに対応しています。「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のプリンタケーブルが必要です。

DOS の場合

DOS のアプリケーションソフトで本プリンタを使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。本プリンタは、キヤノン独自のLIPS モードのほか、PC-9800 シリーズのN201 エミュレーションモード、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）のESC/P エミュレーションモードなどの動作モードを内蔵していますので、キヤノン製 LIPS プリンタや NEC 製 PC-PR201/80A プリンタ、ESC/P 準拠プリンタを、互換性のあるプリンタとして選択できます。互換性のあるプリンタの詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。また、オプションのコントロールROM を装着することにより、PS/55 シリーズ用、FMR シリーズ用、N5200 シリーズ用のプリンタを、互換プリンタとして選択できるようになります。

メモ
- エミュレーションモードのプリントについては、「動作モードについて」（→ P.2-19）を参照してください。
- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- オプションのコントロールROM については、「設置ガイド」を参照してください。

Macintosh の場合

Macintosh からプリントするときは、本プリンタに付属のCD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ
- プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」を参照してください。

■ LIPS IV プリンタドライバ

Macintosh アプリケーションソフトからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

■ プリントモニタ

プリンタの状態をパソコンの画面に表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトです。プリンタドライバと一緒にインストールされます。

■ NetSpot Device Installer

パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。NetSpot Device Installer はパソコンへインストールすることなく使用できるので、簡単にプリンタの初期設定を行うことができます。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属のCD-ROMから、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントパソコンにインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」やプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。
また、NetWareやUNIXで使用する場合は、OSの設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSに付属の取扱説明書やプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

電源のオン、オフ

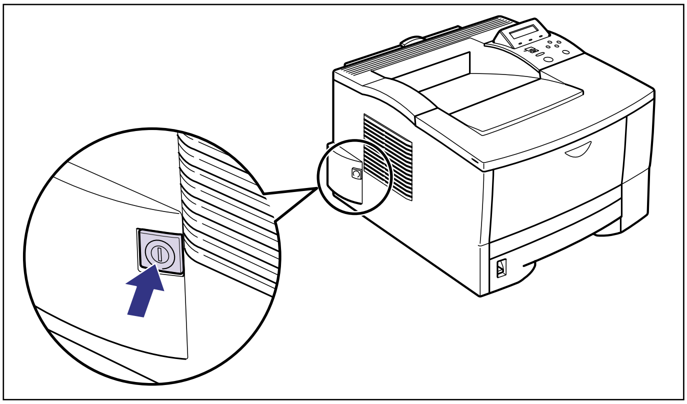
本プリンタの電源は、本体左側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチを押し込み、オンにします。本体やオプション品の状態チェックを実行した後、プリント可能な状態になります。

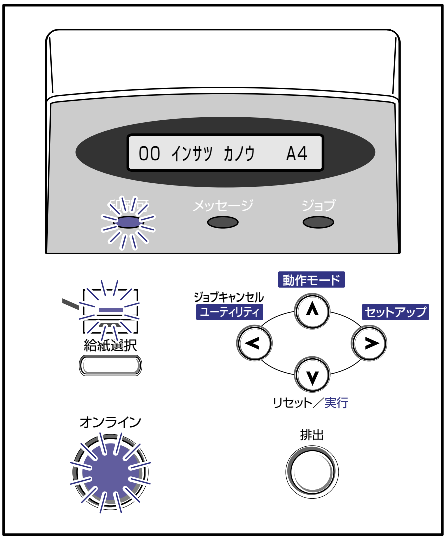
重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにした後に再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 3 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときには」（→ P.5-21）を参照してください。

1 **本体の電源スイッチを押し込みます。**



電源スイッチが押し込まれた状態になります。
操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。

自己診断の結果に異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　N201」、「00　ESC/P」と表示されてプリント可能な状態になります。



ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態



現在選択されている給紙元の用紙サイズ

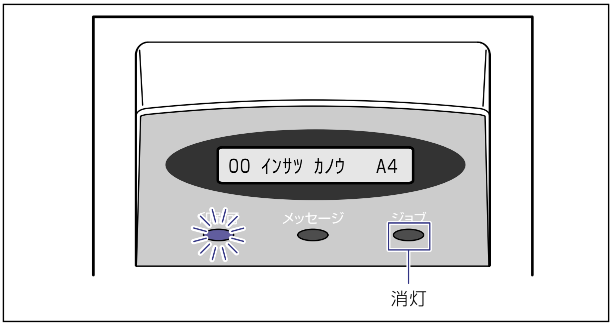
電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

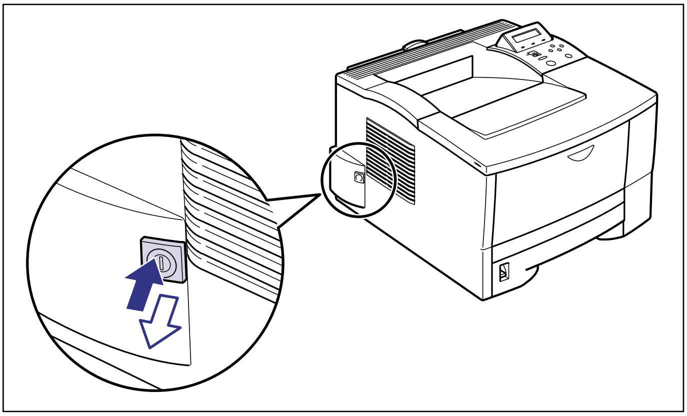
重要

- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［排出］を押し、出力してから電源をオフにしてください。（→ P.2-23）
- プリント中に電源をオフにしないでください。
- プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中には、電源をオフにしないでください。
- ディスプレイに NVRAM 初期化中や NVRAM 書き込み中のメッセージが表示されている場合は、メッセージの表示が消えたことを確認してから、電源をオフにしてください。

1 ジョブランプが消灯していることを確認します。



2 本体の電源スイッチを押し込みます。



電源スイッチが飛び出した状態になります。

消費電力の節約（パネルオフモード）について

本プリンタは、何も操作せず、パソコンからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するパネルオフモードに移行します。
操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にパネルオフモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもパネルオフモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもパネルオフモードが解除されます。

重要

- パネルオフモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「15 フン」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「5 フン」、「15 フン」、「30 プン」、「60 プン」に設定できます。また、パネルオフモードに移行しないように設定することもできます。詳細については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。
- 本体左側面にある電源スイッチが飛び出した状態では、消費電力は 0W になります。

メモ

- 本プリンタはオフライン状態でもパネルオフモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは設定時間が経過してもパネルオフモードには移行しません。
  ・「nn-nn サービスコール」（nn は 2 桁の英数字）が表示されている
  ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
  ・パネルオフ動作を「オンラインノミ」または「シナイ」に設定している

オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データを受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニュー操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

重要
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

メモ
- プリンタがパネルオフモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみが点灯します。

オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、次の手順でオフラインにします。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

重要
- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません」、「プリンタが接続されていません」などのメッセージが表示され、プリントできません。

- 本プリンタは、オフラインにしたまま 5 分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、 自動的にはオンラインになりません。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタの操作パネル、プリンタドライバの 2 つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

代表的な機能

本プリンタの代表的な機能を以下の表に示しています。○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。

機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○
両面プリント	用紙の両面にプリントします。	○	○
カセット用紙サイズ	給紙カセットにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	○
データ処理解像度 *1	スーパーファインモード（1200dpi）、ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。	○	○
拡大／縮小 *1（LIPS モード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	○
複数ページ印刷 *1（LIPS モード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて 1 枚の用紙にプリントします。	○	○
オーバレイプリント *1（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	○ *2
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。	○	○

機能	機能の概要	プリンタドライバ	操作パネル
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○
パネルオフモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○

*1 これらの機能は、プリンタドライバと操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますので気を付けてください。詳細については、「LIPS ソフトウエアガイド」や「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

*2 フォーム作成登録はLIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやプリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ
- プリンタドライバのインストール方法や操作方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」およびプリンタドライバのヘルプを参照してください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ LIPS IV プリンタドライバ

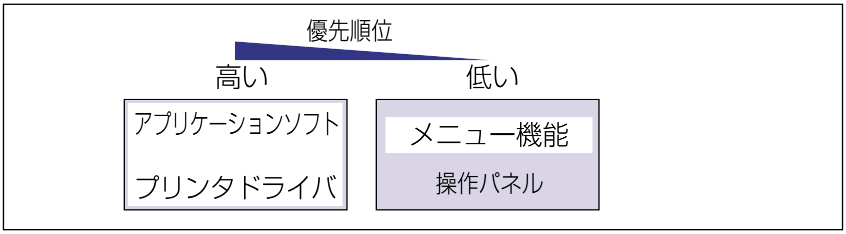
本プリンタに付属のLIPS IV プリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



プリント画質について

本プリンタは解像度を設定することによりプリント画質を変更することができます。解像度には、スーパーファインモード、ファインモード、クイックモードがあり、印字のきめ細かさや濃淡の滑らかさなどを目的に応じて使い分けることができます。また、ファインモードのみ、高階調モードと標準モードの 2 つの階調モードを設定することができます。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ スーパーファインモード

スーパーファインモードは、超微粒子スーパーファイントナーとスーパーレーザチップ、高速 RISC プロセッサにより実現した、リアル 1200dpi の超高解像度モードです。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィックや写真が多いデータをプリントする場合に適したモードです。

■ ファインモード

ファインモードは、600dpi の高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

■ クイックモード

クイックモードは、300dpi の解像度でプリントするモードです。Windows の出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどの出力に適したモードです。データ処理が 300dpi で行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

階調モードの種類

階調モードには、高階調モードと標準モードの 2 つのモードがあり、通常は標準モードで処理されます。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■ 高階調モード

写真などを一般的な品質でプリントする場合に適したモードです。

■ 標準モード

一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。

解像度モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで解像度を選択します。初期値は「ファイン」に設定されています。プリンタの操作パネルで解像度モードを設定するときは、次の手順で行います。

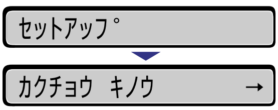


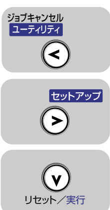
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

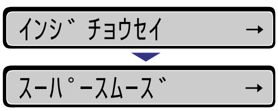


2 ［セットアップ］を押します。

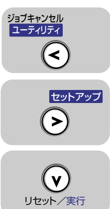




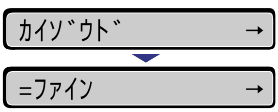
3 ［<］、［>］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［V］を押します。



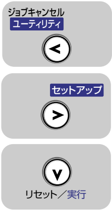
印字調整グループの設定項目が表示されます。



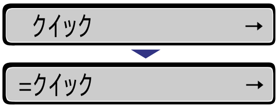
4 ［<］、［>］で「カイゾウド」を選択し、［V］を押します。



解像度モードの設定値が表示されます。



5 ［<］、［>］で目的の解像度モードを選択し、［V］を押します。



解像度モードが変更されます。



6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

階調モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印字詳細］を押し、［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで階調処理を選択します。初期値は「ヒョウジュン」に設定されています。プリンタの操作パネルで階調モードを設定するときは、次の手順で行います。

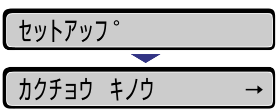


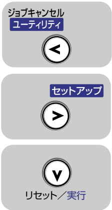
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

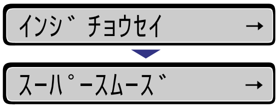


2 ［セットアップ］を押します。

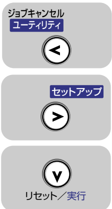




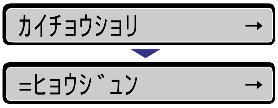
3 ［<］、［>］で「インジ　チョウセイ」を選択し、［V］を押します。



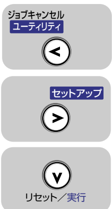
印字調整グループの設定項目が表示されます。



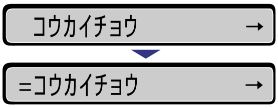
4 ［<］、［>］で「カイチョウショリ」を選択し、［V］を押します。



階調モードの設定値が表示されます。



5 ［<］、［>］で階調モードを選択し、［V］を押します。



階調モードが変更されます。



6 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモード、PC-9800シリーズのN201エミュレーションモード、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）のESC/Pエミュレーションモードの3種類の動作モードを内蔵しています。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。
このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定することができます。

動作モードの種類

本プリンタは、内蔵のLIPSモード／N201エミュレーションモード／ESC/Pエミュレーションモードと、オプションのコントロールROMによるPS/55やFMR、N5200シリーズなどのエミュレーションモードを使用できます。

■ LIPSモード

LIPSは、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントされます。

■ N201エミュレーションモード

日本電気（株）製シリアルプリンタ「PC-PR201/80A」の動作をエミュレートする（まねをする）モードです。PC-9800シリーズのパソコンでLIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、このモードでプリントします。日本電気（株）が提唱する201PLのコマンド体系に準拠しています。

■ ESC/Pエミュレーションモード

IBM-PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）、AXパソコンで標準的に使用されているESC/P準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのパソコンで、LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。エプソンが提唱するESC/P-J84のコマンド体系に準拠しています。

■ その他のエミュレーションモード

PS/55 シリーズ、FMR シリーズ、N5200 シリーズ、HP-GL 専用プリンタをエミュレートするコントロール ROM がオプションで用意されています。コントロール ROM を取り付けることにより、PS/55 シリーズ、FMR シリーズ、HP-GL 対応のアプリケーションからプリントできるようになります。

メモ
- コントロール ROM については、「設置ガイド」を参照してください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」(工場出荷時のままの状態)で使用中に、N201 や ESC/P データが LIPS でプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

メモ
- 優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定は操作パネルから行います。設定方法については「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ 優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「N201」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、「オプション(コントロール ROM)」に変更します。

■ 自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定で、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

専用プリンタと同じ動作で使う(動作モード固定)

本プリンタを使用しているパソコン専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードを LIPS モード、N201 エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモード、コントロール ROM(オプション)のエミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

メモ
- N201エミュレーションモードまたはESC/Pエミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次項目を参照してください。
- 動作モードの設定は操作パネルから行います。設定方法は「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

■ PC-9800 シリーズなど日本電気(株)製のパソコン

N201 エミュレーションモードに固定

■ IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）や AX パソコン

ESC/P エミュレーションモードに固定

■ PS/55 や FMR、N5200 シリーズなどのパソコン

取り付けたコントロール ROM（オプション）のエミュレーションモードに固定

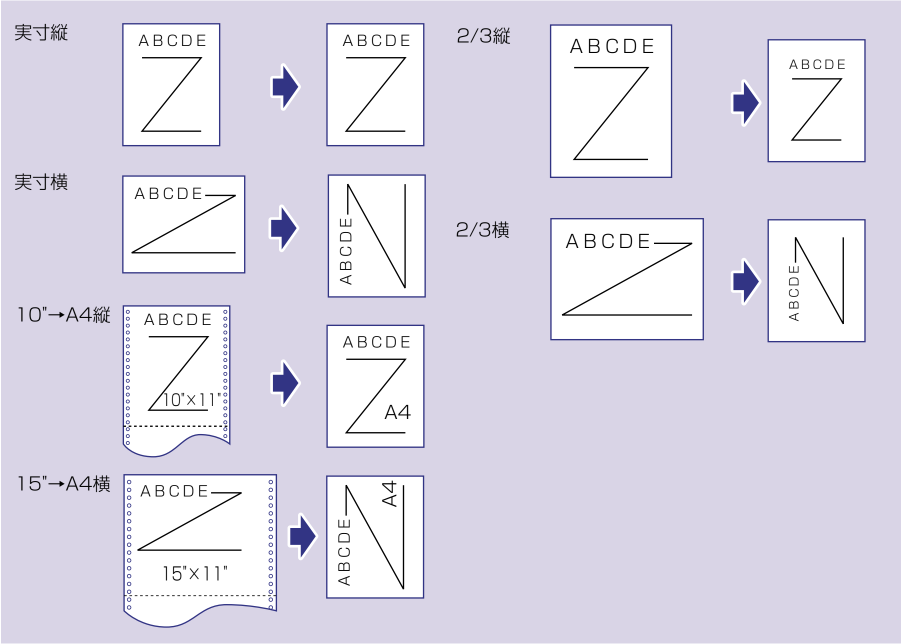
エミュレーションモードで使うとき

本プリンタを N201 エミュレーションモードや ESC/P エミュレーションモードで使用する場合、いままで使用していた用紙やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、本プリンタのページフォーマットを設定する必要があります。

N201 のページフォーマット設定

いままで PC-PR201/80A など日本電気（株）製のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 6 種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：用紙を縦に使って実寸でプリントします
実寸横：用紙を横に使って実寸でプリントします
10" →A4 縦:10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" →A4 横:15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
2/3 縦：実寸縦用のデータを 2/3 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
2/3 横：実寸横用のデータを 2/3 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

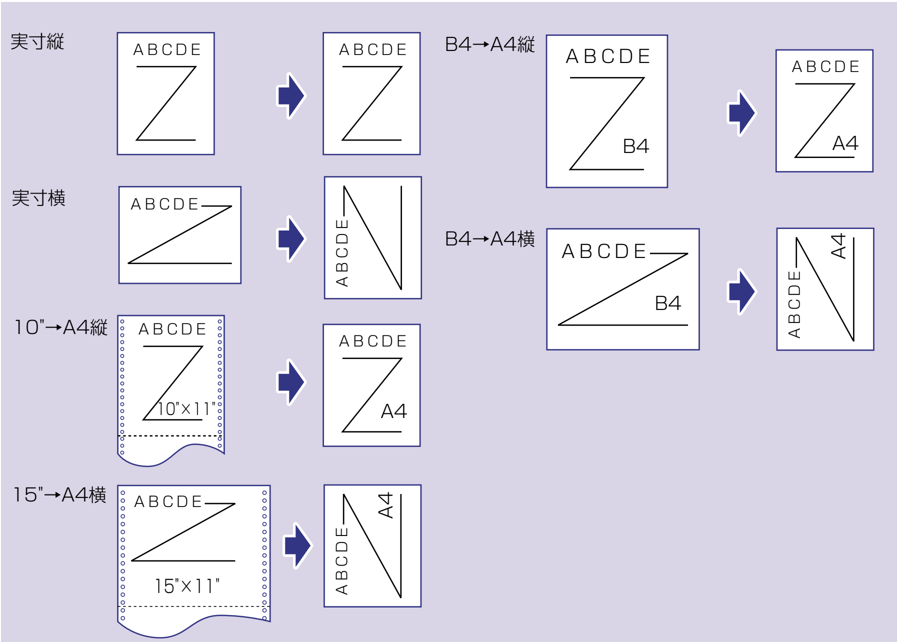


メモ
- 用紙サイズは「10"→A4縦」「15"→A4横」ではA4が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。
- 10"×11"の連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"の連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

ESC/P のページフォーマット設定

いままでESC/P準拠のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の 6 種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では、「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：A4 用紙を縦に使ってプリントします
実寸横：A4 用紙を横に使ってプリントします
10"→A4縦：10"×11"の連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします
15"→A4横：15"×11"の連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします
B4→A4縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4→A4横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします



メモ
- 用紙サイズは「10"→A4縦」「15"→A4横」「B4→A4縦」「B4→A4横」ではA4が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。
- 10"×11"の連続用紙のサイズは、254mm×279.4mmです。15"×11"の連続用紙のサイズは、381mm×279.4mmです。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが１ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

重要
- データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

メモ
- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→ P.2-25）



1 **［オンライン］を押します。**

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 **［排出］を押します。**

05 ハイシチュウ

ディスプレイに「05　ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

メモ
- 排出途中に再度［排出］または［オンライン］を押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。



3 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、次の操作で「ジョブキャンセル」を実行します。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

重要

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］を押すと、［ユーティリティ］として動作します。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたプリントデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

メモ

- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

メモ

- ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイに動作モードやユーザ名、プリンタの状態などの情報が交互に表示されます。



2 ［ジョブキャンセル］を押します。

```
03 ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ
　　▼
03 ｼﾞｮﾌﾞ ｽｷｯﾌﾟ
　　▼
00 ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ    A4
```

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00　ジョブ　スキップ」の表示に変わります。
「00　インサツ　カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

重要

- 「00　ジョブ　スキップ」が表示されているときは、[リセット] を押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。
- 「03　ジョブ　キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00　ジョブ　スキップ」が表示されるまでお待ちください。

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。
- ジョブの保存中や排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。



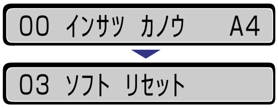
1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 [リセット] を押し続け、「03　ソフト　リセット」と表示されたら離します。

約 1 秒で表示されます。そのまま 5 秒以上押し続けると「03　ハード　リセット」の操作になります。



「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらソフトリセットが完了します。



3 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

重要

- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように、この操作を行ってください。



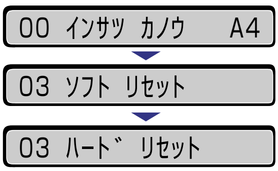
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［リセット］を押し続け、「03　ハード　リセット」と表示されたら離します。

「03　ハード　リセット」が表示されるまで（約５秒）押し続けます。５秒未満の場合は、「03　ソフト　リセット」の操作になります。



「03　ハード　リセット」の表示が消えたらハードリセットが完了します。



3 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

給紙・排紙のしかた

3
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面プリントと両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、×は不可です。

重要
- 用紙はすべて縦送り方向にセットしてください。
- 次のような場合、熱による故障などを防止するための安全機能が働き、プリント速度が段階的に遅くなることがあります。
  - ･長さがエグゼクティブサイズ（267mm）以下の用紙を連続プリントした場合、4ppmまでプリント速度が遅くなることがあります。
  - ･長さが 270mm 以上の用紙を連続プリントした場合、一時的にプリント速度が 2ppmになることがあります。（機械内部の温度が一定温度以下になると通常のプリント速度に戻ります。）

用紙サイズ

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙（64～105g/m²） A5	○	○	○
B5	○	○	○
A4	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
ユーザペーパー*1 幅：76.2～215.9mm 長さ：127～355.6mm	○	×	×
厚紙（106～163g/m²） A5	○	×	×
B5	○	×	×
A4	○	×	×
レター	○	×	×
エグゼクティブ	○	×	×
リーガル	○	×	×
ユーザペーパー 幅：76.2～215.9mm 長さ：127～355.6mm	○	×	×
OHPフィルム　A4	○	×	×
ラベル用紙　A4	○	×	×
ハガキ　100×148mm	○	×	×
往復ハガキ　148×200mm	○	×	×
封筒　洋形4号	○	×	×

*1 100g/m²以下の普通紙の場合は、A5サイズ以上の用紙のみプリント可能です。

■ 用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

3

給紙・排紙のしかた

給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元		
	給紙トレイ	カセット1	カセット2（オプション）
普通紙（64g/m²の場合）	約100枚	約250枚	約250枚
厚紙（128g/m²の場合）	約50枚	×	×
OHP フィルム	約50枚	×	×
ラベル用紙	約40枚	×	×
ハガキ	約40枚	×	×
往復ハガキ	約40枚	×	×
封筒	約10枚	×	×

排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先*1	
	排紙トレイ	サブ排紙トレイ
普通紙（64g/m²の場合）	約150枚	約50枚
厚紙（128g/m²の場合）	約40枚*2	約30枚
OHP フィルム	約10枚*2	1枚
ラベル用紙	約60枚*2	約40枚
ハガキ	×	約40枚
往復ハガキ	×	約40枚
封筒	×	約10枚

*1　設置環境によっては、実際の排紙枚数は異なります。
*2　通常の排紙先として設定できますが、用紙がカールしたり、しわの原因になるので、サブ排紙トレイに排紙することをおすすめします。

■ 普通紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9 mm、長さ 127 ～ 355.6 mm、重さ 64 ～ 105 g/m² の普通紙を使用できます。

定形用紙は、給紙カセットや給紙トレイから給紙できます。また A4、レター、リーガルサイズは、自動両面プリントが可能です。定形以外のサイズは、給紙トレイから給紙し、片面プリントのみ可能です。

■ 厚紙

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9 mm、長さ 127 ～ 355.6 mm、重さ 106 ～ 163 g/m² の厚紙を使用できます。厚紙は、給紙トレイから給紙し、片面プリントのみ可能です。

■ OHP フィルム

本プリンタでは、A4 サイズの OHP フィルムを使用できます。OHP フィルムは給紙トレイにセットします。

重要
- OHP フィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。
- OHP フィルムをフェースアップで排紙する場合は、排紙されるたびにトレイから取り除いてください。OHP フィルムを残しておくと、用紙が丸まったり、紙づまりを起こします。

■ ラベル用紙

本プリンタでは A4 サイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙トレイにセットします。

重要
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

■ ハガキ / 往復ハガキ

ハガキ、往復ハガキは、プリント面を上にして給紙トレイへセットしてください。

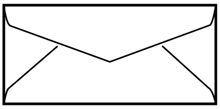
重要
- 官製ハガキ、官製往復ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキ、官製往復ハガキを使用することはできません。

■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号で次のような構造のものに限ります。（短辺にふたが付いているものは使用できません。）

洋形4号

（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



重要
- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒

- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）にはプリントしないでください。

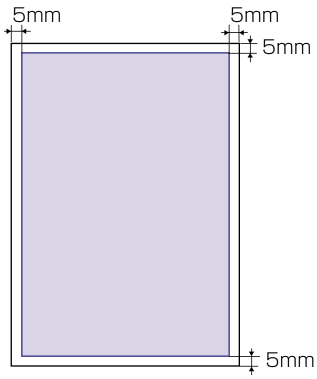
メモ
- 封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

プリントできる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。

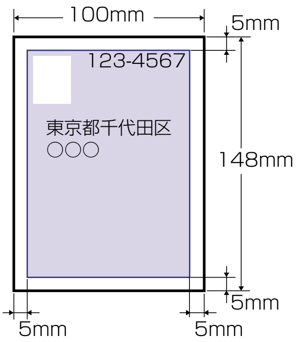
■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙

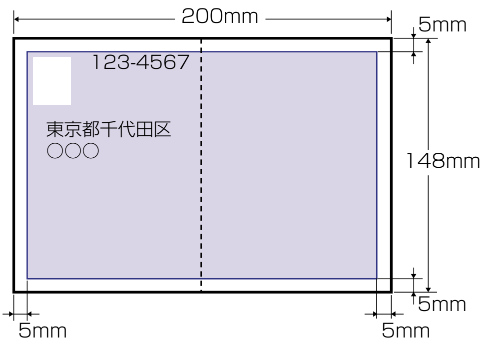
用紙の周囲 5 mm より内側の範囲にプリントできます。



■ ハガキ / 往復ハガキ

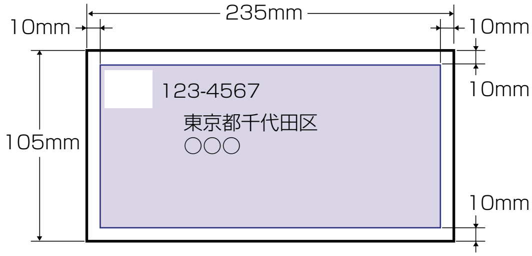
ハガキの周囲 5 mm より内側の範囲にプリントできます。





■ 封筒

封筒の周囲 10 mm より内側の範囲にプリントできます。
お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。



使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ･厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ･不規則な形の用紙
  - ･湿っている用紙、濡れている用紙
  - ･破れている用紙
  - ･表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ･バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ･カールした用紙や折り目のある用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、給紙トレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ･バリのある用紙
  - ･しわのある用紙
  - ･角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ･定着器の熱（約 150 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ･感熱用紙
  - ･表面加工したカラー用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ･カーボン紙
  - ･ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

· 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、給紙トレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

- トナーが定着しにくい用紙
  · ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  · 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  · 繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタでプリントしたプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙元を選択する

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と給紙トレイの合計 2 つの給紙元があります。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2）を装着することにより、最大 3 つの給紙元を使用することが可能です。

給紙元の種類

本プリンタには、次の給紙元があります。

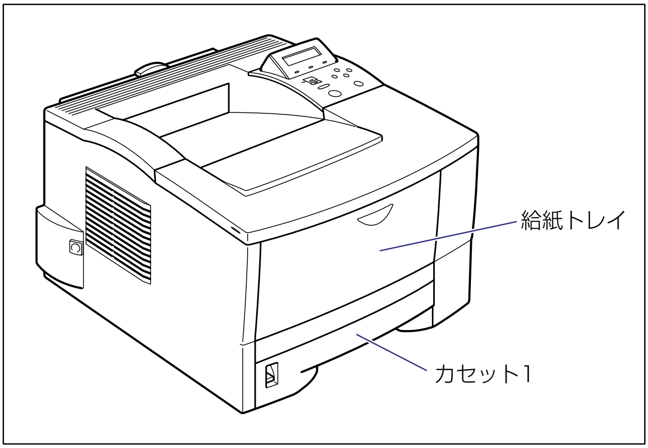
■ **標準状態**

給紙元：

給紙トレイ
カセット 1

給紙枚数：

最大 350 枚（64 g/m^2）



■ ペーパーフィーダ装着状態

給紙元：

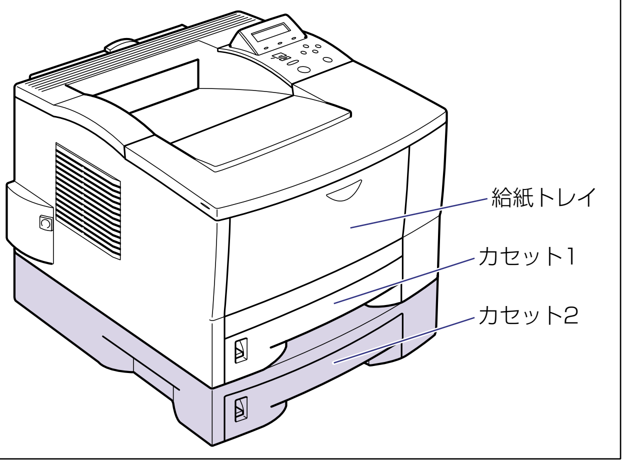
給紙トレイ

カセット 1

カセット 2

給紙枚数：

最大 600 枚（64 g/m^2）



給紙元の選択

給紙元の選択は、次の手順で行います。

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。

給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、以下の手順で行います。



1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［給紙選択］を押します。

```
ｷｭｳｼ ﾓｰﾄﾞ
```

ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。



3 ［給紙選択］を押して、給紙元を選択します。

［給紙選択］を押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット 1 →カセット 2（オプション）→トレイの順で変わります。

```
 ｶｾｯﾄ1           →
```

メモ

- 「カセット 2」はペーパーフィーダ装着時にのみ表示されます。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット 1 が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 自動給紙選択時に、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされているほかの給紙元へ自動的に切り替わります。



4 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯します。給紙元が変更され、プリントできる状態になります。
ディスプレイ右側に選択した給紙元の用紙サイズが表示されます。

メモ

- 給紙元の選択は、［<］、［>］でも可能です。
- 給紙元の決定は、［∨］でも可能です。
- 給紙元は、［<］、［>］、［∧］、［給紙選択］以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。

排紙先を選択する

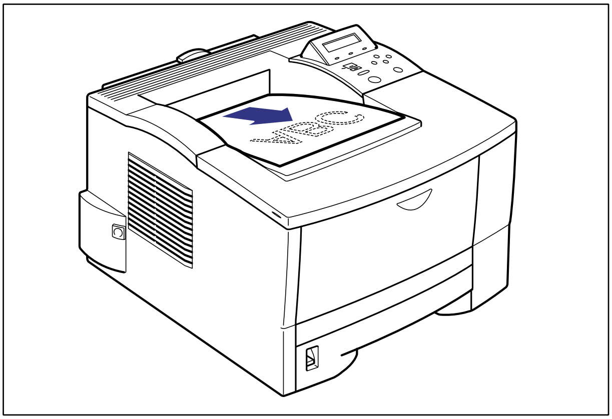
本プリンタには、本体上面の排紙トレイと本体背面のサブ排紙トレイの排紙先があります。

排紙先の種類

本プリンタには、次の排紙先があります。

排紙トレイ

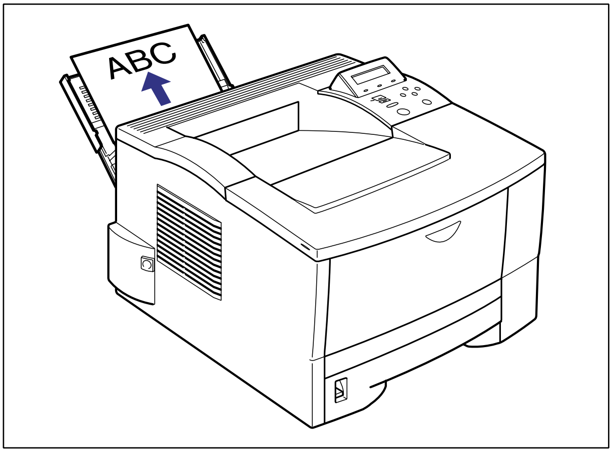
本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。



重要
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

サブ排紙トレイ

本体背面のサブ排紙トレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。フェースアップでの排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHP フィルムやラベル用紙などに印字するときに向いています。



重要
- 両面プリントするときは必ずサブ排紙トレイを閉じてから行ってください。
- ハガキや往復ハガキ、封筒にプリントする場合は、フェースアップ排紙のみ可能です。

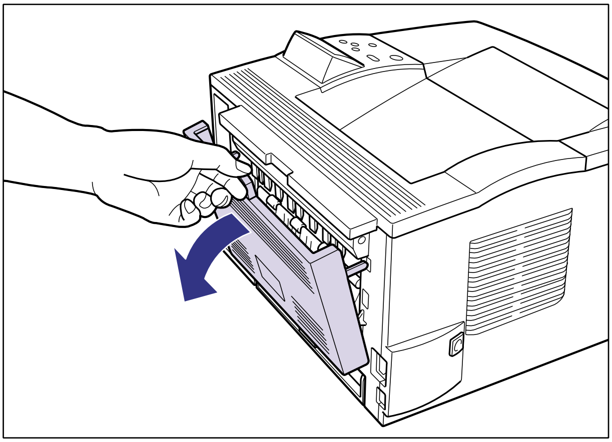
排紙先の選択

排紙先は、サブ排紙トレイの開閉によって切り替わります。サブ排紙トレイを開いているときはサブ排紙トレイに排紙され、閉じているときは排紙トレイに排紙されます。

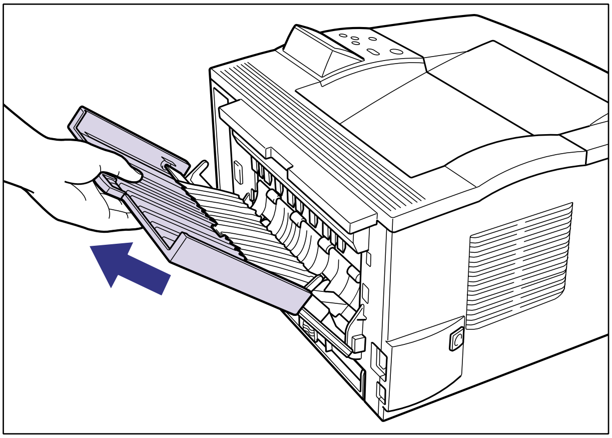
サブ排紙トレイに切り替える

排紙先をサブ排紙トレイに切り替えるときは、次の手順で行います。

1 サブ排紙トレイ上端の取っ手を後側に引いて、サブ排紙トレイを開けます。



2 補助トレイを引き出します。

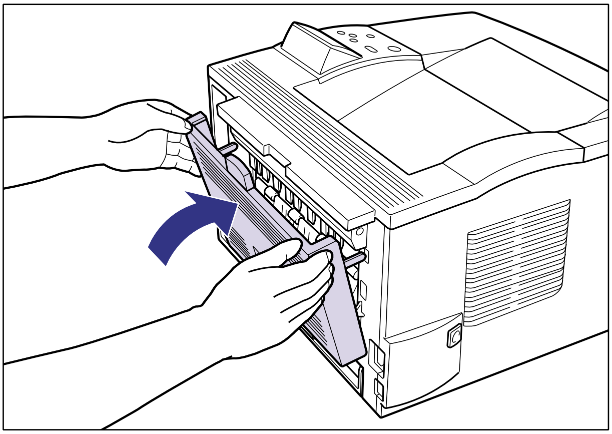


重要
- サブ排紙トレイを使用するときは必ず補助トレイを引き出してください。引き出さないまま排紙すると、紙づまりの原因になります。

排紙トレイに切り替える

排紙先を排紙トレイに切り替えるときは、次の手順で行います。

1 補助トレイを収納し、サブ排紙トレイを閉めます。



給紙カセットからプリントする

給紙カセットには、定形サイズの普通紙を約 250 枚（64 g/m^2）までセットすることができます。用紙がなくなると、ディスプレイに「11　ヨウシガ　アリマセン」や「17　カセット 1 ヨウシ　ナシ」などのメッセージが表示され、給紙元の用紙がなくなったことを表示します。このメッセージが表示されたら、用紙をセットしてください。本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2 が追加されます。
給紙カセットからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

重要
- カセット 1、カセット 2 にセットされている用紙サイズとセットアップメニューの「キュウシカセット 1　サイズ」、「キュウシカセット 2　サイズ」の設定を一致させてお使いください。一致していないと、正しくプリントされません。その際に「41　プリントチェック」のメッセージが表示されることがあります。
- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合 [オンライン] を押すと、「キュウシカセット 1　サイズ」または「キュウシカセット 2　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

■ 給紙カセットに用紙をセットする（→ P.3-17）

■ 用紙のサイズを設定する（→ P.3-23）

給紙カセットの用紙サイズを変更した場合は、操作パネルから以下の設定をしてください。用紙サイズを変更しない場合は、設定する必要はありまあせん。
セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「キュウシカセット 1　サイズ」＝標準装備の給紙カセットにセットした用紙のサイズ
- 「キュウシカセット 2　サイズ」＝ペーパーフィーダにセットしたの用紙サイズ

■ プリンタドライバを設定する（→ LIPS ソフトウェアガイド）

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

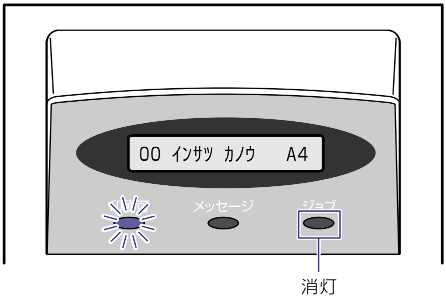
［ページ設定］ページ
　［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ
［給紙］ページ
　［給紙部］＝［自動］もしくは、［カセット 1］、［カセット 2］

用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプが点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

重要 ●プリント中は、絶対にカバーを開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

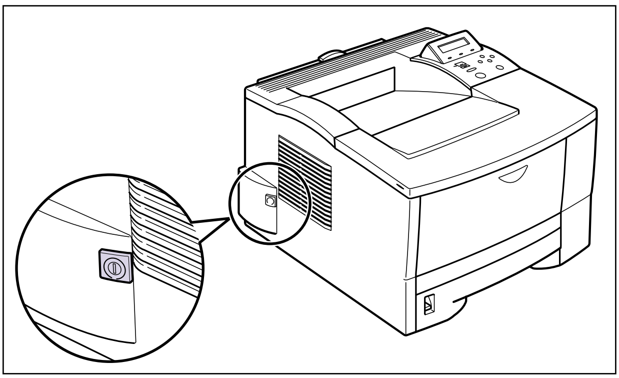
■ ジョブランプが消灯しているとき



■ 用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているとき



■ 本プリンタの電源がオフのとき



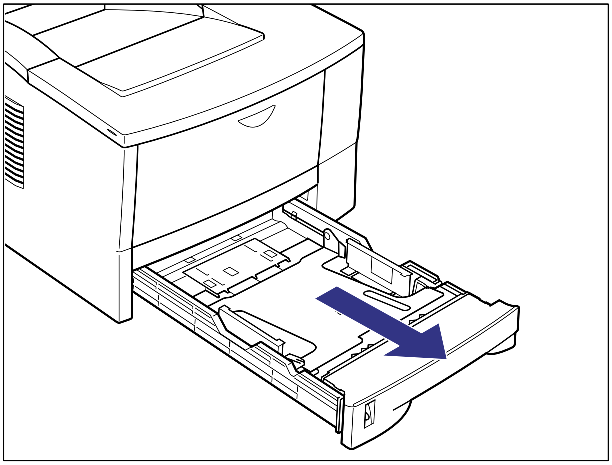
給紙カセットに用紙をセットする

標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2 共に、用紙のセット方法は同じです。カセット 1 とカセット 2 には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。
次の手順で正しく用紙をセットしてください。

重要 ●紙づまりの原因になることがありますので、次の内容を守ってください。

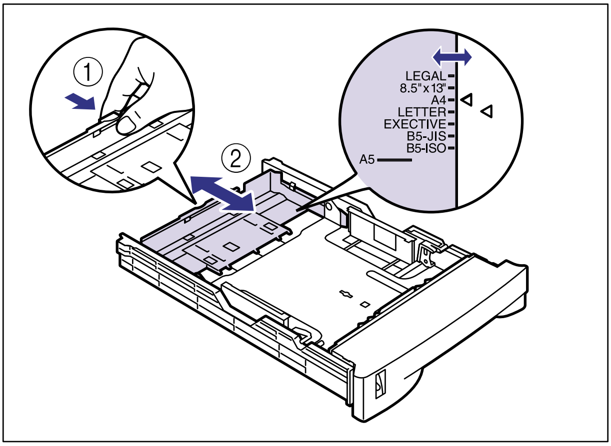
- 定形外の用紙と、OHP フィルムやラベル用紙、封筒など普通紙以外の用紙はセットできません。セットできる用紙については、「用紙について」（→ P.3-2）を参照してください。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります
- 用紙ガイドの積載制限マークを超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。

1 ジョブランプが消灯していることを確認し、用紙をセットする給紙カセットを引き出します。

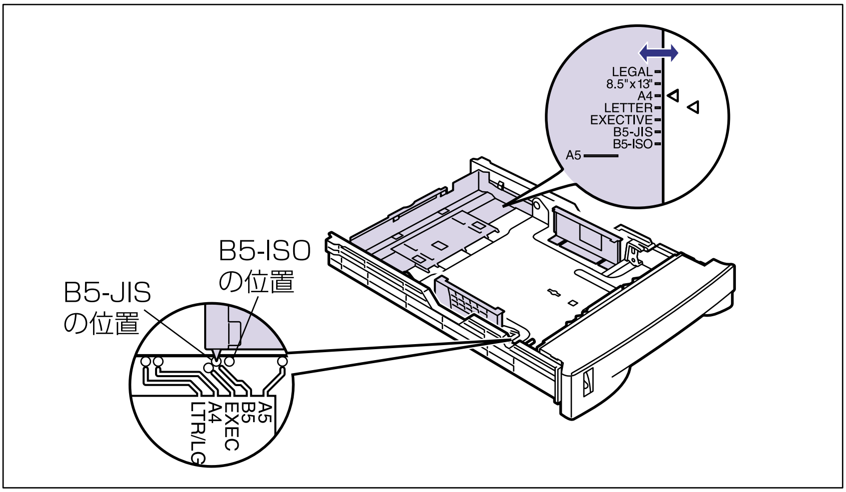


2 後側の用紙ガイドのロック解除レバーを押しながら ①、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します ②。

用紙ガイドは、目的のサイズ表示の文字を三角マークが指す位置に移動してください。

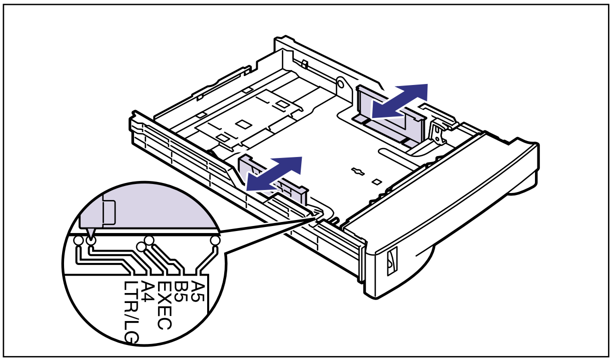


重要 • B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを図の位置（B5-JIS側）に合わせてください。B5-ISO の位置は使用しません。

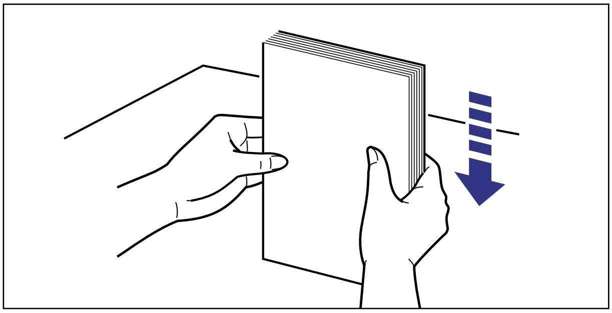


3 側面の用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



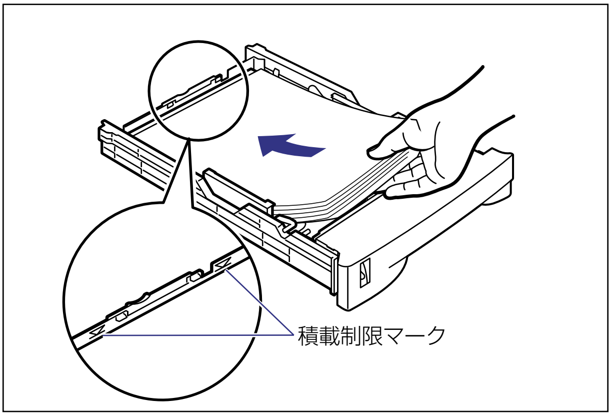
4 用紙の束を平らな場所で揃えます。



重要

- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。

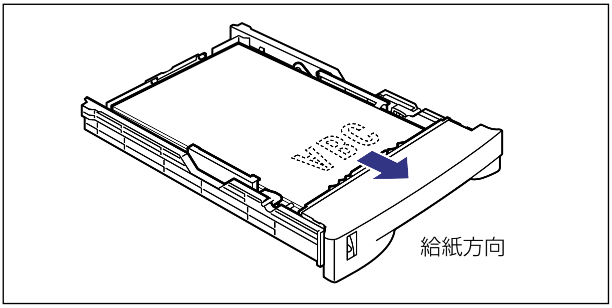
5 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



重要 ● 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2）です。用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲で用紙をセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

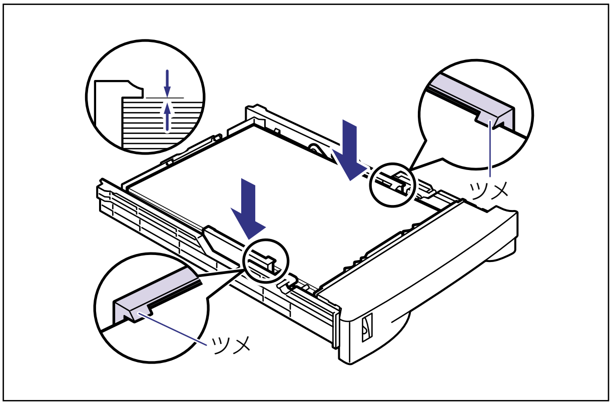
メモ ● レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・用紙の表面（プリントする面）を下に向け、用紙の上端がプリンタの前側になるようにセットします。



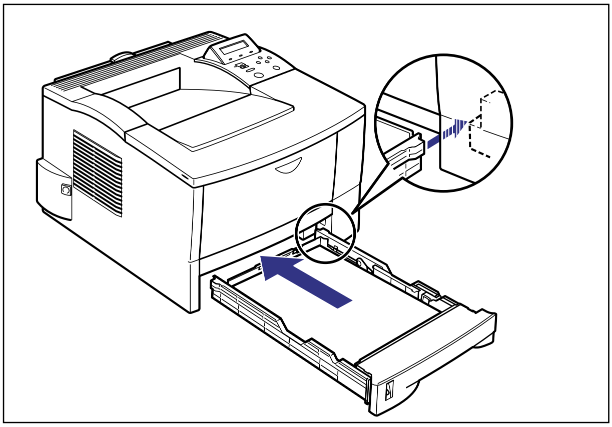
6 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙の左右を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



7 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

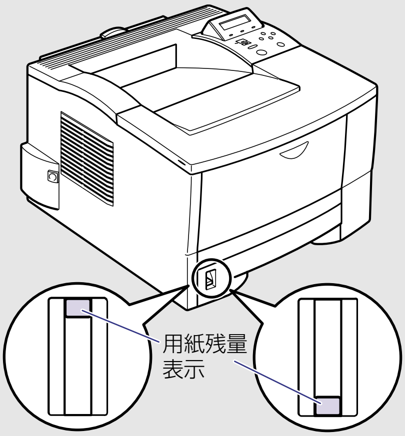
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示されているときは、自動的にプリントを再開します。

用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。



給紙カセットの用紙サイズを設定する

給紙カセットに用紙をセットしたときは、セットアップメニューで用紙サイズを設定します。給紙カセットの用紙サイズは、工場出荷時は「A4」に設定されており、A4 サイズの用紙をセットした場合、この操作は不要です。
標準の給紙カセット（カセット 1）の用紙サイズは、次の手順で「キュウシカセット 1　サイズ」で設定します。オプションのペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2）を使用するときも、同様の手順で「キュウシカセット 2　サイズ」を設定します。

重要

- 給紙カセットにセットされている用紙サイズとセットアップメニューの用紙サイズを一致させてお使いください。一致していないと、正しくプリントされません。その際に「41　プリント　チェック」のメッセージが表示されることがあります。
- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合 [オンライン] を押すと、「キュウシカセット 1　サイズ」または「キュウシカセット 2　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 給紙カセットの用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙カセットにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。

メモ
- 次の用紙は、略号で表示されます。
  レター：LT、リーガル：LG、エグゼクティブ：EX、フリー：FR



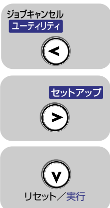
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



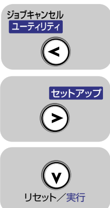
2 ［セットアップ］を押します。

```
セットアップ゜
↓
カクチョウ キノウ →
```



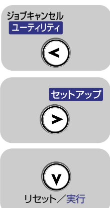
3 ［<］［>］で「キュウシ」を選択し、［V］を押します。

```
キュウシ →
↓
キュウシカセット1 サイズ゛ →
```



4 ［<］［>］で「キュウシカセット１　サイズ」を選択し、［V］を押します。

```
キュウシカセット1 サイズ゛
↓
=A4 →
```



5 ［<］［>］でカセット１の用紙サイズを選択し、［V］を押します。

```
B5 →
↓
=B5 →
```

用紙サイズの左に「＝」が表示され、カセット１の用紙サイズが設定されます。

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が 76.2 ～ 215.9mm、長さが 127 ～ 355.6mm の範囲の用紙を約 100 枚 (64g/m^2) までセットできます。OHP フィルムやラベル用紙、ハガキ、封筒、定形外の用紙など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

重要
- 給紙トレイにセットされている用紙サイズとセットアップメニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定を一致させてお使いください。一致していないと、正しくプリントされません。その際に「41　プリント　チェック」のメッセージが表示されることがあります。
- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

メモ
- プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、あらかじめ給紙元を「トレイ」に設定してください。（→ P.3-10）

■ **給紙トレイに用紙をセットする（→ P.3-26）**

■ **排紙先を選択する（→ P.3-37）**

■ **用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.3-39）**

セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「トレイ　ヨウシ　サイズ」＝セットした用紙のサイズ

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントするときは、次の設定を行います。
セットアップメニューの「キュウシ」グループ

- 「デフォルト　ヨウシ　タイプ」＝セットした用紙のタイプ（→ P.3-41）

■ **プリンタドライバを設定する（→ LIPS ソフトウェアガイド）**

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh 版プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

[ページ設定] ページ

　[出力用紙サイズ] ＝セットした用紙のサイズ

[給紙] ページ

　[給紙部] ＝ [手差し（トレイ）]

　[用紙タイプ] ＝ [普通紙]：普通紙、ラベル用紙、封筒、ハガキ、往復ハガキ

　　[厚紙]：厚紙

　　[OHP フィルム]：OHP フィルム

重要
- 封筒、ハガキ、往復ハガキにプリントするときは、プリンタドライバの [用紙タイプ] の設定を必ず [普通紙] に設定してプリントしてください。[厚紙] に設定して封筒、ハガキ、往復ハガキに連続プリントした場合、次にプリントする用紙の端に残像が現れることがあります。

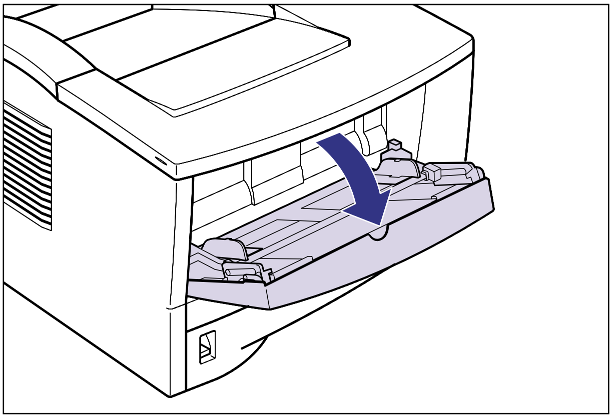
給紙トレイに用紙をセットする

用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

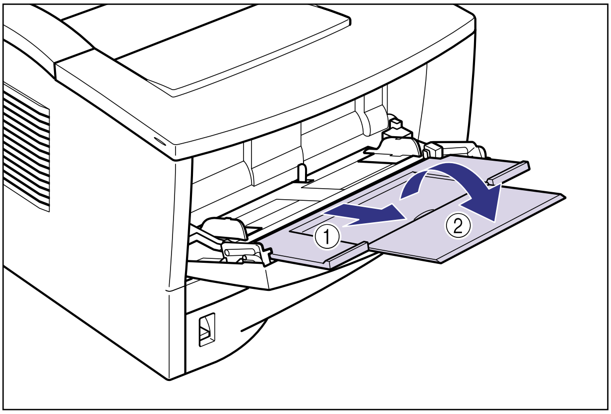
給紙トレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- 周囲 5mm の範囲にはプリントできません。

1 **プリンタ前面の給紙トレイを開けます。**



A4 など長いサイズの用紙をセットするときは、補助トレイを引き出します。

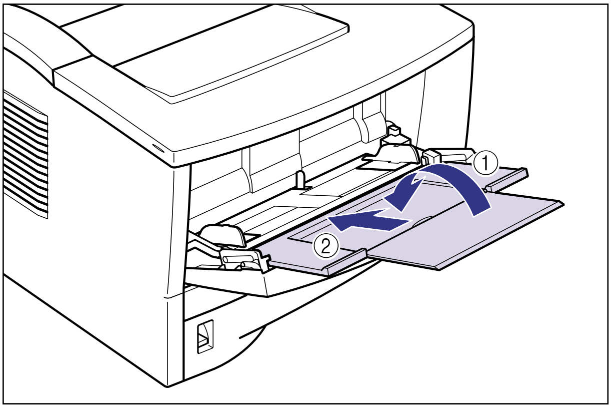


重要
- 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

● 給紙トレイを閉めるときは

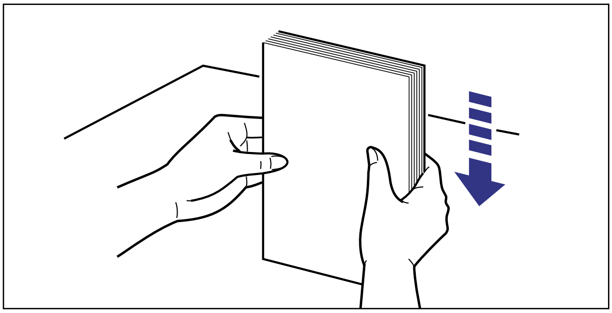
▼ 給紙トレイを閉めるときは、開けるときと逆の手順です。

給紙トレイを使わないときは、閉めておいてください。



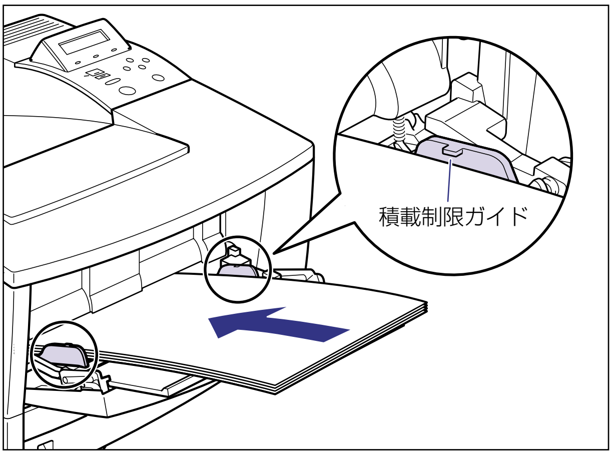
重要
- 補助トレイは奥まで確実に収納してください。引き出したまま給紙トレイを閉めると、トレイ破損の原因になります。

2 用紙の束を平らな場所で揃えます。



重要
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。

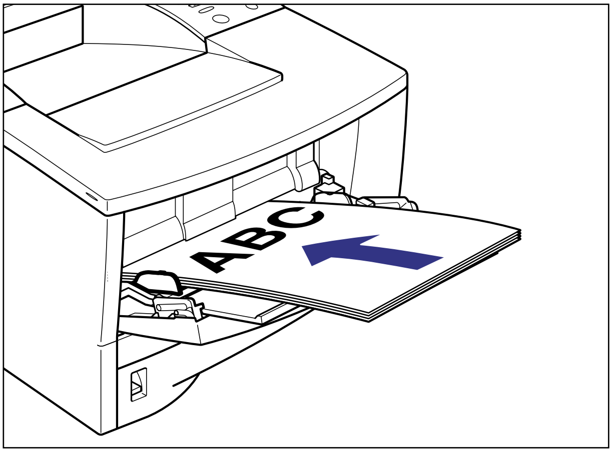
3 用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。



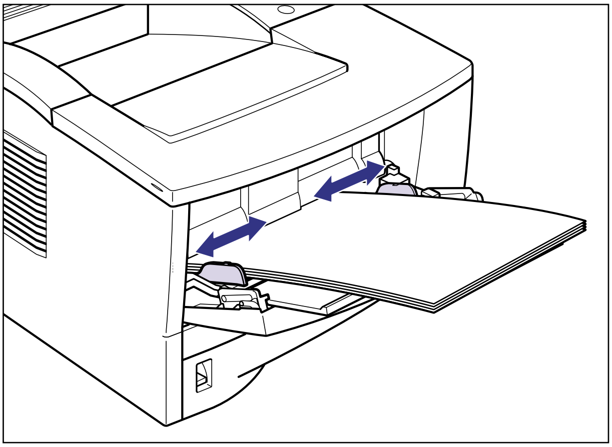
重要
- 給紙トレイには、普通紙を約 100 枚（64g/m^2）までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。

メモ

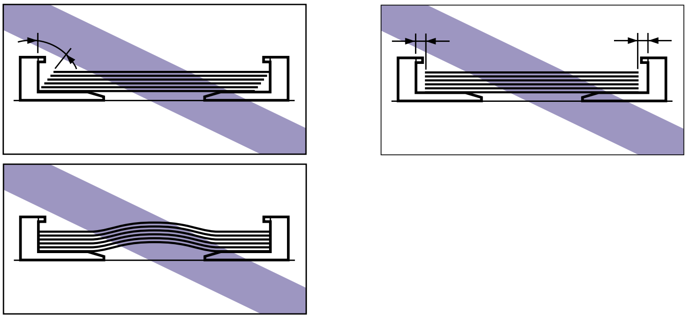
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  ・用紙の表面（プリントする面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。



4 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。



重要
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



- プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

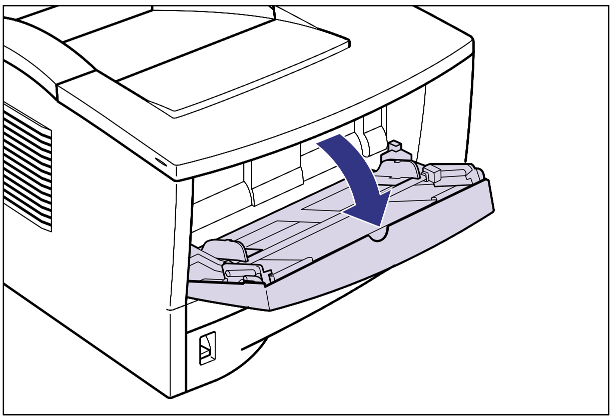
次に排紙先を選択してください（→ P.3-37）。

ハガキをセットする

給紙トレイには、官製ハガキをセットできます。ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

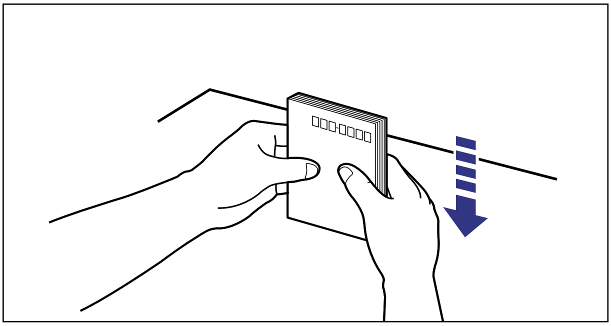
重要
- ハガキにプリントする場合は、周囲 5mm にはプリントできません。

1 プリンタ前面の給紙トレイを開けます。



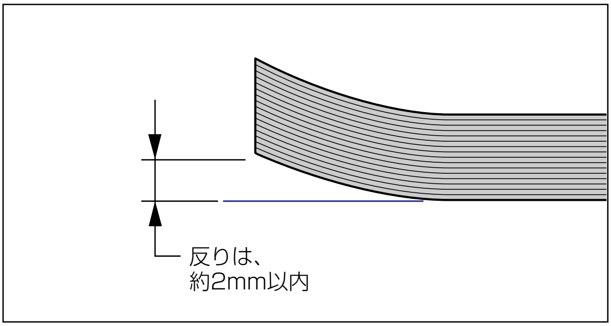
重要
- 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

2 ハガキの束を平らな場所で揃えます。



重要

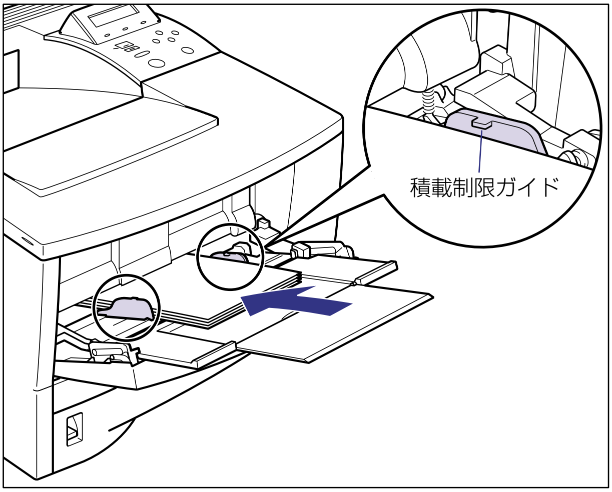
- 反りがあるときは、上向きに約 2mm 以内になるように反りを修正してセットしてください。



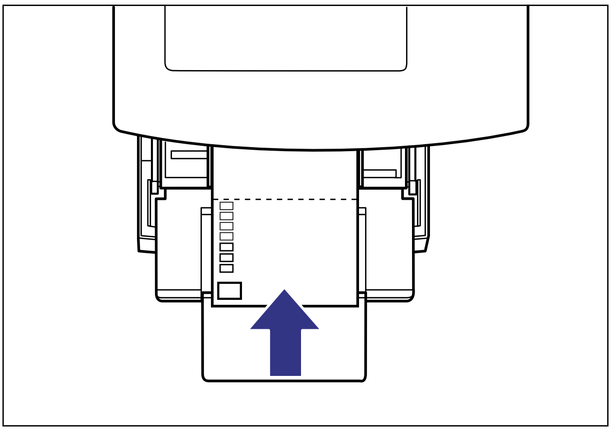
- 裁断状態が悪いハガキを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、ハガキをよくさばいてからセットしてください。

3 ハガキを給紙トレイにセットします。

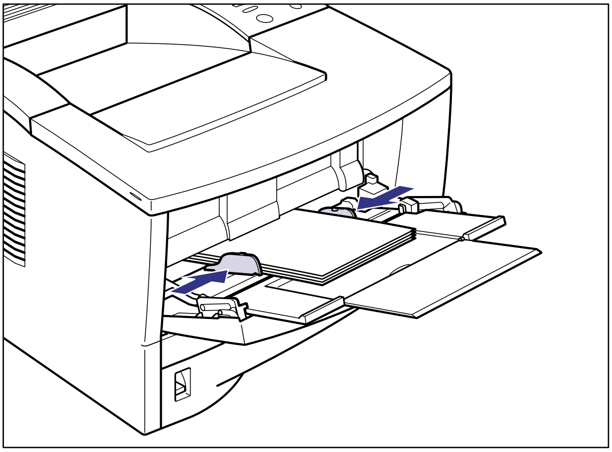
宛名を書く面にプリントするときは、宛名を書く面を上にしてハガキの上端が奥になるようにセットします。



重要
- 給紙トレイには、ハガキを約 40 枚までセットできます。ハガキ束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows NT 4.0/2000 の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）



4 用紙ガイドをスライドさせて、ハガキの左右にぴったりと合わせます。



重要
- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、給紙トレイのハガキに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。

次に排紙先を選択してください（→ P.3-37）。

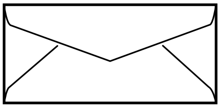
封筒をセットする

給紙トレイには、洋形 4 号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- 本プリンタで使用できる封筒は、洋形 4 号で次のような構造のものに限ります。（短辺にふたが付いているものは使用できません。）

洋形4号

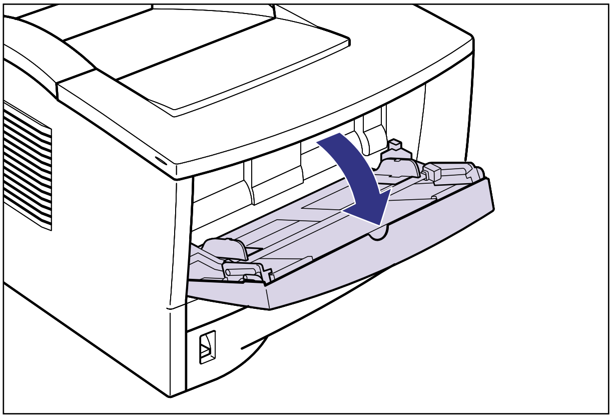
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



- 糊付きの封筒は使用しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- 封筒にプリントする場合は、周囲 10mm にはプリントできません。

メモ
- 封筒にプリントした場合、しわがよる場合があります。

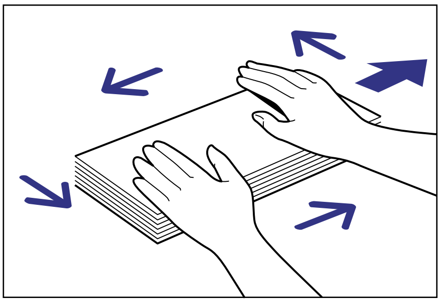
1 プリンタ前面の給紙トレイを開けます。



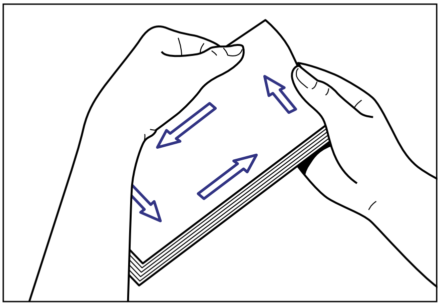
重要

- 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

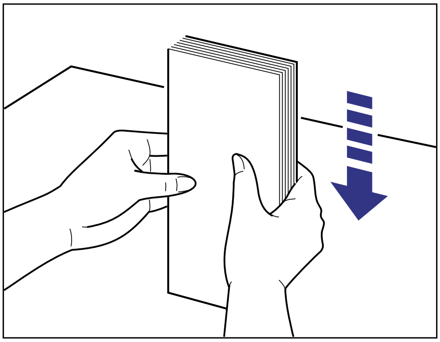
2 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて平らにします。



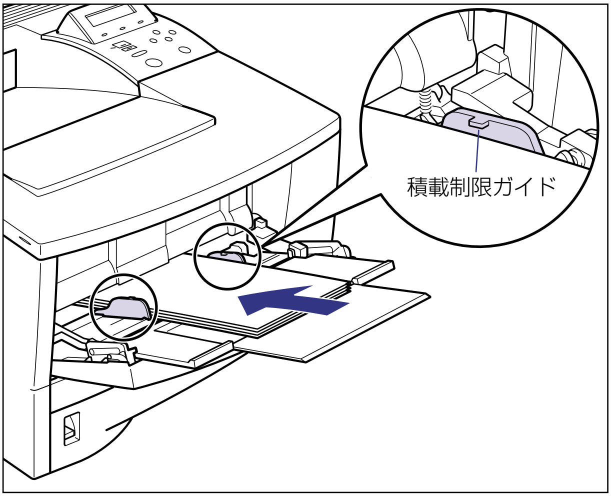
3 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



4 封筒を平らな場所で揃えます。

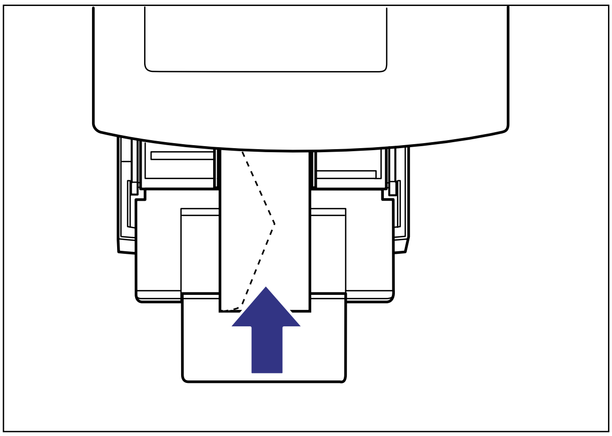


5 封筒の宛名を書く面を上向き、封筒のふたを左側に向けて、先端が給紙トレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

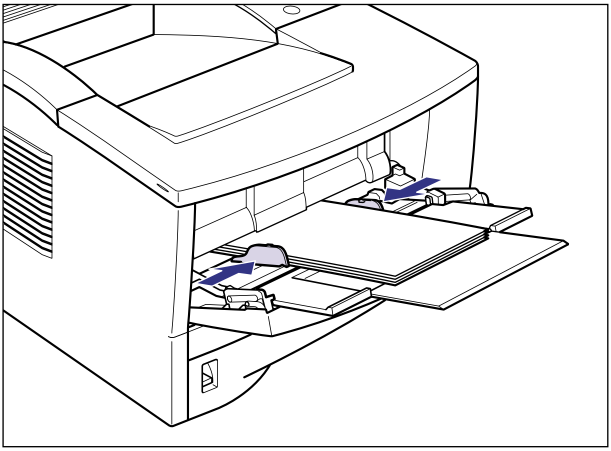


重要

- 給紙トレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 封筒は、ふたが左側になるようにセットしてください。



6 用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。



重要
- 用紙ガイドと封筒の間にすき間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- プリント中は、給紙トレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

次に排紙先を選択してください（→次項目）。

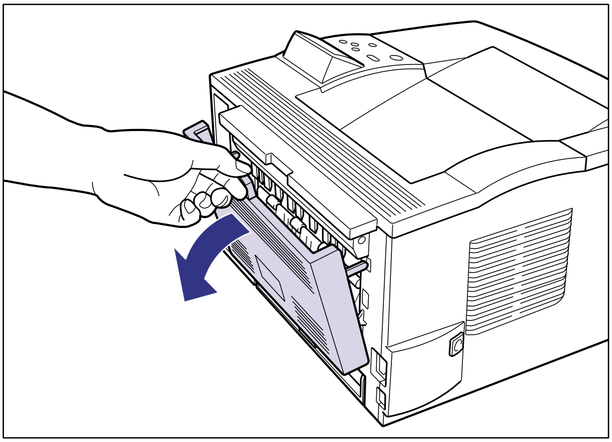
排紙先の選択

厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、封筒にプリントする場合、排紙先をサブ排紙先に切り替えます。普通紙にプリントする場合は、目的に合わせて排紙先を選択することができます。

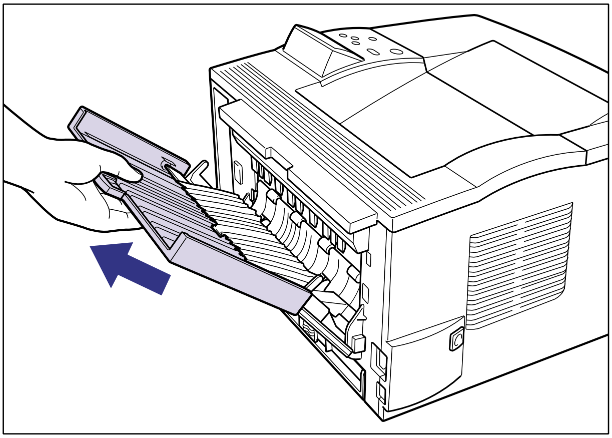
サブ排紙トレイに切り替える

排紙先をサブ排紙トレイに切り替えるときは、次の手順で行います。

1 サブ排紙トレイ上端の取っ手を後側に引いて、サブ排紙トレイを開けます。



2 補助トレイを引き出します。

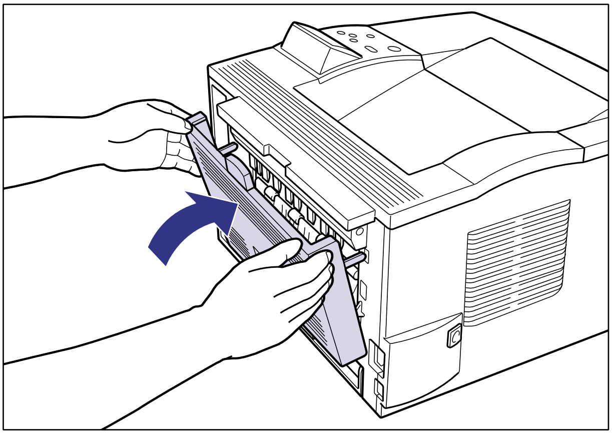


重要 • サブ排紙トレイを使用するときは必ず補助トレイを引き出してください。引き出さないまま排紙すると、紙づまりの原因になります。

排紙トレイに切り替える

排紙先を排紙トレイに切り替えるときは、次の手順で行います。

1 補助トレイを収納し、サブ排紙トレイを閉めます。



給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒、ハガキ、往復ハガキは、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。
給紙トレイの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

重要

- 給紙トレイにセットされている用紙サイズとセットアップメニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定を一致させてお使いください。一致していないと、正しくプリントされません。その際に「41　プリント　チェック」のメッセージが表示されることがあります。
- 用紙サイズの設定は、プリンタのセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。
- トレイ用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。

メモ

- 次の用紙は、略号で表示されます。
リーガル：LG、レター：LT、エグゼクティブ：EX、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2、洋形 4 号封筒：Y4、ユーザペーパー：80 ～ 99、フリー：FR
- 多様な用紙サイズを給紙トレイからプリントするとき、確実に用紙のチェックが可能な場合は「フリー」が便利です。



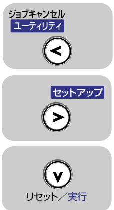
1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



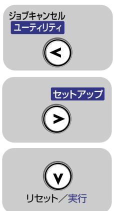
2 [セットアップ] を押します。

セットアップ゜
↓
カクチョウ キノウ →



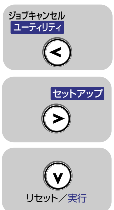
3 [<]、[>] で「キュウシ」を選択し、[V] を押します。

キュウシ →
↓
トレイ ヨウシ サイズ゛ →



4 [<]、[>] で「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、[V] を押します。

トレイ ヨウシ サイズ゛ →
↓
=A4 →



5 [<]、[>] で用紙のサイズを選択し、[V] を押します。

B5 →
↓
=B5 →

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙トレイの用紙サイズが設定されます。



6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

次に用紙タイプの設定を行ってください。
プリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください（→LIPS ソフトウェアガイド）。
DOS や UNIX などプリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、デフォルト用紙タイプの設定を行ってください（→次項目）。

給紙トレイの用紙タイプを設定する

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、操作パネルから用紙タイプの設定を行います。用紙の種類に合わせて操作パネルから「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を設定します。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。操作パネルでデフォルト用紙タイプを設定するときは、次の手順で行います。

用紙の種類	セットアップメニュー「デフォルト ヨウシ タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ
厚紙（106～163g/m²）	アツガミ
OHPフィルム	OHP
ラベル用紙	フツウシ
封筒	フツウシ
ハガキ、往復ハガキ	フツウシ

重要

- 封筒、ハガキ、往復ハガキにプリントするときは、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定を必ず「フツウシ」に設定してプリントしてください。「アツガミ」に設定して封筒、ハガキ、往復ハガキに連続プリントした場合、次にプリントする用紙の端に残像が現れることがあります。
- 厚紙や封筒をプリントして定着性がよくない場合は、「トクシュモード　H」を「ツカウ」に設定してください。詳細については、「LIPS機能ガイド」を参照してください。
- 目的のプリントが終わったあとは、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定を元に戻してください。

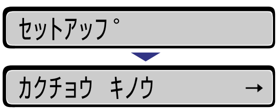


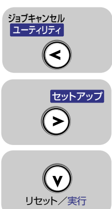
1 [オンライン] を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

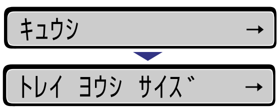


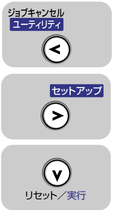
2 [セットアップ] を押します。



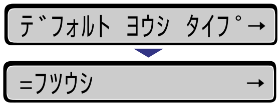


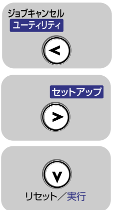
3 [<]、[>] で「キュウシ」を選択し、[V] を押します。



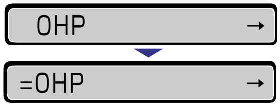


4 [<]、[>] で「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を選択し、[V] を押します。





5 [<]、[>] で用紙のタイプを選択し、[V] を押します。



用紙タイプの左に「=」が表示され、給紙トレイの用紙タイプが設定されます。



6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

両面にプリントする

本プリンタは標準で両面プリントすることができます。使用できる用紙は、A4、リーガル、レターサイズの普通紙です。

重要

- 定形外の用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、封筒には、両面プリントできません。
- 両面プリントするときは必ずサブ排紙トレイを閉じてから行ってください。
- 両面プリント中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面プリント中は表面をプリントしたあと一度途中まで排紙され、裏面をプリントするために再度給紙されます。

メモ

- プリンタの RAM 容量が 8MB（標準）で印字動作が「ジドウ」（工場設定値）の場合、両面プリントは可能ですが、罫線が多い文書や複雑なグラフィックデータのある文書を両面プリントする場合には、印字品質が低下することがあります。その場合は、印字動作の設定を変更したり、拡張 RAM を増設する必要があります。詳細については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

両面プリントと片面プリントを切り替える

両面プリントするときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

両面プリントをするときは、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

両面プリントをするときは、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで設定します。
プリンタの操作パネルで両面プリントと片面プリントを切り替えるときは、次の手順で行います。



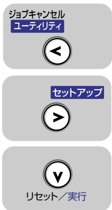
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



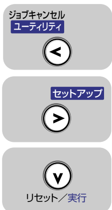
2 ［セットアップ］を押します。

```
セットアップ゜
カクチョウ キノウ →
```



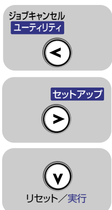
3 ［<］、［>］で「キュウシ」を選択し、［V］を押します。

```
キュウシ →
トレイ ヨウシ サイズ゛ →
```



4 ［<］、［>］で「リョウメン　メニュー」を選択し、［V］を押します。

```
リョウメン メニュー →
=カタメン →
```



5 ［<］、［>］で「リョウメン」を選択し、［V］を押します。

```
カタメン →
=リョウメン →
```

「リョウメン」の左に「＝」が表示され、両面印刷が設定されます。



6 ［オンライン］を押します。

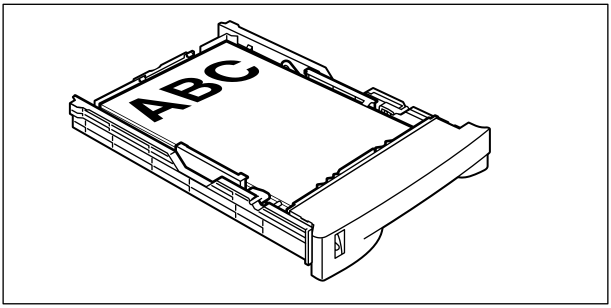
オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

両面にプリントするときの用紙のセットのしかた

両面プリントでは、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

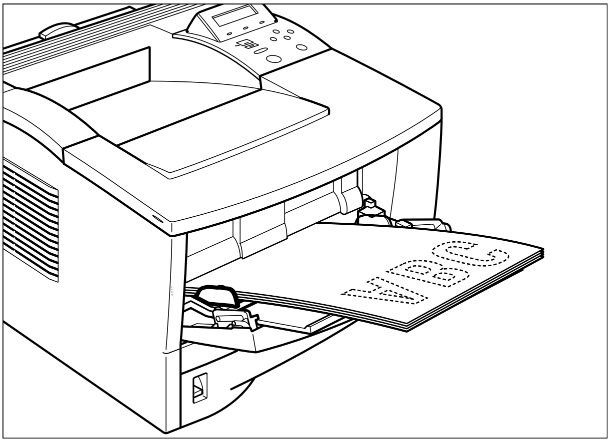
給紙カセットから給紙する場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端が奥になるようにセットします。



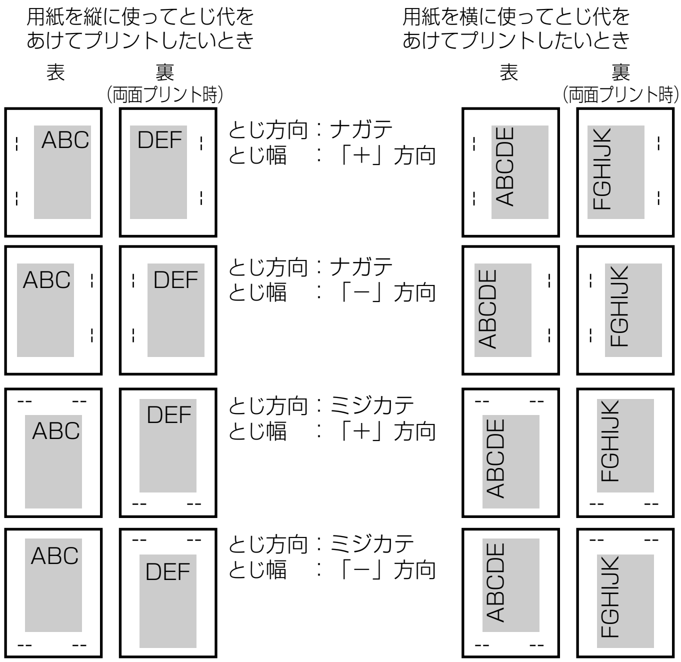
給紙トレイから給紙する場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端が手前になるようにセットします。



とじ代を付けてプリントする

用紙の端にとじ代用の余白を付けてプリントすることができます。とじ代を付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじ幅（最大 30 mm）を指定します。



重要
- とじ代を設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

メモ
- プリンタドライバの場合、（＋）、（－）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
- 両面プリントの場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
- 縦補正、横補正の設定はとじ幅の設定に関係なく有効です。このため、両面プリントで縦補正、横補正が設定されている場合、表裏のとじ代がずれることがあります。

とじ代を設定する

とじ代を設定するときは、次の手順で行います。

■ Windows からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじ代指定］を設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ Macintosh からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでとじ代を設定します。
プリンタの操作パネルでとじ代を設定するときは、次の手順で行います。

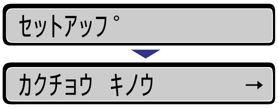


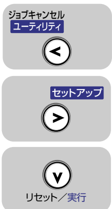
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

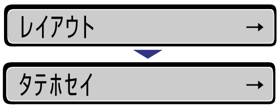


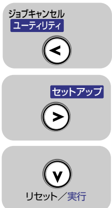
2 ［セットアップ］を押します。



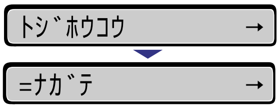


3 ［<］、［>］で「レイアウト」を選択し、［V］を押します。

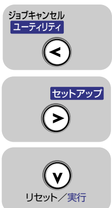




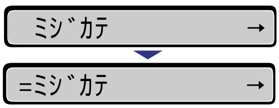
4 ［<］、［>］で「トジ　ホウコウ」を選択し、［V］を押します。



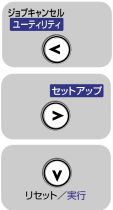
とじ方向の設定値が表示されます。



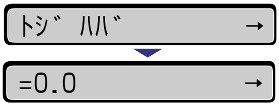
5 ［<］、［>］で目的のとじ方向を選択し、［V］を押します。



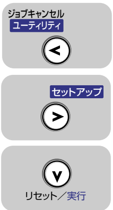
選択したとじ方向が設定されます。



6 [<]、[>] で「トジ ハバ」を選択し、[∨] を押します。

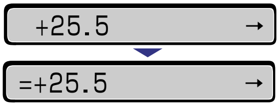


とじ幅の設定値が表示されます。



7 [<]、[>] で目的の数値を選択し、[∨] を押します。

数値は、[<] または [>] を押すたびに 0.5 mm 単位で変化します。



選択した数値がとじ幅に設定されます。



8 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

日常のメンテナンス

4
CHAPTER

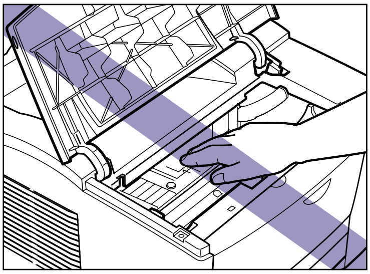
この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

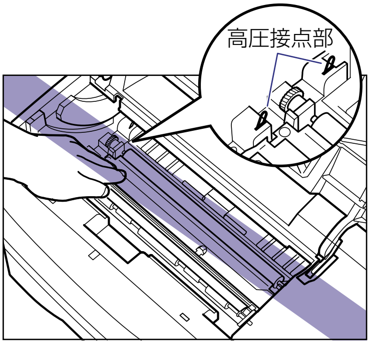
トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



重要
- 上カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。



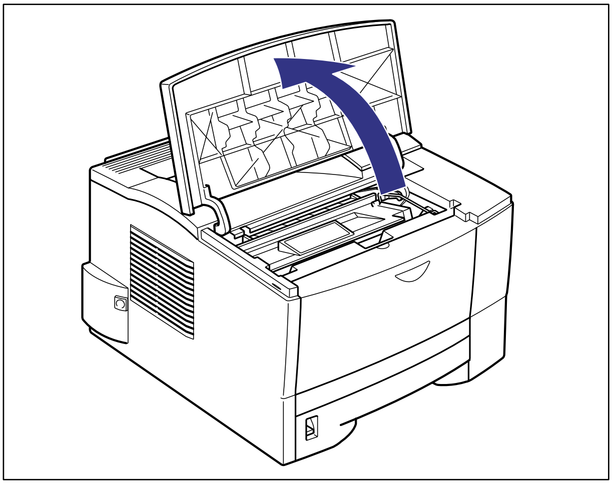
メモ
- 本プリンタ用 EP-32 トナーカートリッジの寿命は、A4 サイズの用紙の場合で約 5,000 枚です。この枚数は一般的なプリント（印字比率：約 5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

トナーを使い切るには

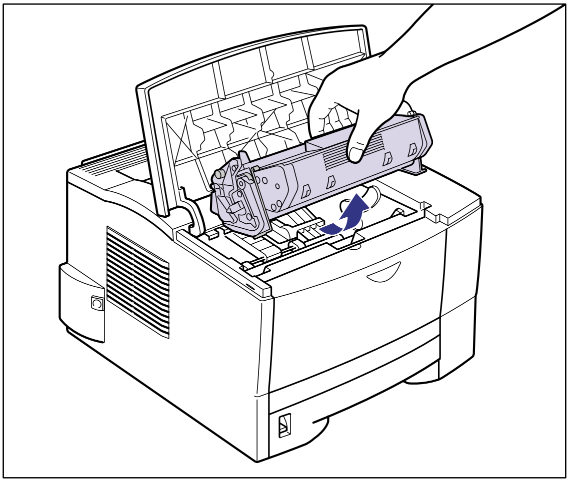
プリントされた文字がかすれたり薄くなってきたときは、トナーカートリッジを交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

⚠注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

1 上カバーを開けます。

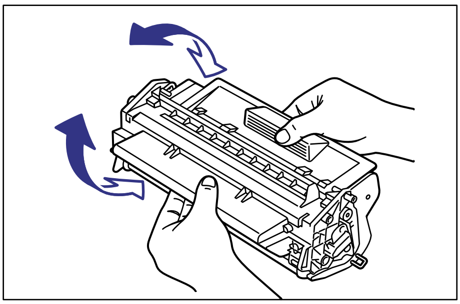


2 トナーカートリッジを取り出します。



3 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

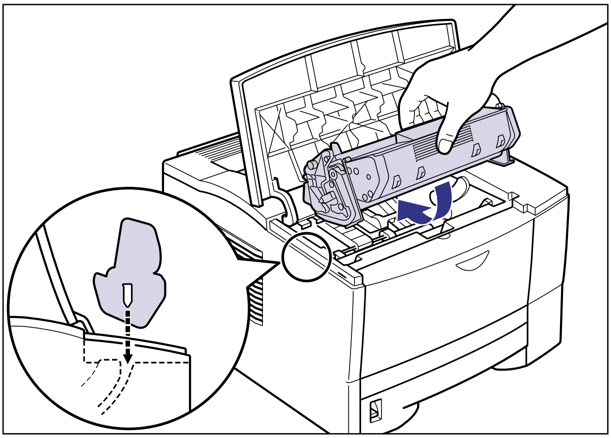
トナーがこぼれないように振ってください。



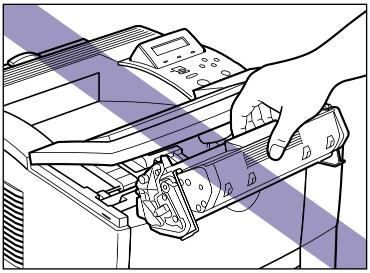
重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

4 トナーカートリッジを図のように持ち、本体に取り付けます。

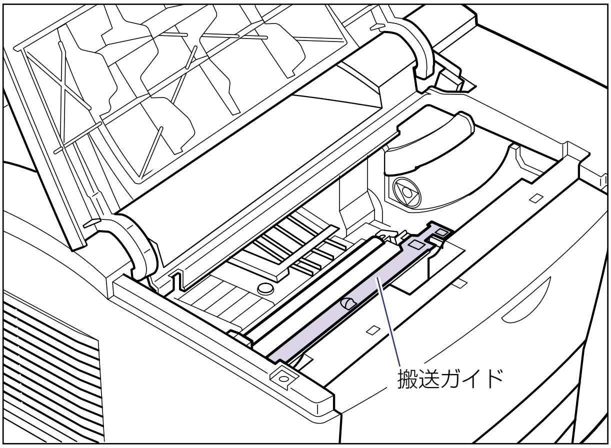
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。



重要
- トナーカートリッジを挿入するときは、上カバーを完全に開けてから挿入してください。上カバーを途中までしか開けていない状態で、トナーカートリッジを挿入することはできません。

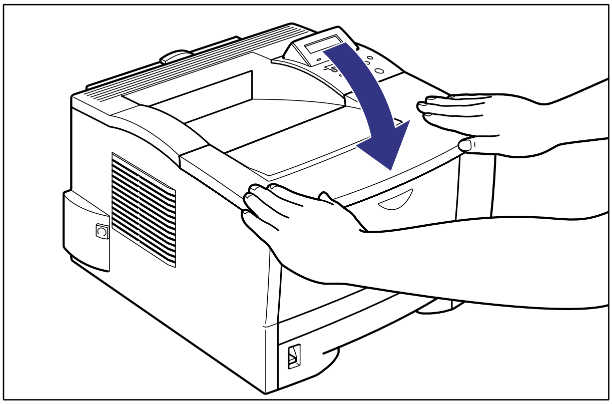


- 搬送ガイドが閉まっていることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。



5 上カバーを閉めます。

上カバーは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉めます。



重要

- 上カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に上カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

上記のような操作をしてもプリントがかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジの交換

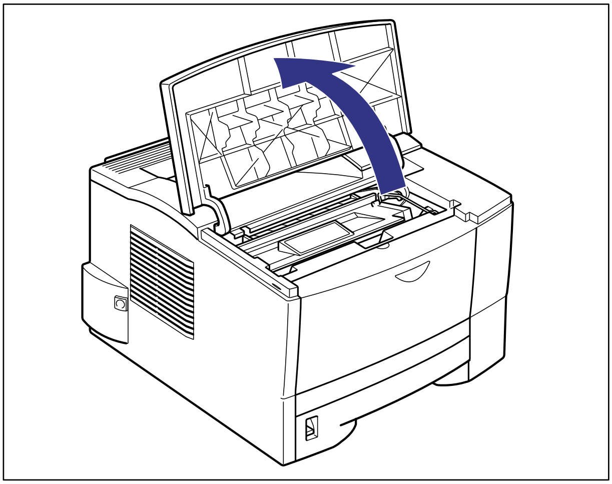
次の手順で搬送ガイド付近の清掃をしたあと、新しいトナーカートリッジと交換してください。

警告
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

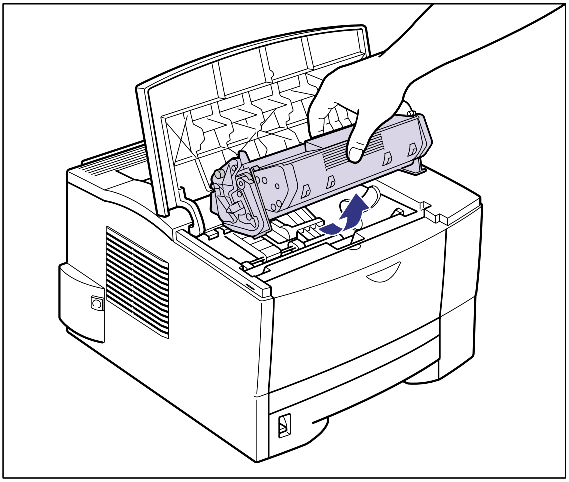
注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

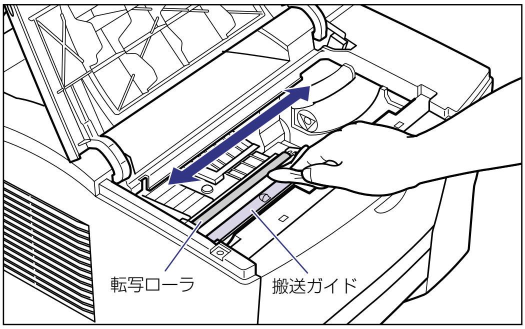
1 上カバーを開けます。



2 トナーカートリッジを取り出します。



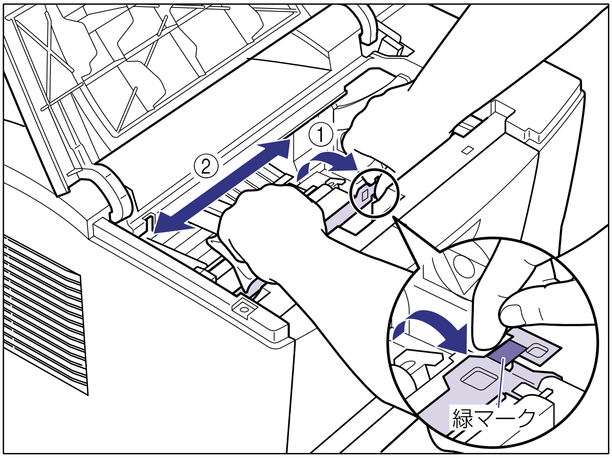
3 水を含ませて固く絞った布で、搬送ガイド付近にたまっている紙粉やトナーをふき取ります。



重要
- 中性洗剤などのクリーニング溶液は、絶対に使用しないでください。
- 転写ローラや転写ローラの右側にあるギアなど、指定以外の部品に触れないように清掃してください。印字品質低下の原因になります。

4 搬送ガイドを持ち上げ ①、水を含ませて固く絞った布で搬送ガイドに付いている紙粉やトナーをふき取ります ②。

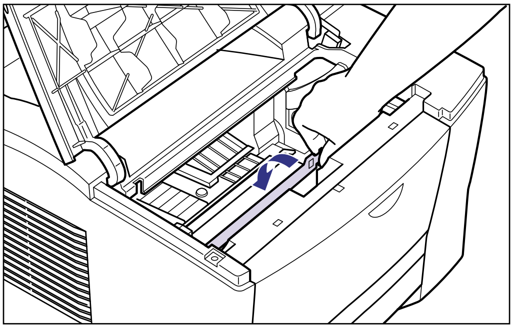
搬送ガイドは、緑マークの部分を持って、持ち上げてください。



ふき取ったら、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。

重要
- 搬送ガイドに水分や紙粉が残らないようにしてください。
- 必ず最後にからぶきしてください。内部に水分が残ると、故障の原因になります。

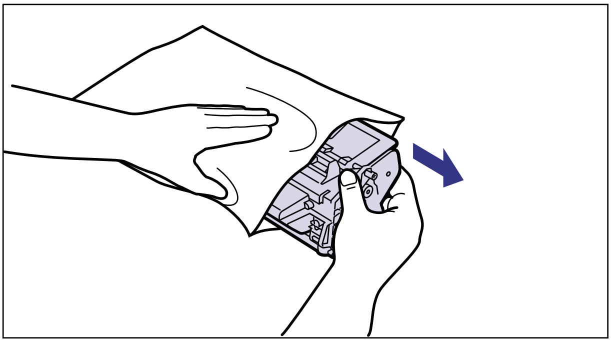
5 搬送ガイドを元に戻します。



重要
- 搬送ガイドが元の位置へ戻っていることを必ず確認してください。搬送ガイドが戻っていない状態でトナーカートリッジをセットすると、トナーカートリッジ破損の原因になります。

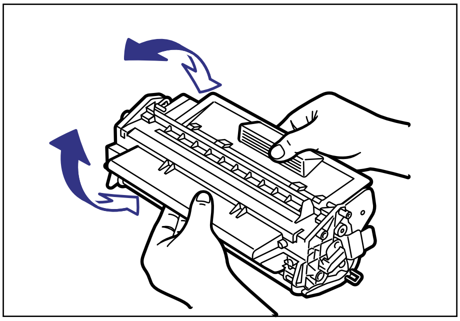
6 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。



重要
- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

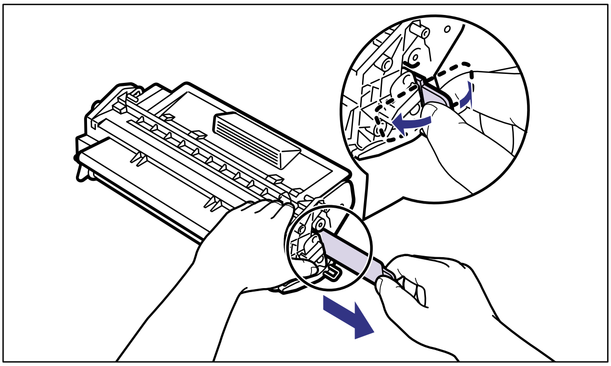
7 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。



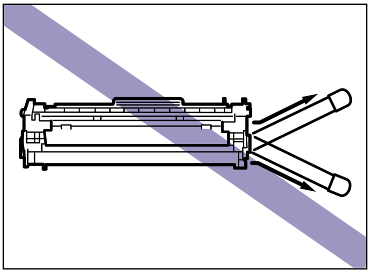
重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

8 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約50cm）を引き抜きます。

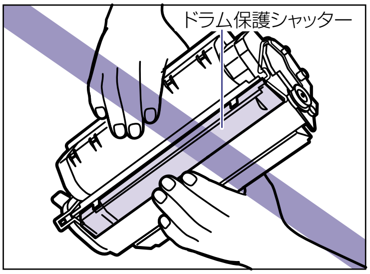
シーリングテープは、図のようにタブを折ってから、タブを持ち矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



重要
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



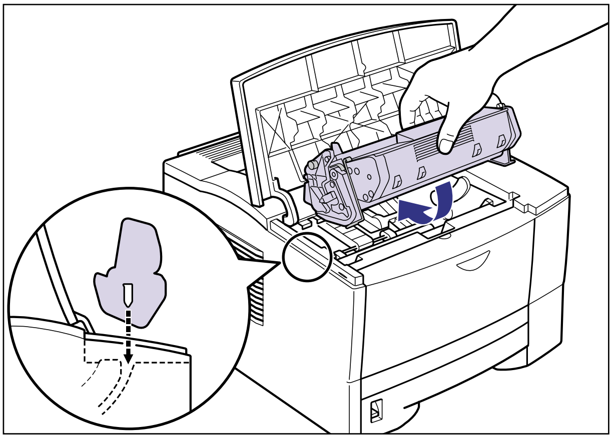
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



- 引き抜いたシーリングテープは廃棄してください。

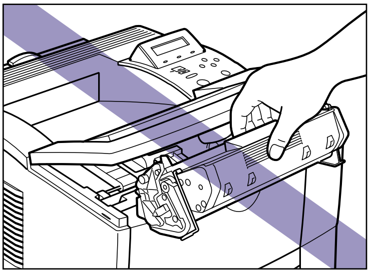
9 トナーカートリッジを図のように持ち、本体に取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。



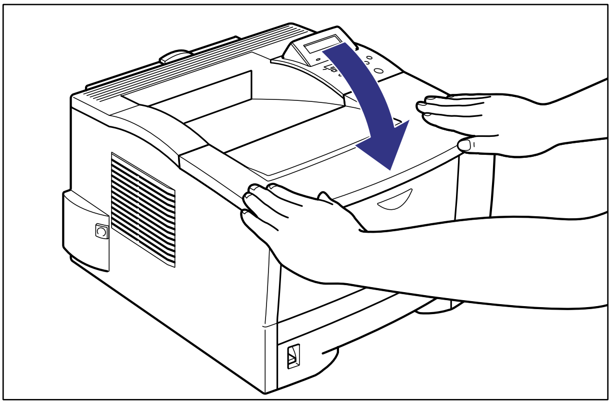
重要

- トナーカートリッジを挿入するときは、上カバーを完全に開けてから挿入してください。上カバーを途中までしか開けていない状態で、トナーカートリッジを挿入することはできません。



10 上カバーを閉めます。

上カバーは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉めます。



重要

- 上カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に上カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

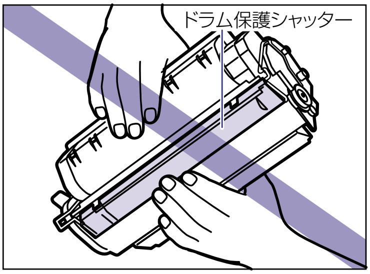
トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

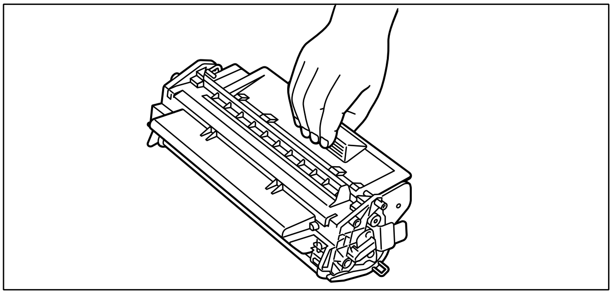
警告
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。
- 紙づまりやプリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持って取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。

4

日常のメンテナンス

- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

印字濃度を調整する

プリント結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次の操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に標準的な濃度（4）に設定されています。トナー濃度は 1 ～ 8 まで操作パネルから設定できます。



1 ［オンライン］を押します。

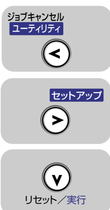
オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



2 ［セットアップ］を押します。

セットアップ゜

カクチョウ　キノウ　→

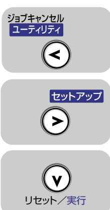


3 ［<］、［>］で「カクチョウ　キノウ」を選択し、［V］を押します。

カクチョウ　キノウ　→

コピ゜ーマイスウ　→

拡張機能の設定項目が表示されます。



4 ［<］、［>］で「トナー　ノウド」を選択し、［V］を押します。

トナー　ノウド゛　→

=4　→

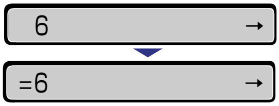
トナー濃度の設定値が表示されます。



5 [<]、[>] で目的の数値を選択し、[V] を押します。

[<] を押すと数値が減り、印字濃度は薄くなります。

[>] を押すと数値が増え、印字濃度は濃くなります。



設定値の左に「＝」が表示され、濃度が設定されます。



6 [オンライン] を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

定着器ローラを清掃する

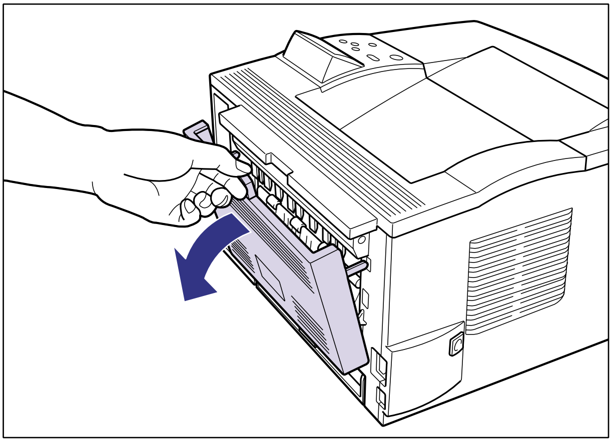
プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着器ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。
定着器ローラを清掃するときは、給紙トレイから A4 サイズの用紙を給紙し、サブ排紙トレイに排紙します。



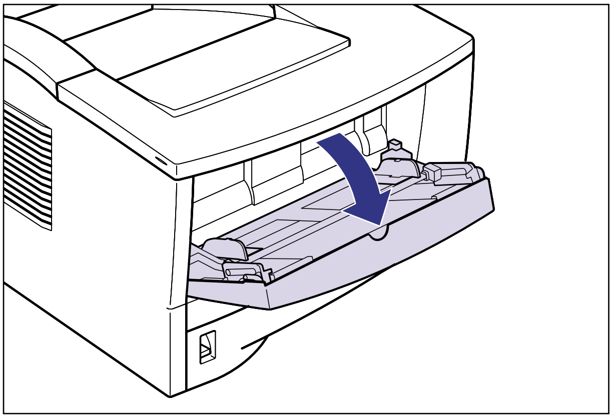
1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。

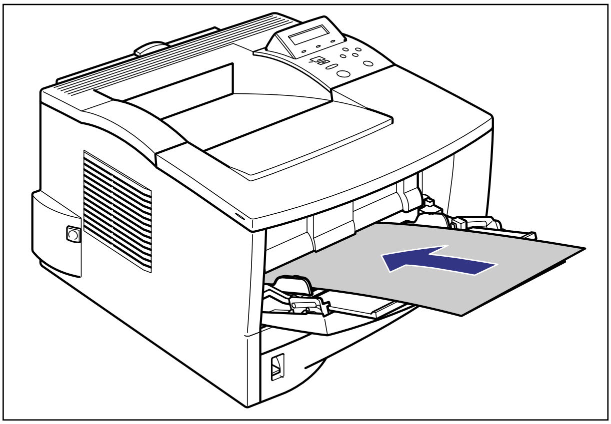
2 サブ排紙トレイを開けます。



3 給紙トレイを開けます。

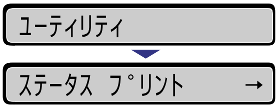


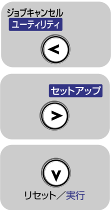
4 未使用の A4 サイズの用紙を給紙トレイにセットします。



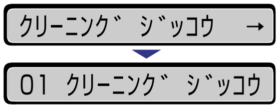


5 ［ユーティリティ］を押します。





6 ［<］［>］で「クリーニング　ジッコウ」を選択し、［V］を押します。



用紙がゆっくりと送られて、定着器ローラの清掃を開始します。

メモ

- クリーニングの実行には、約３分かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。



7 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが点灯し、プリントできる状態になります。

プリンタを清掃する

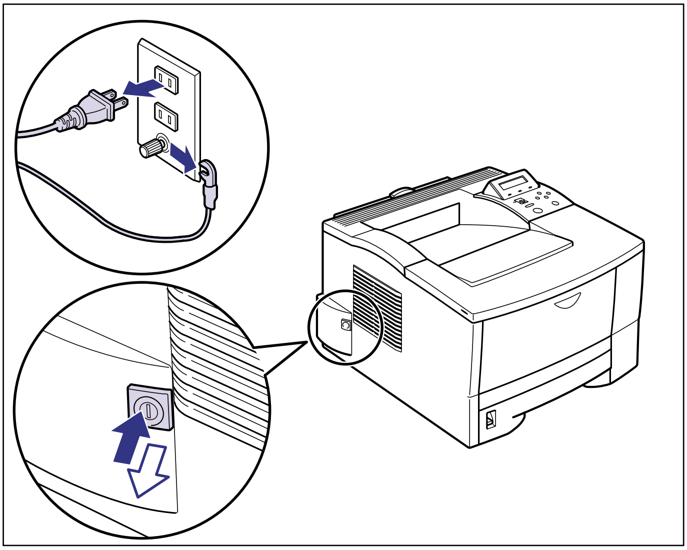
本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や冷却用排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

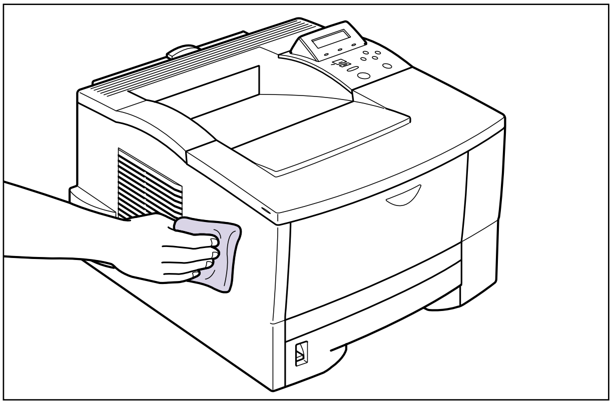
電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。



4 日常のメンテナンス

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

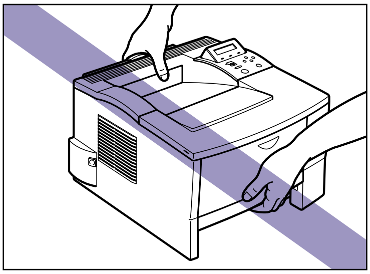
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリンタを移動する

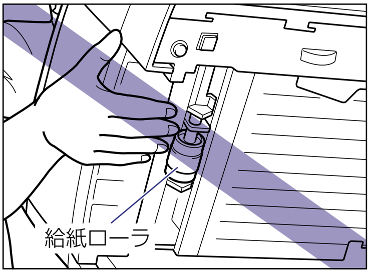
メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順に従って移動させてください。

警告
- プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 13.3kg（本体：約 12.1kg/ トナーカートリッジ：約 1.2kg）あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、指定以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



重要
- 必ず給紙トレイや上カバー、サブ排紙トレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。
- 給紙トレイには絶対に手を掛けないでください。給紙トレイが破損することがあります。
- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。



メモ
- 設置場所については、「設置ガイド」を参照してください。

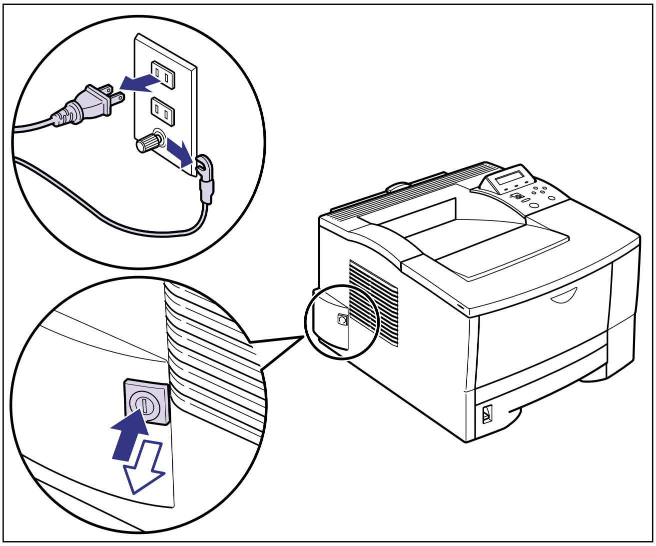
本体を移動する

本プリンタの本体のみを移動するときは、次の手順で正しく持ち運んでください。

4
日常のメンテナンス

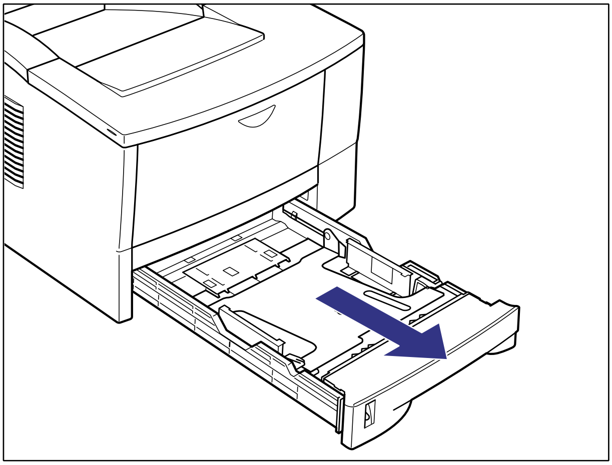
1 プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

電源をオフにするときは、ジョブランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

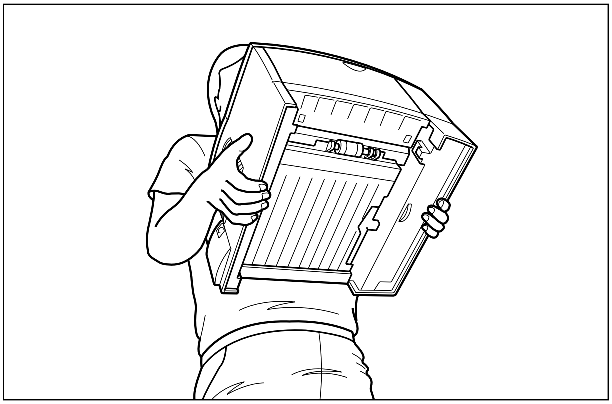


2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 給紙カセットを引き出します。



4 図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。



メモ

- オプションのペーパーフィーダが取り付けられているときは、「ペーパーフィーダを取り外す」（→設置ガイド）を参照してください。

5 移動場所にゆっくりとおろします。

注意

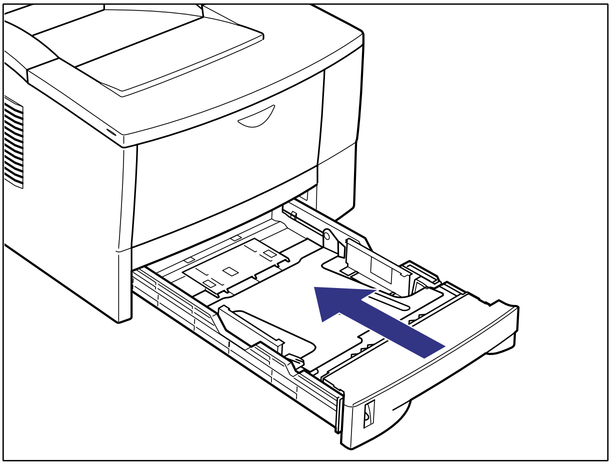
- プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要

- 設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

6 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



7 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

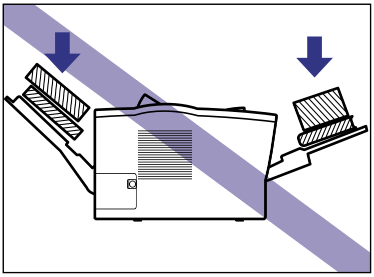
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要
- 本プリンタの取り扱いについては、「⚠ 安全にお使いいただくために」（→ P.x）もお読みください。

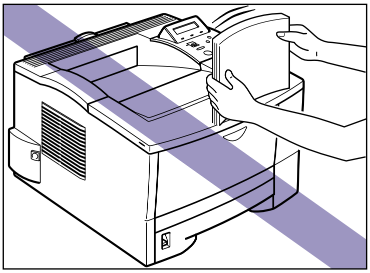
プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、次の注意をお守りください。

重要
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。



- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。



- プリント中は、絶対に本体の各カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイやプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

・温度が 0 〜 35.0 ℃の範囲内の場所

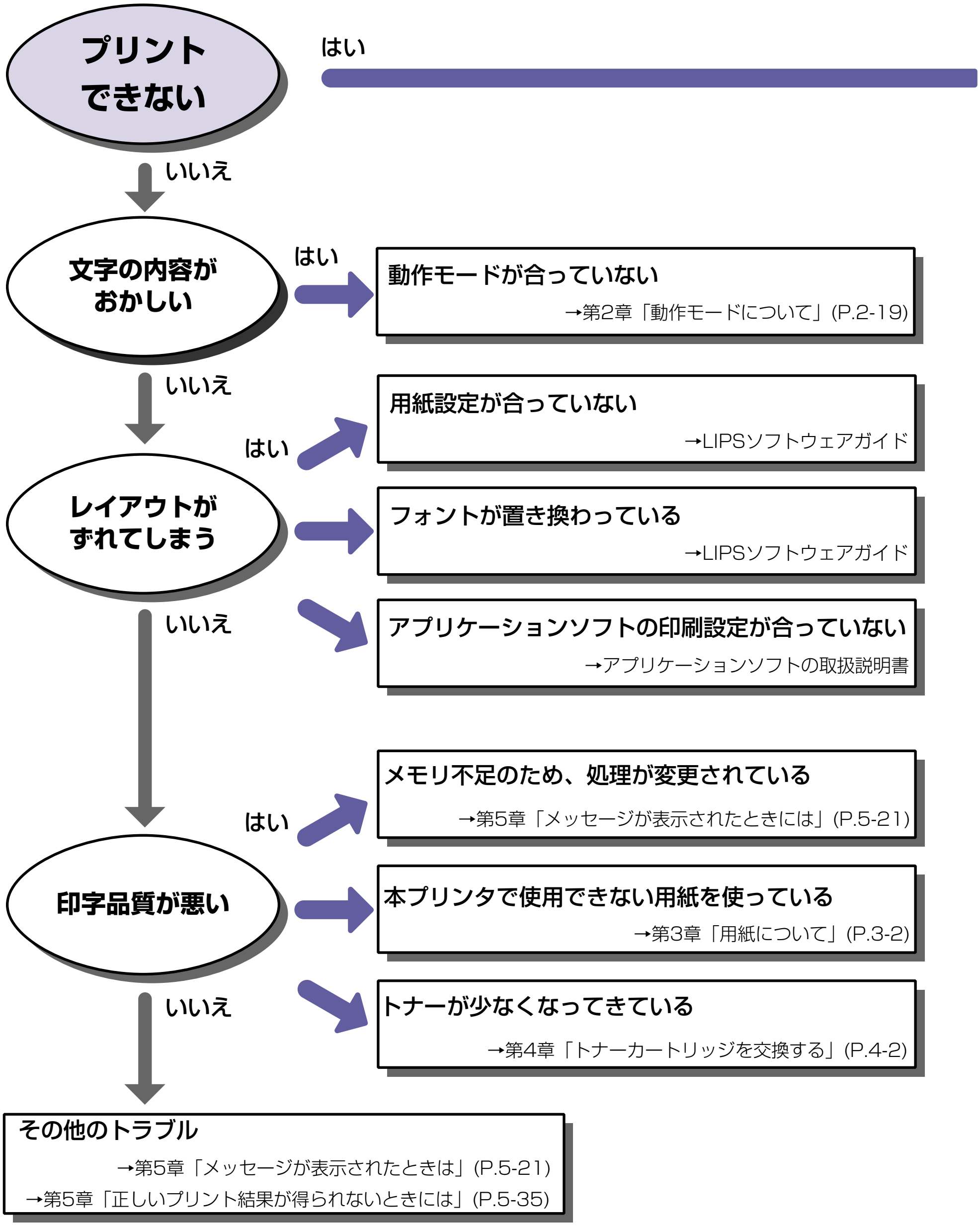
・湿度が 10 〜 80%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

困ったときには

5
CHAPTER

この章では、紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ



プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→第2章「動作モードについて」(P.2-19)
いいえ
はい
用紙設定が合っていない
→LIPSソフトウェアガイド
レイアウトがずれてしまう
フォントが置き換わっている
→LIPSソフトウェアガイド
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
いいえ
はい
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第5章「メッセージが表示されたときには」(P.5-21)
印字品質が悪い
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第3章「用紙について」(P.3-2)
トナーが少なくなってきている
→第4章「トナーカートリッジを交換する」(P.4-2)
いいえ
その他のトラブル
→第5章「メッセージが表示されたときは」(P.5-21)
→第5章「正しいプリント結果が得られないときには」(P.5-35)

NetSpot Job Monitor またはプリントモニタにメッセージが表示されている

いいえ → 出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド

はい ↓

“プリンタの準備ができていません”が表示されている

はい →

- プリンタの電源が入っていない
  →第2章「電源のオン、オフ」(P.2-6)
- プリンタがオフラインになっている
  →第2章「オンラインとオフライン」(P.2-10)
- ケーブルが正しく接続されていない
  →設置ガイド

いいえ ↓

エラーメッセージが表示されている

はい →

- “ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
  →第3章「給紙カセットからプリントする」(P.3-16)
  →第3章「給紙トレイからプリントする」(P.3-25)
- “ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
  →第5章「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」(P.5-4)
- その他のエラーメッセージが表示されている
  →第5章「メッセージが表示されたときには」(P.5-21)

いいえ ↓

プリンタのオンラインランプが点滅したままになっている

はい → 前のジョブが残っていてプリントできない
→第2章「プリントを中止したいときは」(P.2-23)

いいえ ↓

プリントデータを処理中です しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）

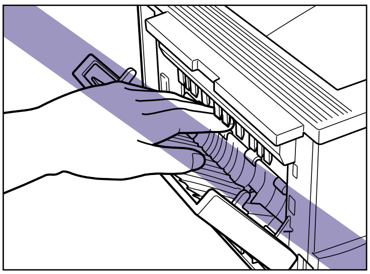
プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

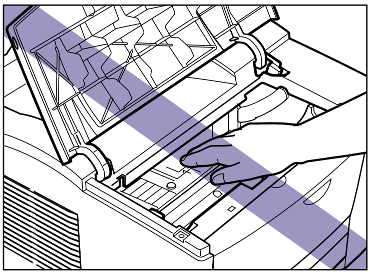
紙づまりの除去手順

用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認してから、手順に従って用紙を取り除きます。

⚠警告
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

⚠注意
- プリンタ使用中は定着器が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になります。

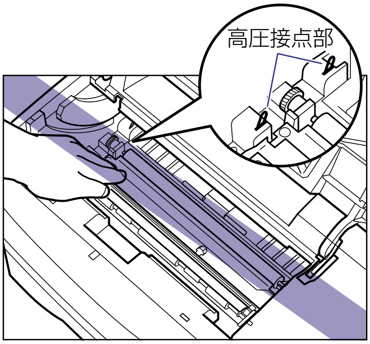




- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

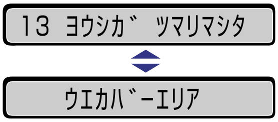
- 上カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります



- つまっている用紙を取りやすくするために、必ず先にトナーカートリッジを取り出してから紙づまり除去作業を行ってください。
- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、上カバーを一度開閉してください。

1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

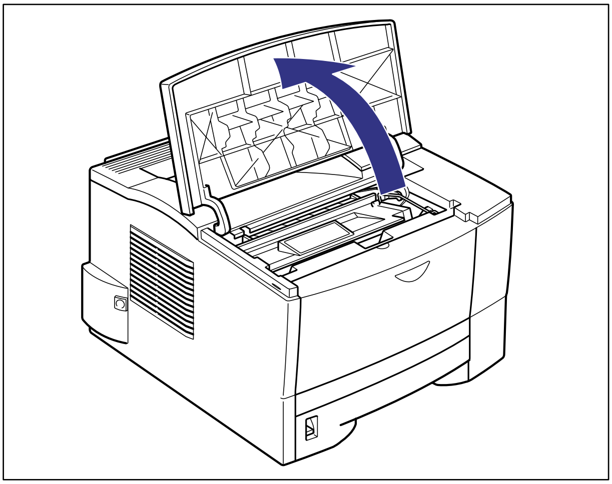
メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。



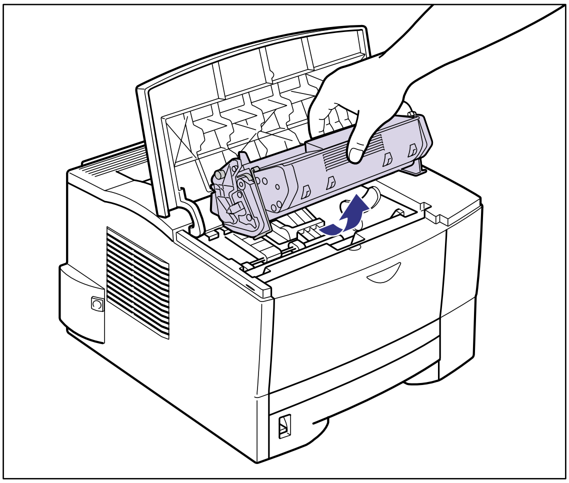
メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。複数表示されている場合はすべてを書きとめて、順番に従って確認してください。

ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
「キュウシ　エリア」	給紙トレイ、給紙カセット
「ウエカバー　エリア」	上カバー内部
「ハイシ　エリア」	排紙トレイ、サブ排紙トレイ
「リョウメン　エリア」	両面ユニット内部

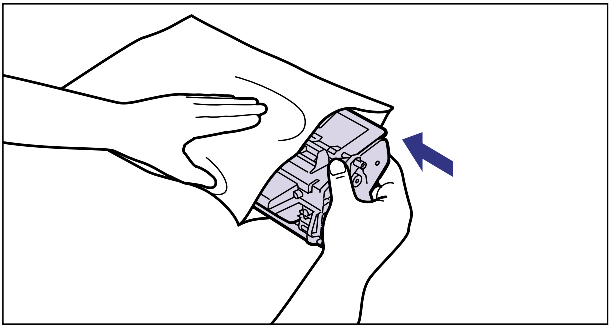
2 上カバーを開けます。



3 トナーカートリッジを取り出します。

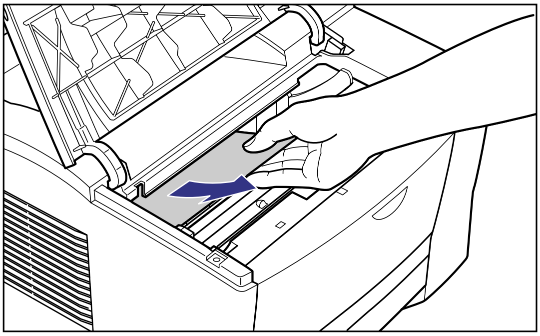


4 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

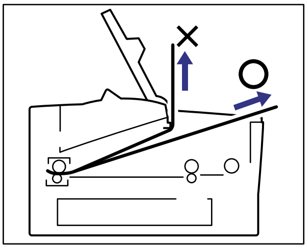


5 上カバー内に用紙が見える場合は、そのまま用紙を引っ張って、つまっている用紙を取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。

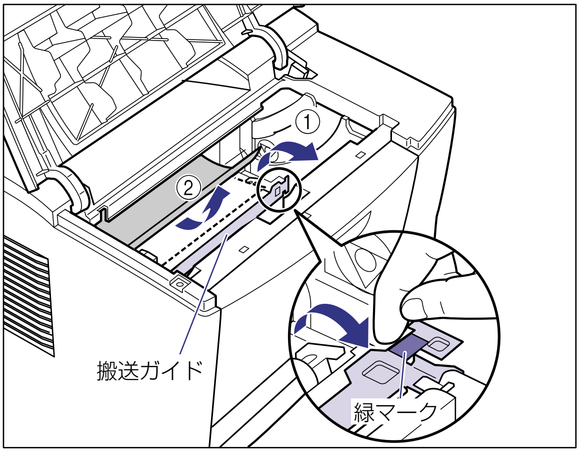


重要
- つまっている用紙を斜め上に引くと、定着していないトナーがこぼれることがあります。なるべくつまった用紙を水平に引いて、取り除いてください。内部が汚れると、印字品質低下の原因になります。



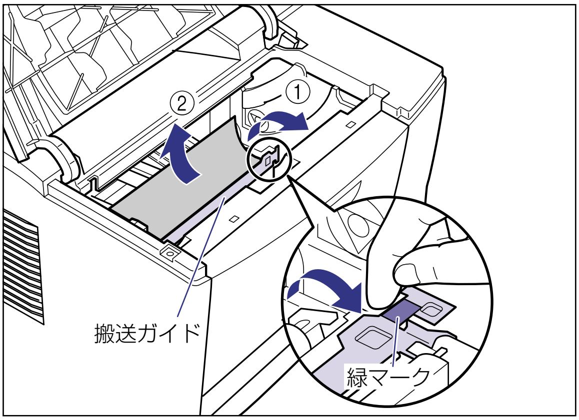
6 用紙の手前が搬送ガイドの下にある場合は、搬送ガイドを持ち上げ ①、つまっている用紙の端を引き出してから取り除きます ②。

搬送ガイドは、緑マークの部分を持って、持ち上げてください。



7 用紙が見えない場合は、搬送ガイドを持ち上げ ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

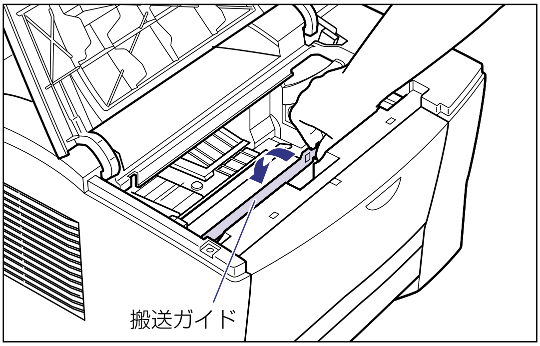
搬送ガイドは、緑マークの部分を持って、持ち上げてください。用紙は、両手でゆっくりと引き上げます。



重要

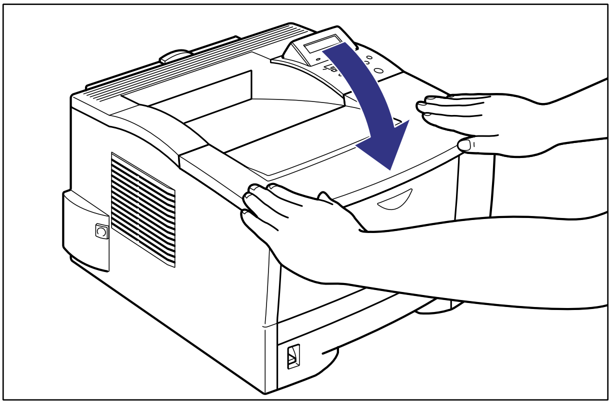
- 用紙の先端が排紙部まで送られているときは、サブ排紙トレイ側から用紙を取り除いてください。上カバー側から取り除くと、内部が汚れて印字品質低下の原因になります。

8 搬送ガイドを元に戻します。

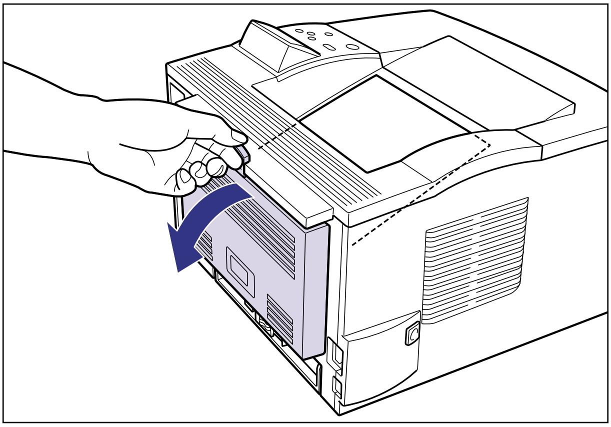


重要
- 搬送ガイドが元の位置へ戻っていることを必ず確認してください。搬送ガイドが戻っていない状態でトナーカートリッジをセットすると、トナーカートリッジ破損の原因となります。

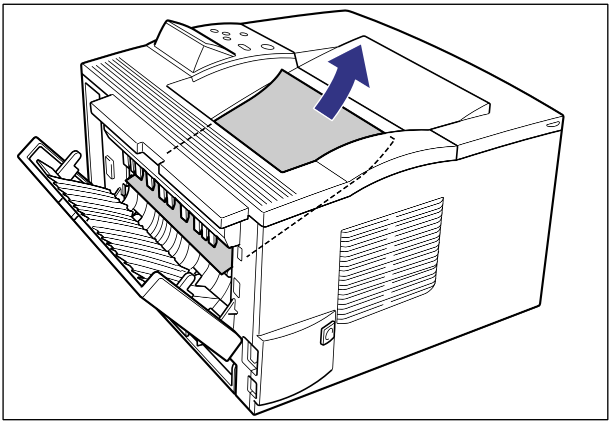
9 上カバーを閉めます。



10 サブ排紙トレイを開けます。

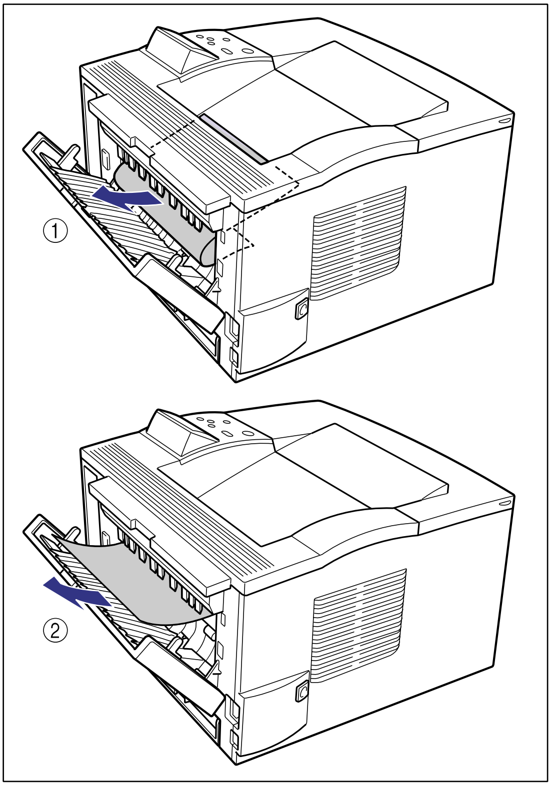


11 排紙トレイ側からつまっている用紙を取り除きます。

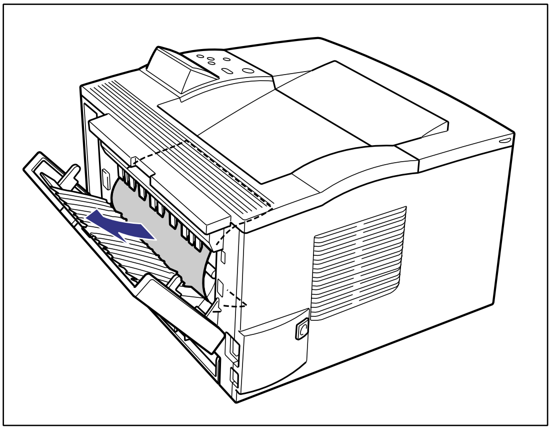


重要 • つまっている用紙が簡単にとれない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

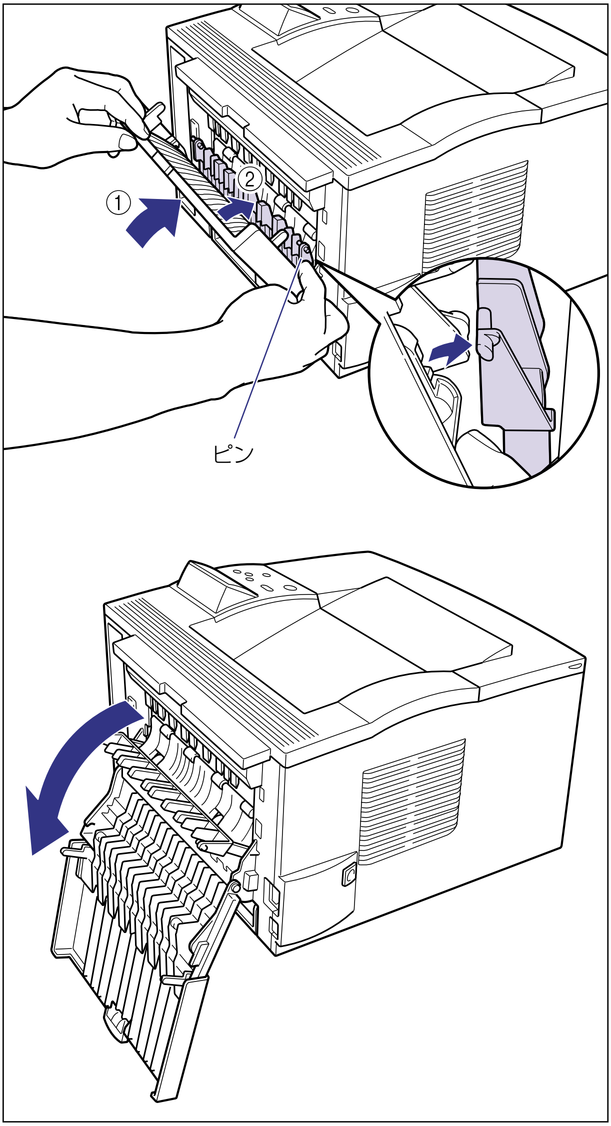
12 サブ排紙トレイ側からつまっている用紙の上側を引き出して ①、取り除きます ②。



●両面プリントを行っている場合



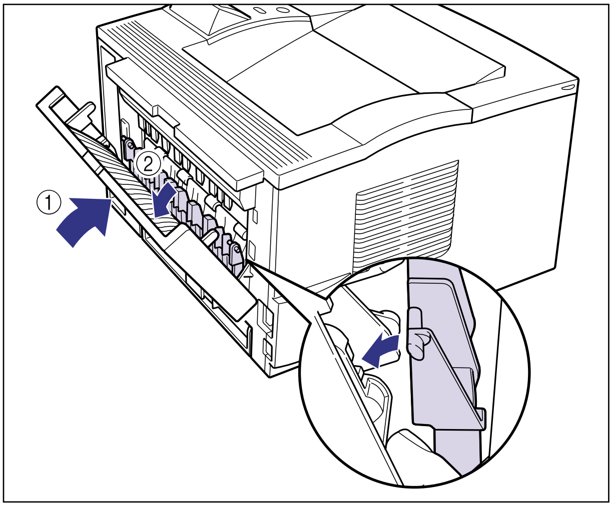
つまっている用紙が取り除きにくいときは、図のようにサブ排紙トレイを少し持ち上げ ①、サブ排紙トレイの左右にあるフック部からピンを外します ②。



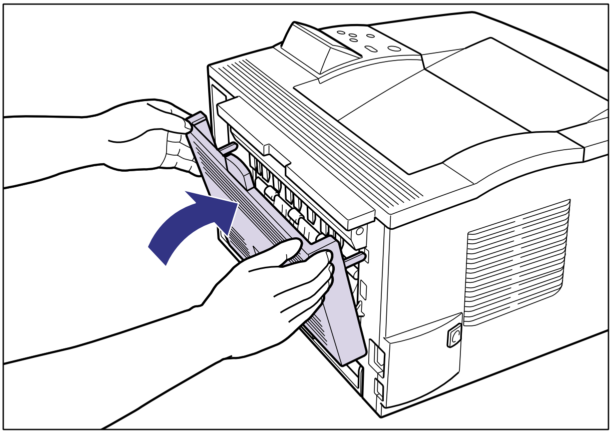
重要 • フック部からピンを外してサブ排紙トレイを下ろすときは、必ずサブ排紙 トレイを持って、ゆっくりと下ろしてください。

メモ

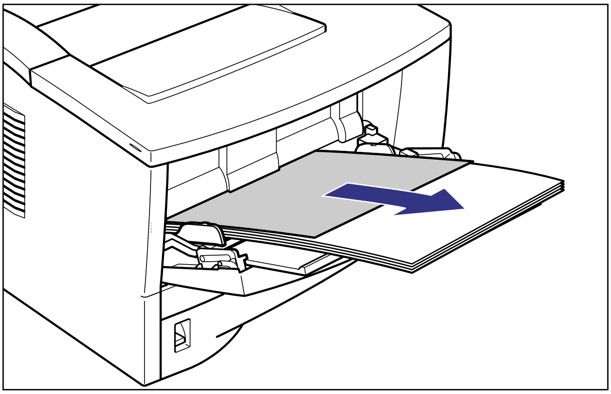
- サブ排紙トレイを戻すときは、図の位置までサブ排紙トレイを持ち上げます ①。自動的にピンがフック部にかかります ②。



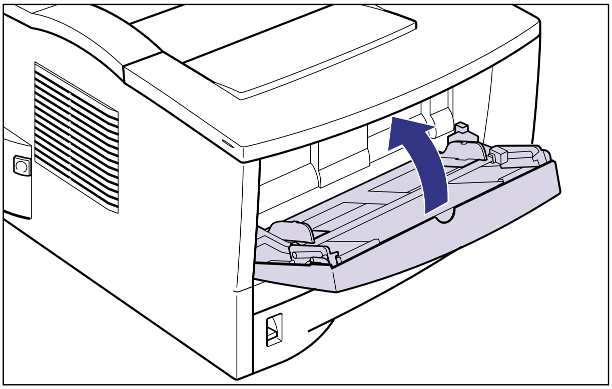
13 サブ排紙トレイを閉めます。



14 給紙トレイを使用している場合は、給紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

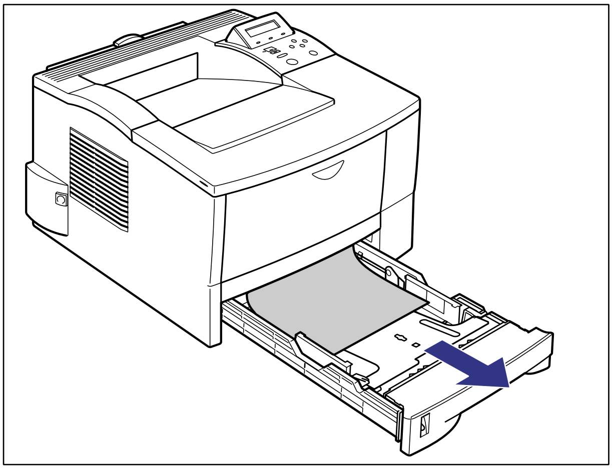


15 給紙トレイを閉めます。



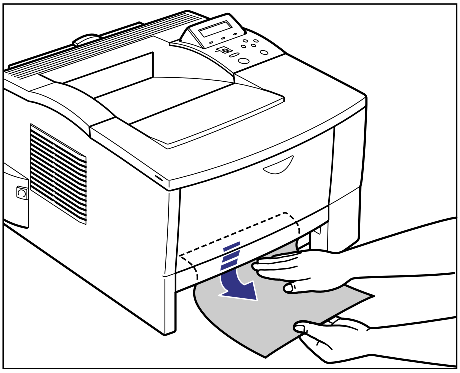
16 給紙カセットを引き出します。

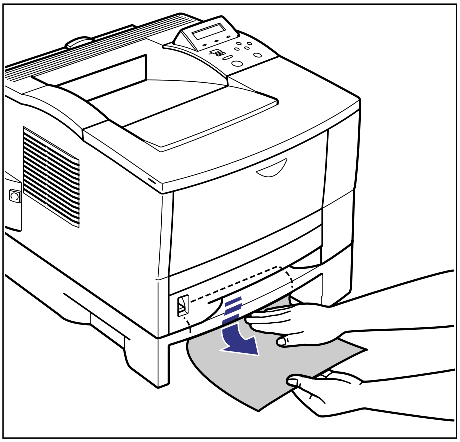
オプションのペーパーフィーダ装着時は、すべての給紙カセットを引き出します。



17 つまっている用紙を取り除きます。

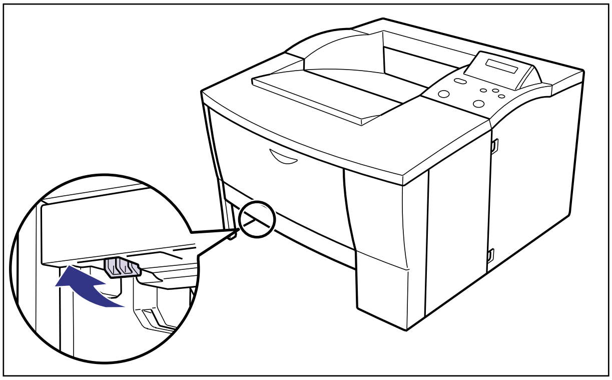
オプションのペーパーフィーダ装着時も同様につまっている用紙を取り除きます。



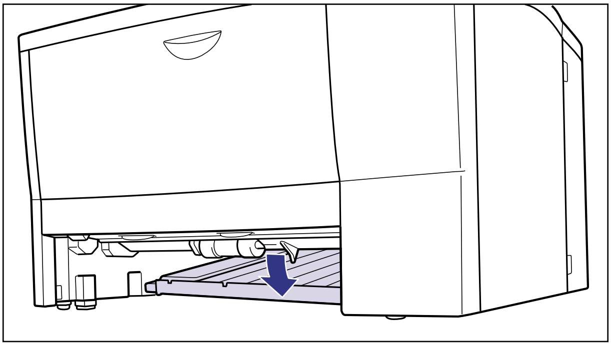


両面プリントしていない場合は、手順 22 に進んでください。

18 両面搬送路カバーを開けます。



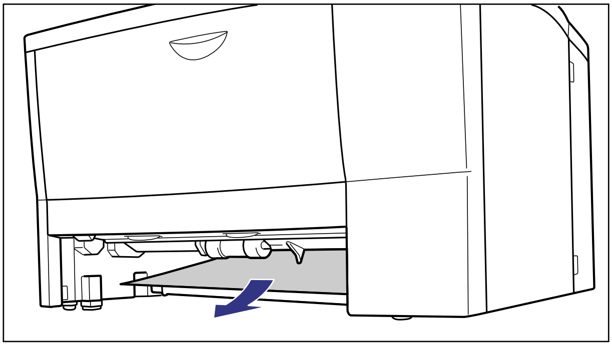
緑色のロック解除レバーを手前に引きます。



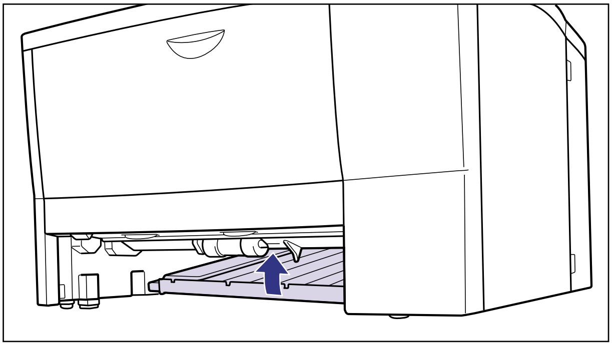
両面搬送路カバーが開きます。

重要 • 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。

19 つまっている用紙を取り除きます。

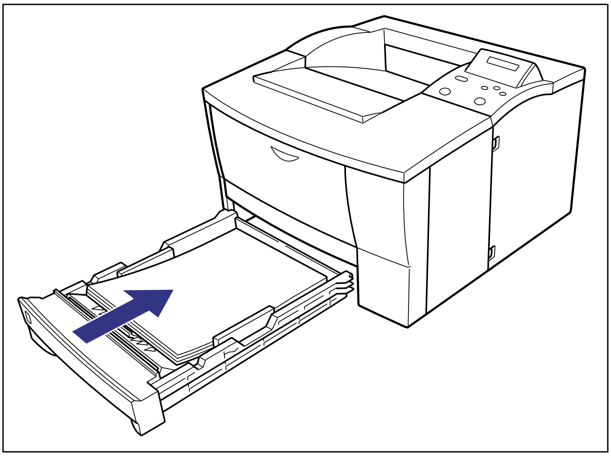


20 両面搬送路カバーを閉めます。

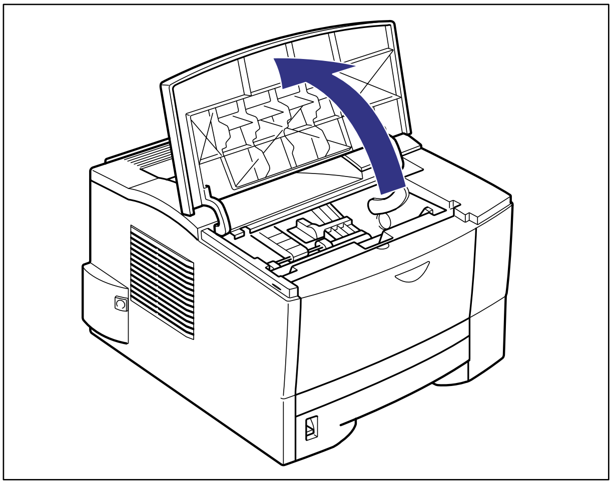


21 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

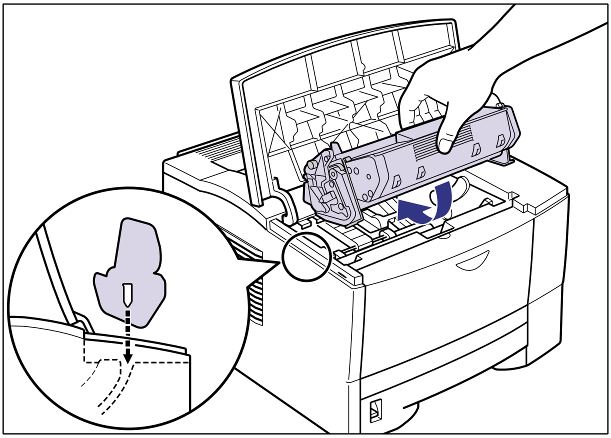
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



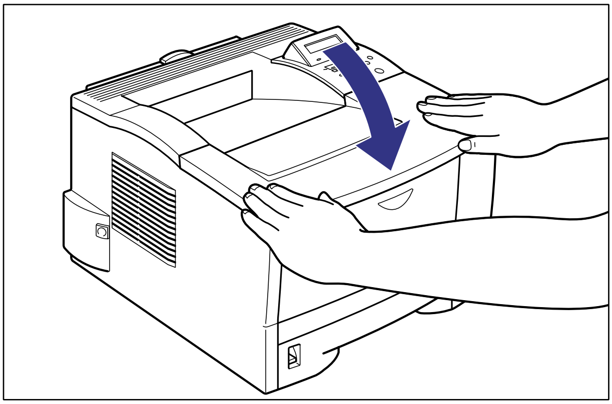
22 上カバーを開けます。



23 トナーカートリッジを取り付けます。



24 上カバーを閉めます。



メッセージが表示されたときには

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ
- 複数の警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラー状態と警告状態が同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- （警告メッセージ）の付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「警告表示」を「シナイ」に設定すると警告状態が発生している場合でも、メッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>のマークが付いているメッセージは、[オンライン] を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、[オンライン] を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

nn-nn　サービス　コール（nn は 2 桁の英数字）

原　因：プリンタの内部機構にトラブルが発生した

処　置：電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

重要
- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている 4 桁の英数字、および下の行のメッセージを書きとめたあと、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字とメッセージをお知らせください。

5F-50　サービス　コール

原　因：定着器にトラブルが発生した

処　置：ディスプレイに表示されている 4 桁の英数字を書きとめたあと、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

5F-nn　サービス　コール（nn は 2 桁の英数字）

原　因：プリンタの内部に結露が発生した可能性がある

処　置：本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、プリンタを設置してある環境に2 時間以上放置してからプリントしてください。結露が発生したままの状態でプリントすると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印字不良となることがあります。

重要
- 上記の処置をしてもエラーが表示されるときは、ディスプレイに表示されている 4 桁の英数字を書きとめたあと、電源をオフにして電源プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

メモ
- 結露とは、本プリンタの設置してある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合に、プリンタ内部に水滴が生じることです。

F9-nn　チェック　プリンタ（nn は 2 桁の英数字）

原　因：プリントデータ処理中にトラブルが発生した

処　置：電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってからオンにしてプリントしなおします。

重要
- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている 4 桁の英数字を書きとめたあと、電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

処置 1：用紙を補給またはセットしてください。

処置 2：［給紙選択］で、同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの他の給紙元を選択してください。

参　照：「給紙元を選択する」（→ P.3-9）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因：上カバーが開いている

処　置：上カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因 ：内部で紙づまりを起こしている

処　置 ：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。

参　照 ：「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）

重要
- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- 上カバーを開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず上カバーを一度開閉してから、［オンライン］を押してください。

14 EP　カートリッジ　ナシ

原　因 ：トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない

処　置 ：トナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。

参　照 ：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

17　カセット 1　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因 ：カセット 1 の用紙がなくなった

処　置 ：カセット 1（プリンタ本体のカセット）に用紙を補給してください。カセット 1 を元に戻したあと、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参　照 ：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）

17　カセット 2　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因 ：ペーパーフィーダを装着時にカセット 2 の用紙がなくなった

処　置 ：カセット　2（オプションのペーパーフィーダ）に用紙を補給してください。カセット 2 を元に戻したあと、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参　照 ：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）

1C　ソウシンチュウ：セントロ／ USB ／ EXP　（警告メッセージ）

原因 1 ：双方向通信に対応していないパソコンとセントロニクスで接続している場合に、メニューの双方向の設定が「ECP」または「ニブル」になっている

処　置 ：メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にしてください。

参　照 ：LIPS 機能ガイド

原因 2 ：双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

処　置 ：一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

21　プリント　オーバーラン　<エラースキップ可>

原　因 ：データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）

処置 1 ：セットアップメニューの解像度の設定がスーパーファインのときはファイン、ファインのときはクイックに変更し、プリントをしなおします。

処置 2 ：処置 1 をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューで、バンド制御を「シナイ」に設定し、データを送りなおします。

処置 3 ：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

参　照 ：LIPS 機能ガイド

23　ダウンロード　メモリフル　　　　　　　　　<エラースキップ可>

原　因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

処置 1：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

処置 2：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）

・セットアップメニューで、印字動作を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする。

・セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする。

・オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）
「電源のオン、オフ」（→ P.2-6）
設置ガイド
LIPS 機能ガイド

26　システムメモリ　フル　　　　　　　　　<エラースキップ可>

原　因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

処置 1：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置 2：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

処置 3：処置 2 を行っても必要なワークメモリが確保できないときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。）

・セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする

・オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）
「電源のオン、オフ」（→ P.2-6）
設置ガイド
LIPS 機能ガイド

27　ジョブカイシ　フカノウ　<エラースキップ可>

原　因：指定したエミュレーションが存在しない

処置 1：[オンライン] を押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

処置 2：本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定するか、オプションのコントロール ROM を取り付けてエミュレーションを追加します。

参　照：設置ガイド

28　ビョウガメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因：描画メモリが不足して処理ができなかった

処置 1：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

処置 2：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

処置 3：処置 2 を行っても必要な描画メモリが確保できないときは、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください。）
- セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）
「電源のオン、オフ」（→ P.2-6）
設置ガイド
LIPS 機能ガイド

30　メモリ　フル　<エラースキップ可>

原因 1：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

処　置：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因 2 ：（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張 RAM が取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

処置 1 ：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

重要
- 「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値 * に書き換えられます。（*：印字動作、フォームキャッシュメモリは工場出荷時の値に戻ります。）

参　照 ：LIPS 機能ガイド

処置 2 ：電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した RAM を取り付けて）プリントしなおします。

参　照 ：「電源をオフにする」（→ P.2-7）
設置ガイド

処置 3 ：フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

参　照 ：LIPS 機能ガイド

32　リョウメン　フカノウ　<エラースキップ可>

原因 1 ：両面プリントできない用紙を指定した

処　置 ：本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定して、プリントしなおします。

原因 2 ：両面プリントするためのメモリが確保できない

処置 1 ：［リセット］を押してソフトリセットしたあと、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

処置 2 ：次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

・登録されているデータを削除する

・オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照 ：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）
設置ガイド
LIPS 機能ガイド

原因 3 ：自動両面プリントできない用紙サイズの両面データを受信した

処置 1 ：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ 2 ページに分けてプリントします。

処置 2 ：［リセット］を押してソフトリセットしたあと、両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントしなおします。

33　ワークメモリ　フル　　<エラースキップ可>

原　因：各動作モード専用のワークメモリが確保できない

処置 1：[オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

重要
- [オンライン］を押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますので、気を付けてください。

処置 2：[リセット］を押してソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加し、プリントしなおします。

・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）

・セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする

・オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）
「電源のオン、オフ」（→ P.2-6）
設置ガイド
LIPS 機能ガイド

34　NVRAM　フル　　<エラースキップ可>

原　因：オプションのエミュレーションを搭載しすぎて NVRAM の領域が不足した

処置 1：[オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、NVRAM の設定値は工場出荷時の値でプリントします。

処置 2：[リセット］を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューでパネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、使用する動作モードを優先動作モードに設定してプリントしなおします。

参　照：LIPS 機能ガイド

35　トウロクテーブル　フル　　＜エラースキップ可＞

原　因：オプションのエミュレーションを搭載しすぎて、システムがオーバーフローした

処置 1：パネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、［オンライン］を押してプリントを継続します。ただし、NVRAM の設定値は工場出荷値でプリントします。

処置 2：電源をオフにして不必要なコントロール ROM を取り外し、再度プリントしなおします。

参　照：設置ガイド
LIPS 機能ガイド

37　ヨウシタイプ　フカノウ

原　因：使用できない用紙タイプを指定した

処置 1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。普通紙としてプリントが継続されます。普通紙でない場合は、正しいプリント結果が得られません。

処置 2：セットアップメニューでデフォルト用紙タイプを適切な用紙タイプに設定し、プリントしなおします。

参　照：LIPS 機能ガイド

38　ガシツテイカ　　＜エラースキップ可＞

原　因：データが複雑すぎてスーパーファインモードまたはファインモードで処理できない

処置 1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

処置 2：［リセット］を押してソフトリセットしたあと、解像度を下げてプリントしなおします。

処置 3：スーパーファインモードまたはファインモードでプリントしたいときは、［リセット］を押してソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ･セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットする
- ･セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする
- ･オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照：設置ガイド
LIPS 機能ガイド

40　ツウシン　エラー　＜エラースキップ可＞

原　因：LAN に接続しているときに、本プリンタとパソコンのデータのやりとりでエラーが発生した

処置１：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

処置２：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、本プリンタとパソコン間の LAN ケーブルの接続を確認し、プリントしなおします。

処置３：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューのインタフェースグループの各設定値と、パソコンの設定値を合わせてプリントしなおします。

41　プリント　チェック　＜エラースキップ可＞

原　因：実際に給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した給紙カセットの用紙サイズ設定、トレイ用紙サイズの設定が違っている

処　置：カセット給紙時はカセットの用紙サイズ設定とセットした用紙サイズ、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ [オンライン] を押してください。

参　照：LIPS 機能ガイド

42　インタフェース　エラー

原　因：オプションのプリントサーバに重度の障害が発生した

処　置：電源をオフにしたあと、オプションのプリントサーバの取り付けをチェックし、電源をオンにしなおします。

重要
- 上記の操作をしてもなおらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参　照：オプションのプリントサーバの取扱説明書

43　インタフェース　エラー　＜エラースキップ可＞

原因１：オプションのプリントサーバに軽度の障害が発生した

処　置：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因２：リセット処理により、オプションのプリントサーバの通信が切断された

処　置：[オンライン] を押します。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ　　　　<エラースキップ可>

原　因：スーパーファインモードでプリント中に、塗り潰し命令を受信した

重要
- このメッセージは解像度を「スーパーファイン」または「ファイン」、階調処理を「コウカイチョウ」に設定した場合にのみ表示されます。

処置 1：[オンライン] を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置 2：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューの解像度を「ファイン」または「クイック」に設定し、プリントしなおします。

参　照：「プリント画質について」（→ P.2-15）

処置 3：[リセット] を押してソフトリセットしたあと、セットアップメニューの階調処理を「ヒョウジュン」に設定し、プリントしなおします。

参　照：「プリント画質について」（→ P.2-15）

52　イメージモード　フカ

原　因：イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

処置 1：[オンライン] を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

処置 2：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。

53　パケットエラー　　　　<エラースキップ可>

原　因：プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

処置 1：[オンライン] を押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

処置 2：本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。

参　照：LIPS ソフトウェアガイド

処置 3：Canon Driver Information Assist Service がインストールされていることを確認します。インストールされていないときは、インストールします。

参　照：LIPS ソフトウェアガイド

96 FU トレイ チェック / アケテ クダサイ

原 因 ：フェースダウンで排紙できない用紙を排紙トレイに排紙しようとした

処 置 ：サブ排紙トレイを開けます。プリントが再開され、サブ排紙トレイに排紙されます。

96 FU トレイ チェック / トジテ クダサイ

原 因 ：自動両面プリント時にフェースアップで排紙しようとした

処 置 ：サブ排紙トレイを閉めます。プリントが再開され、排紙トレイに排紙されます。

F0 フォーマット フセイ <エラースキップ可>

原 因 ：コントロール ROM が壊れている

処置 1 ：［オンライン］を押すと、壊れたコントロール ROM を無視してプリントを継続します。

処置 2 ：電源をオフにし、セットしたコントロール ROM を正常なものに交換し、電源をオンにしなおします。

参 照 ：設置ガイド

F1 スロット シヨウ フカノウ <エラースキップ可>

原 因 ：本プリンタ用ではないコントロール ROM がセットされた

処置 1 ：［オンライン］を押すと、本プリンタ用でないコントロール ROM を無視してプリントを継続します。

処置 2 ：電源をオフにし、セットしたコントロール ROM を抜き取り、電源をオンにしなおします。

参 照 ：設置ガイド

F2 フォント ミジッソウ <エラースキップ可>

原 因 ：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

処置 1 ：［オンライン］を押すと、間引き描画でプリントを継続します。

処置 2 ：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

F3　コントロール ROM　フセイ

原　因：本プリンタ用ではないコントロール ROM がセットされた

処　置：電源をオフにし、セットしたコントロール ROM を抜き取り、電源をオンにしなおします。

参　照：設置ガイド

FF　フォント　フル　＜エラースキップ可＞

原　因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

処置 1：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

処置 2：LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。

参　照：設置ガイド
プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」

OF　オプション　ゴソウサ

原因 1：本プリンタの電源がオンになっているときに、オプションのペーパーフィーダが脱着された

処　置：電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを脱着してから電源をオンにしなおしてください。

原因 2：オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない

処　置：電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。

原因 3：オプションのペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

処　置：電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン（XXX は用紙サイズ略号）

原　因：アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや給紙トレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

処置 1：選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）

処置 2：給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。

参　照：「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）
LIPS 機能ガイド

処置 3：[給紙選択] で、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択してください。

参　照：「給紙元を選択する」（→ P.3-9）

処置 4：[オンライン] を押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

重要
- 「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されているときに上カバーを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

正しいプリント結果が得られないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときには」（→ P.5-21）を参照してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、キヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因 1 ：電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置 ：電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 2 ：ブレーカが落ちている

処　置 ：配電盤のブレーカをオンにします。

原因 3 ：電源コード内部で断線している

処　置 ：同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

参　照 ：設置ガイド

プリンタが動かない

原因 1 ：オフラインになっている

処　置 ：［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。

参　照 ：「オンラインとオフライン」（→ P.2-10）

原因２：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：［オンライン］を押してオフラインにし、［排出］を押してメモリ内に残っているデータを出力します。

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）

原因３：インタフェースケーブルが外れている

処　置：インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。

参　照：設置ガイド

原因４：本プリンタやオプション品に故障がある

処　置：ディスプレイのメッセージを見て、処置します。

参　照：「メッセージが表示されたときには」（→ P.5-21）

プリントが途中で止まってしまった

原　因：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：［オンライン］を押してオフラインにし、［排出］を押してメモリ内に残っているデータを出力します。

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）

操作パネルのランプがつかない

原因１：電源がオンになっていない

処　置：電源をオンにしてください。

原因２：パネルオフモードになっている

処　置：プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。

参　照：「電源のオン、オフ」（→ P.2-6）

操作パネルのキーが機能しない

原因１：オンラインになっている

処　置：［オンライン］を押し、オフライン状態にします。

参　照：「オンラインとオフライン」（→ P.2-10）

原因２：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

処　置：［オンライン］を押してオフラインにし、［排出］を押します。

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）

原因３：キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）

処　置：プリンタの管理者にご連絡ください。

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因１：給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限を超えている

処　置：用紙を積載制限の範囲内まで減らし、プリントしなおしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）
「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）

原因２：給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない

処　置：用紙を正しくセットしなおし、プリントしなおしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）
「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）

原因３：給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている

処　置：使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。

参　照：「給紙元を選択する」（→ P.3-9）
「用紙について」（→ P.3-2）

原因４：紙づまり処理が不完全である

処　置：紙づまりを除去し、プリントしなおしてください。

参　照：「紙づまりが起こったときには（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）

プリント中に近くの蛍光灯やパソコン画面がちらつく現象（フリッカ現象）が発生する

原　因：電源周波数が合っていない

処　置：セットアップメニューの「周波数」の設定を現在使用している電源周波数に合わせて設定してください。フリッカ現象を軽減することができます。

参　照：LIPS 機能ガイド

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因 1：動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった（オプションのコントロールROM をセットして使用する場合）

処　置：動作モードを目的のエミュレーションに固定してプリントしなおしてください

参　照：LIPS 機能ガイド

原因 2：LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

処　置：LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

原因 3：付属の Windows 用プリンタドライバを組み込まずに Windows からプリントした

処　置：付属の Windows 用プリンタドライバを組み込み、プリントしなおしてください。

参　照：「ソフトウェアをインストールする」（→ P.2-3）
LIPS ソフトウェアガイド

原因 4：DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

処　置：DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。

参　照：「ソフトウェアをインストールする」（→ P.2-3）
LIPS ソフトウェアガイド

原因 5：コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった

処　置：動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントしなおしてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

指定した書体と違う書体で印字される

原　因：Windows 用プリンタドライバでTrueType フォントの置き換えが設定されている

処　置：Windows 用プリンタドライバでTrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおしてください。

参　照：プリンタドライバのヘルプ

白紙のページがプリントされない

原　因：LIPS セットアップメニューの「白紙節約」が「ツカウ」になっている

処　置：白紙のページをプリントするときは、LIPS セットアップメニューの「白紙節約」を「ツカワナイ」に設定します。

参　照：LIPS 機能ガイド

最後のページがプリントできない

原　因：パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

処　置：［オンライン］を押してオフラインの状態にし、［排出］を押します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。）

参　照：「プリントを中止したいときは」（→ P.2-23）

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1：データのサイズより小さな用紙をセットした

処　置：データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをしてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

原因2：用紙をセットする位置が合っていない

処　置：用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）
「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）

原因３ ：余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

処　置 ：データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってプリントしなおしてください。（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません。）

参　照 ：アプリケーションソフトの取扱説明書

原因４ ：N201 モードや ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

処　置 ：N201 モードや ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照 ：「動作モードについて」（→ P.2-19）

原因５ ：N201 モードや ESC/P モードの「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ：N201 モードや ESC/P モードの「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照 ：LIPS 機能ガイド

印字位置がずれてしまう

原因１ ：セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」が設定されている

処　置 ：セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。

原因２ ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照 ：アプリケーションソフトの取扱説明書

原因３ ：N201 モードや ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

処　置 ：N201 モードや ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照 ：LIPS 機能ガイド

印字位置がだんだんずれていく

原　因：N201 または ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

処　置：アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントしなおします。

参　照：「動作モードについて」（→ P.2-19）

ページの途中から次ページに分かれてプリントされる

原因 1：アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置：1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してからプリントしなおします。

参　照：アプリケーションソフトの取扱説明書

原因 2：動作モードメニューが「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューの拡張機能「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

処　置：動作モードメニューを「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。

参　照：LIPS 機能ガイド

縮小されてプリントされる

原因 1：縮小プリントの設定がされている

処置 1：LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

処置 2：プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。

参　照：LIPS ソフトウェアガイド

原因 2：N201　モードで使用しているときに、ページフォーマットが「2/3　縦」「2/3　横」に設定されている

処　置：N201 モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

原因３：ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」に設定されている

処　置：ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参　照：LIPS 機能ガイド

用紙にしわがよる

原因１：給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置：給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）

原因２：給紙トレイに用紙を斜めにセットした

処　置：給紙トレイにまっすぐに用紙をセットしてください。

参　照：「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）

原因３：用紙が吸湿している

処　置：未開封の新しい用紙と交換してください

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因１：シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置：トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因２：用紙が重なって送られた

処　置：給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よくさばいてセットしなおしてください。

参　照：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-16）
「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-25）

原因３：プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１：ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２：処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因１：トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置：トナーカートリッジを新品に交換してください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因２：プリンタ内部でトラブルが発生している

処置１：ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置２：処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

印字品質のトラブル

白いすじが入る

原因１：トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない

処　置：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり 5 ～ 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因２：トナーカートリッジ内のドラムが劣化、あるいは損傷している

処　置：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

部分的に白く抜ける

原因１：用紙が適切でない

処　置：使用できる用紙に交換し、プリントしなおしてください。

参　照：「給紙元を選択する」（→ P.3-9）

原因２：用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置：新しい用紙に交換し、プリントしなおしてください。

参　照：「用紙について」（→ P.3-2）

原因３：トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

プリントしない部分に残像が現れる

原因１：プリントする用紙が適当でない

処　置：用紙や OHP フィルムを取り替えてプリントしてください。

参　照：「用紙について」（→ P.3-2）

原因２：トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因３：封筒、ハガキ、往復ハガキにプリントするときに、用紙タイプの設定を［厚紙］（「アツガミ」）に設定してプリントしたあとに、別のプリントを行った

処　置：定着器の温度を下げるため、しばらく待ってからプリントしなおしてください。

重要

- 封筒、ハガキ、往復ハガキにプリントするときは、プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定を必ず［普通紙］に設定してプリントしてください。プリンタドライバをお使いでない場合は、セットアップメニューの「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず「フツウシ」に設定してプリントしてください。［厚紙］（「アツガミ」）に設定して封筒、ハガキ、往復ハガキに連続プリントした場合、次にプリントする用紙の端に残像が現れることがあります。

参　照：LIPS ソフトウェアガイド
LIPS 機能ガイド

原因４：用紙幅の狭い用紙（用紙タイプに［厚紙］（「アツガミ」）を指定）に連続プリントしたあとに、幅の広い用紙にプリントした

処　置：定着器の温度を下げるため、しばらく待ってからプリントしなおしてください。

印字が全体的にうすい、濃い

原因１：トナー濃度の設定が適当でない

処　置：セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー濃度を調節してください。

参　照：「印字濃度を調整する」（→ P.4-16）

原因２：セットアップメニューのトナー節約が「ツカウ」に設定されている

処　置：セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー節約を「ツカワナイ」に設定してください。

参　照：LIPS 機能ガイド

印字ムラが出る

原因 1 ： トナーカートリッジの寿命がきている

処　置 ： トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり 5 ～ 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照 ：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因 2 ： トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 ： 新しいトナーカートリッジに交換してください。

参　照 ：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

原因 3 ： 用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置 ： 適切な用紙に交換し、プリントしなおしてください。

参　照 ：「用紙について」（→ P.3-2）

スーパーファイン、ファインモードでプリント時に画像が粗くなったまたは正しくプリントできなかった

原　因 ： データが複雑、あるいは多量すぎてスーパーファインモードまたはファインモードで処理できなかった

処置 1 ： [オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

処置 2 ： [リセット] を押してソフトリセットしたあと、解像度を下げてプリントしなおします。

処置 3 ： スーパーファインモードまたはファインモードでプリントしたいときは、[リセット] を押してソフトリセットしたあと、次のような方法で RAM の空き容量を増加します。

- ･セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットする
- ･セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする
- ･オプションの拡張 RAM を取り付ける

参　照 ： 設置ガイド
LIPS 機能ガイド

定着性が悪い

原　因　：用紙の種類により、定着性が悪い場合がある

処　置　：付属の Windows 用のプリンタドライバをお使いの場合は，［仕上げ］ページの［仕上げの詳細］を押し、［処理オプション］を押したあと、「特殊定着を行う」をチェックしてプリントしなおしてください。プリンタドライバをお使いでない場合は、セットアップメニューの「特殊モード H」を「ツカウ」に設定し、プリントしなおしてください。問題が解決した場合は、設定値を工場出荷時に戻してください。

参　照　：LIPS ソフトウェアガイド
LIPS 機能ガイド

細い線が途切れてプリントされる

原　因　：スーパーファインモードで極細線が途切れているように見えている

処　置　：セットアップメニューの「ドット補正」を「ツカウ」に設定し、プリントしなおしてください。

参　照　：LIPS 機能ガイド

プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　：定着器ローラが汚れている

処　置　：定着器ローラを清掃してください。

参　照　：「定着器ローラを清掃する」（→ P.4-18）

厚紙用紙のトナーが剥がれたり、擦ると手が汚れる

原　因　：トナーが十分に定着されていない

処　置　：付属の Windows 用のプリンタドライバをお使いの場合は，［仕上げ］ページの［仕上げの詳細］を押し、［処理オプション］を押したあと、「特殊定着を行う」をチェックしてプリントしなおしてください。プリンタドライバをお使いでない場合は、セットアップメニューの「特殊モード H」を「ツカウ」に設定し、プリントしなおしてください。問題が解決した場合は、設定値を工場出荷時に戻してください。

参　照　：LIPS ソフトウェアガイド
LIPS 機能ガイド

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントなどの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ

- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

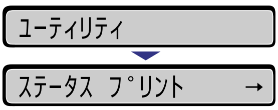


1 ［オンライン］を押します。

オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



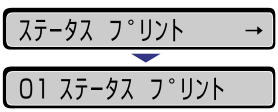
2 ［ユーティリティ］を押します。



ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。



3 ［V］を押します。

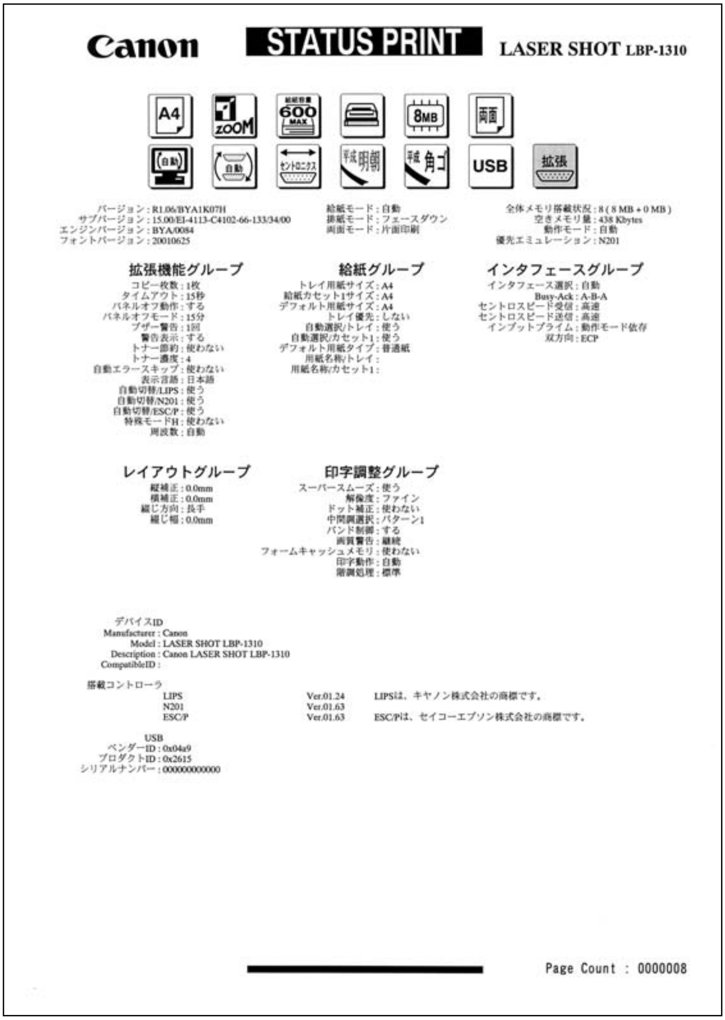


ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントがプリントされます。

4 ステータスプリントのプリント内容を確認します。

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

重要
- ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは一部内容が異なる場合があります。


Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1310

バージョン : R1.06/BYA1K07H
サブバージョン : 15.00/EI-4113-C4102-66-133/34/00
エンジンバージョン : BYA/0084
フォントバージョン : 20010625

給紙モード : 自動
排紙モード : フェースダウン
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 8 (8 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 438 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : N201

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
パネルオフ動作 : する
パネルオフモード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替/LIPS : 使う
自動切替/N201 : 使う
自動切替/ESC/P : 使う
特殊モードH : 使わない
周波数 : 自動

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
給紙カセット1サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
トレイ優先 : しない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
ドット補正 : 使わない
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動
階調処理 : 標準

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1310
Description : Canon LASER SHOT LBP-1310
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.24 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
N201 Ver.01.63
ESC/P Ver.01.63 ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2615
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0000008

フォントリスト

フォントリスト トは、プリンタに内蔵されているフォントの名称とサンプルが印字されます。フォントリストのプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ
- フォントリストは、A4 より小さいサイズで出力した場合には、縮小されずに画像がカットされてプリントされます。
- フォントリストは、A4 より大きいサイズで出力した場合には、余白が大きく空いてプリントされます。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、フォントリストにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、フォントリストも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

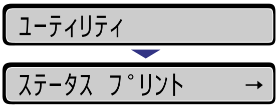


1 [オンライン] を押します。

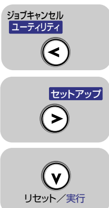
オンラインランプが消灯し、操作パネルで設定できる状態になります。



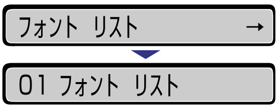
2 [ユーティリティ] を押します。



ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。



3 [<]、[>] で「フォント　リスト」を選択し、[V] を押します。



ディスプレイに「01　フォント　リスト」と表示され、フォントリストがプリントされます。

4 フォントリストのプリント内容を確認します。

フォントリストをプリントすると、次のようにプリントされます。フォントリストでは、プリンタに内蔵されている日本語フォントと欧文フォントの名称、フォント ID、フォントのサンプルが確認できます。

重要

- ここに掲載されているフォントリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したフォントリストとは一部内容が異なる場合があります。

Canon **FONT LISTS** LASER SHOT LBP-1310

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙθΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier10B		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0000010

付録

6 CHAPTER

この章では、おもな仕様、用語集、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内、索引などを記載しています。

おもな仕様

■ ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
解像度		1200dpi(ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ)／600dpi(ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ)／300dpi(ｸｲｯｸﾓｰﾄﾞ)
プリント速度　普通紙（64 〜 105g/m^2)		A4 片面連続プリント時 18 ページ／分 A4 両面連続プリント時 10.9 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		10 秒以下（20 ℃ , 拡張 RAM 未装着時）
ファーストプリント時間		15 秒以下（A4 ／フェースダウン排紙時）
用紙サイズ	カセット 1	A5、B5、A4、ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ、ﾚﾀｰ、ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数　約 250 枚（64g/m^2）
	カセット 2（オプション）	A5、B5、A4、ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ、ﾚﾀｰ、ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数　約 250 枚（64g/m^2）
	給紙トレイ	幅 76.2 〜 215.9mm 長さ 127 〜 355.6mm 最大積載枚数　約 100 枚（64g/m^2）
両面プリント		A4、レター、リーガル
排紙方式		フェースダウン／フェースアップ
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 150 枚（64g/m^2） サブ排紙トレイ　約 50 枚（64g/m^2）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時最大　38dB[A] 動作時最大　52dB[A]
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 〜 32.5 ℃ 湿度 20 〜 80%RH（結露しないこと）
保管環境（プリンタ本体のみ）		保管環境温度 0 〜 35 ℃ 湿度 10 〜 80%RH（結露しないこと）
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）

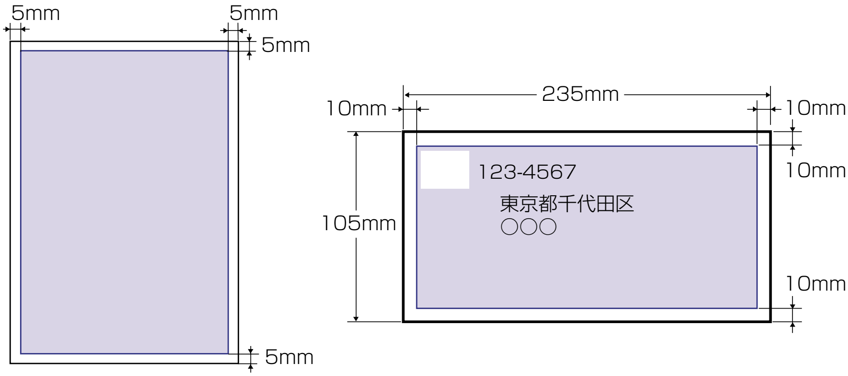
消費電力（20℃時）	動作時平均　約 247W*1 スタンバイ時平均　約 9W*1 パネルオフモード時平均　約 9W*1 最大 596W*2 以下 *1 本体標準状態での値です。 *2 フルオプション装着時は 601W 以下です。ただし、この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。
消耗品	EP-32 トナーカートリッジ プリント可能ページ数約 5000* ページ *A4 片面プリント、印字比率約 5% の場合
質量	プリンタ本体（カートリッジは除く）........... 約 13.1kg EP-32 トナーカートリッジ........................... 約 1.2 kg ペーパーフィーダ PF-33* .... 約 3.0kg * 印の製品は、別売りのオプションです。

■ コントローラの仕様

CPU	PowerPC603ei（133MHz）
メモリ（RAM）容量	標準 8 MB ｵﾌﾟｼｮﾝの拡張 RAM により、最大 136MB まで拡張可能
ホストインタフェース	ﾊﾟﾗﾚﾙｺﾈｸﾀ（IEEE1284 準拠／双方向）× 1 個 USB（V1.0 ｽﾚｰﾌﾞのみ）× 1 個 LAN ｺﾈｸﾀ（10BASE-T/100BASE-TX）× 1 個 拡張ｲﾝﾀﾌｪｰｽ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）
ユーザインタフェース	LCD16 桁× 1 段 LED ランプ 7 個 操作キー 7 個
RAM スロット	1
ROM スロット	1
拡張ボードスロット	1

■ ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II +／LIPS III／LIPS IV	
エミュレーションコマンド	内蔵	N201、ESC/P
	オプション	拡張 N201、拡張 ESC/P、I5577、N5237、F359、HP-GL 商品名：CR-MES
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体 ^{TM}W3*、平成角ｺﾞｼｯｸ ^{TM}W5*、ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾞｰﾙﾄﾞ、ｶﾞｰﾗﾝﾄﾞ * これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol	
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。	

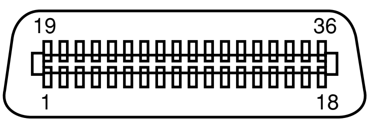


インタフェース仕様

パラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）

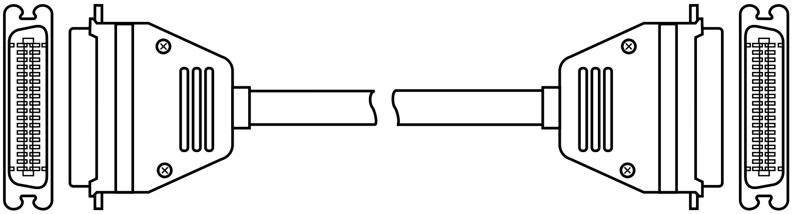
■ 信号線とピン配置

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	$\overline{\text{STROBE}}$	19	GND($\overline{\text{STROBE}}$)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	$\overline{\text{ACK}}$	28	GND(PERROR, SELECT, $\overline{\text{ACK}}$)
11	BUSY	29	GND(BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND($\overline{\text{AUTOFD}}$, $\overline{\text{SELECT IN}}$, $\overline{\text{INIT}}$)
13	SELECT	31	$\overline{\text{INIT}}$
14	$\overline{\text{AUTOFD}}$	32	$\overline{\text{FAULT}}$
15	$\overline{\text{AUXOUT1}}$	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	$\overline{\text{AUXOUT4}}$
18	Peripheral Logic High	36	$\overline{\text{SELECT IN}}$



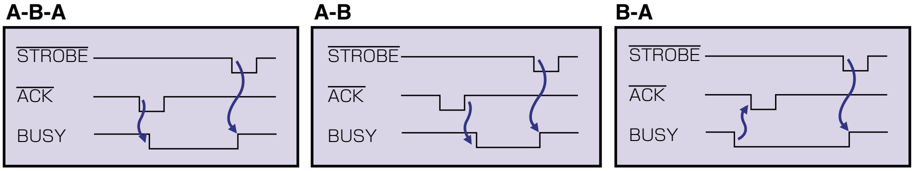
メモ
- 「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

■ コネクタおよびケーブル



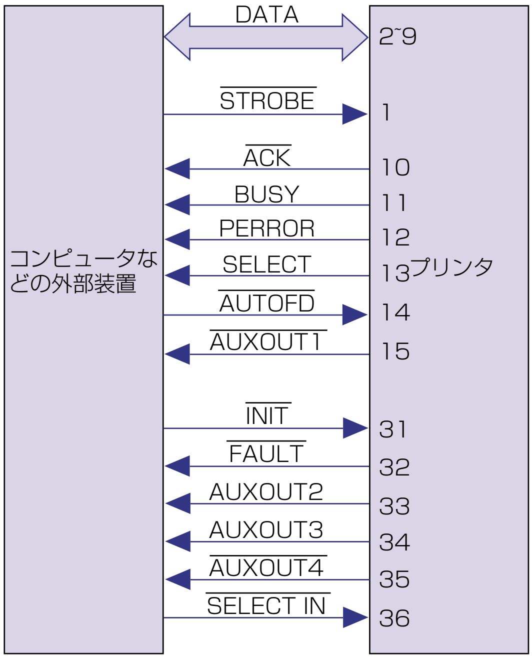
コネクタ：第一電子工業　57FE-30360 または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）。

■ タイミングチャート



メモ
- タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更します。（→LIPS 機能ガイド）

■ 結線図



用語集

■ EP-32 トナーカートリッジ

キヤノン独自のトナー、感光体ドラム、クリーニングユニットを一体にしたカートリッジです。トナーが無くなったら他のユニットも一緒に交換するため、常に安定した高印字品質を維持できます。また、交換作業も非常に簡単です。
EP-32 トナーカートリッジは、A4 原稿（印字比率：約 5%、印字濃度：工場出荷時の初期設定値）で約 5,000 枚プリント可能です。

■ LIPS

LIPS とは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II +、LIPS III、LIPS IV、LIPS IVc、LIPS IVs の 6 種類があり、LIPS IV、LIPS IVc はLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。それぞれのコマンドは上位互換を保っています。本プリンタは LIPS II +と LIPS III、LIPS IV に対応しています。

■ MaxiMem（マキシメム）

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

■ NetSpot Console

NetSpot Console は、パソコンからネットワークで接続したプリンタの管理を行うユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてインストールして使用します。
（→ LIPS ソフトウェアガイド）

■ NetSpot Device Installer

NetSpot Device Installer は、パソコンからネットワークで接続したプリンタのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトです。パソコンへインストールすることなく使用できます。
（→ LIPS ソフトウェアガイド）

■ NetSpot Job Monitor

NetSpot Job Monitor は、パソコン側でプリンタの状態をリアルタイムで表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→ LIPS ソフトウェアガイド）

■ NVRAM

NVRAM とは、Non-Volatile Random Access Memory の略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

■ RAM

RAM とは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張 RAM が用意されています。

■ ROM

ROM とは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。本プリンタでは、システムのプログラムを書き込んでいます。また、オプションのコントロール ROM に使用されています。

■ USB コネクタ

USB とは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows 98 パソコンや Macintosh パソコンのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

■ エミュレーションモード

パソコンメーカー各社の専用プリンタをエミュレーション（模倣）して動作するモードです。PC9800 シリーズや N5200 シリーズ、PC/AT 互換機、PS/55 シリーズ、FMR シリーズなどに対応した専用プリンタをエミュレート（模倣）するコントロール ROM（オプション）があります。
（→「動作モードについて」: P.2-19）

■ オーバレイ

2ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
（→ LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド）

■ オプション ROM

本プリンタでは、別売のオプションとして、「コントロール ROM」を用意しています。コントロール ROM は、本プリンタを PS/55 や PS/V シリーズ、HP-GL 対応のアプリケーションに対応した専用プリンタとして使えるようにします。
（→コントロール ROM）

■ オフライン

パソコンとプリンタ間の回線が切断され、パソコンからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
（→「オンラインとオフライン」：P.2-10）

■ オンライン

パソコンとプリンタ間の回線がつながって、パソコンからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
（→「オンラインとオフライン」：P.2-10）

■ オンデマンド定着

従来のレーザビームプリンタでは非常に困難な課題であった、省エネルギーとクイックスタートを可能にした、キヤノン独自の画期的な定着方式です。プリンタ未使用時の電力消費を極限までカットし、データの受信と同時にプリントのスタートが可能です。

■ 拡張 RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。16MB、32MB、64MB、128MBのうちいずれかを 1 個まで増設でき、標準で 8MB のメモリを最大 136MB まで拡張できます。拡張 RAM を装着すると、ファインモードや両面プリント可能な用紙サイズを拡大します。また、オーバレイなどの多量の登録データの処理にも拡張 RAM の増設が必要な場合があります。
（→設置ガイド）
（→描画メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ）

■ クイックモード

画像データや写真イメージデータをデータ処理解像度 300dpi で出力するモードです。

■ コントロール ROM

コンピュータメーカー各社のシリアルプリンタをエミュレート（模倣）するためのオプションです。PS/55 や PS/V シリーズ、HP-GL 対応のアプリケーションに対応した専用プリンタの機種ごとにコントロール ROM が用意されています。
（→設置ガイド）
（→エミュレーションモード）

■ コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS II^{+}、LIPS III、LIPS IV を内蔵しています。
（→エミュレーションモード）
（→「動作モードについて」：P.2-19）

■ システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。工場出荷時の状態では、搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。取り付けられている拡張 RAM や印字動作の設定によって確保できる容量は変わります。
（→描画メモリ、拡張 RAM、受信バッファ）

■ 受信バッファ

パソコンから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。受信バッファのサイズを大きくすると、一度にたくさんのプリントデータを保存しておくことができるようになり、パソコンで印刷処理から解放される時間が早くなります。取り付けられている拡張 RAM や印字動作の設定によって確保できる容量は変わります。
（→描画メモリ、拡張 RAM、システムワークメモリ）

■ ジョブ

パソコンから送られるひとまとまりのプリントデータのことをいいます。通常、パソコンから送られるプリントデータには、開始と終了を表す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

■ スーパーファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度 1200dpi で出力するモードです。

■ スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタでは、明朝体、角ゴシック体、ラインプリンタボールド、ガーランド、Courier、Dutch、Swiss、Symbol などの欧文書体のスケーラブルフォントが使えます。

■ セントロニクス

コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。コンピュータで扱っている 16 ビットや 32 ビットのデータを、8 本の線を使い、8 ビットずつ同時に伝送します。高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が 3m 程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。
本プリンタでは、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284.4 対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
（→パラレルインタフェース）
（→設置ガイド）

■ 動作モード

本プリンタ が動作している状態をいいます。本書では、どのコントロールコマンドに対応できる状態になっているかで、LIPS モードや ESC/P エミュレーションモードなどと呼びます。本プリンタは、オプションのコントロール ROM を取り付けることで、標準の LIPS モードとコントロール ROM のエミュレーションモードの動作モードを自動切り替えで使用することができます。
(→「動作モードについて」: P.2-19)
(→エミュレーションモード)

■ パラレルインタフェース

パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。
パソコンで扱っている 16 ビットや 32 ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。
(→ USB コネクタ、セントロニクス)
(→設置ガイド)

■ ビットマップフォント

１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

■ 描画メモリ

スーパーファインモード（1200dpi）やファインモード（600dpi)、両面プリント時に確保する描画用のメモリ容量です。印字動作を「画質優先」に設定すると、システムワークメモリや受信バッファ用のメモリを自動調整し、入力データに依存せずに 600dpi の処理が可能になります。また、スーパーファインモードやファインモード、両面プリント可能な用紙サイズは、取り付けられている拡張 RAM やフォームキャッシュメモリの設定で変わります。
(→ LIPS 機能ガイド)
(→拡張 RAM、受信バッファ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ)

■ ファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度 600dpi で出力するモードです。

■ フォームキャッシュメモリ

オーバレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。
(→描画メモリ、オーバレイ、拡張 RAM、受信バッファ、システムワークメモリ)

■ フォント

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。1つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはDutch、Courierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。
本プリンタは、明朝体、角ゴシック体、ラインプリンタボールド、ガーランド、Courier、Dutch、Swiss、Symbolのスケーラブルフォントを標準で内蔵しています。
(→ビットマップフォント、スケーラブルフォント)

■ プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、アプリケーションソフトにプリンタの種類毎にファイルで用意され、接続したプリンタに合わせてアプリケーションソフトに組込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、LIPS IV プリンタドライバが付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。
(→ LIPSソフトウェアガイド)

■ メニュー機能

本プリンタ の動作モードや各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーから設定できます。
(→ LIPS機能ガイド)

■ 優先エミュレーション

動作モードを自動切り替えに設定して使用中に、受信したデータの解析ができなかったときに優先的に選択される動作モードです。本プリンタの工場出荷時の設定は N201 モードになっています。オプションのコントロール ROM を取り付けると、コントロール ROMのエミュレーションモードに変更できます。
(→動作モード)

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

6
付録

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。

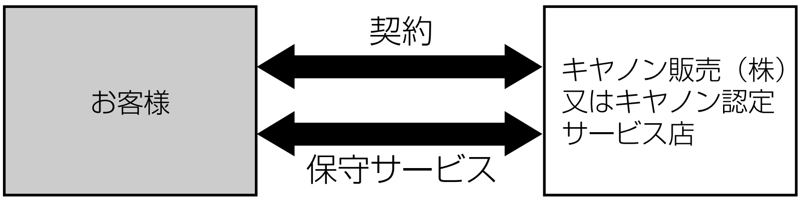
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。
「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

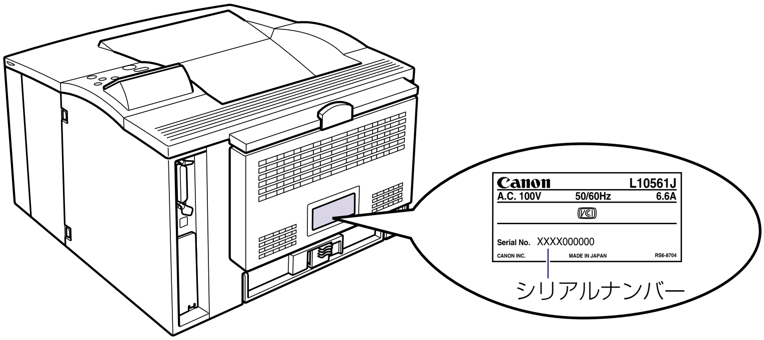
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

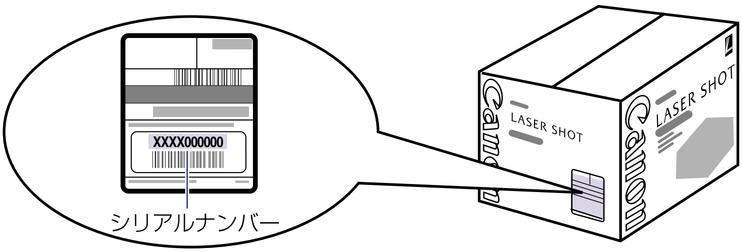
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要
- シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面



■ 梱包箱外側



ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROM の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

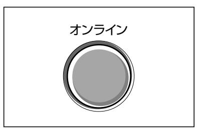
- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP C を参照してください。

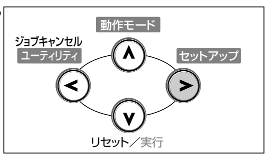
MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


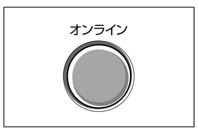
2. ［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


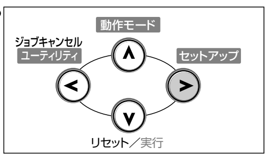
MAP B LIPS専用セットアップメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


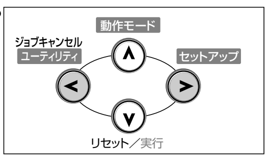
2. ［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


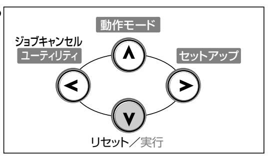
3. 「LIPS セットアップ」を表示します。
［<］または［>］を押します。

LIPS ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


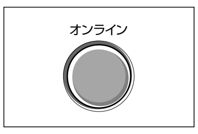
4. 下の階層へ進みます。
［V］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

ｶｸﾀﾞｲ/ｼｭｸｼｮｳ →

Push


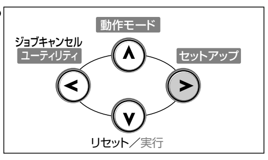
MAP B N201専用セットアップメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


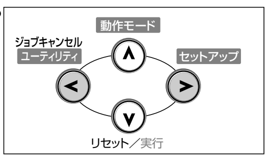
2. ［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


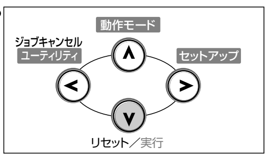
3. 「N201 セットアップ」を表示します。
［<］または［>］を押します。

N201 ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


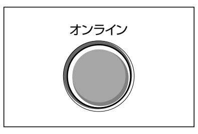
4. 下の階層へ進みます。
［V］を押します。
N201専用セットアップメニューが表示されます。

ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ →

Push


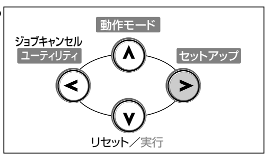
MAP B ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


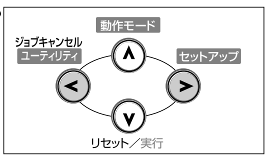
2. ［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


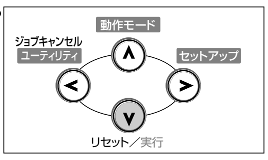
3. 「ESC/P セットアップ」を表示します。
［<］または［>］を押します。

ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


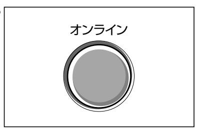
4. 下の階層へ進みます。
［V］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ →

Push


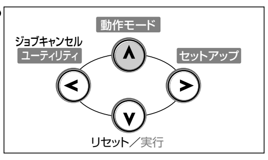
MAP C 動作モードメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


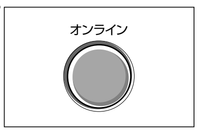
2. ［動作モード］を押します。
動作モードメニューが表示されます。

ﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ
=ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ →

Push


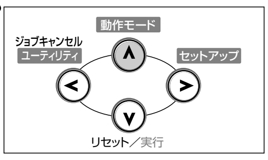
MAP C 優先エミュレーションメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


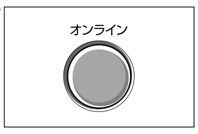
2. ［動作モード］を約3秒以上押します。
優先エミュレーションメニューが表示されます。

ﾕｳｾﾝ ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
=N201 →

Push


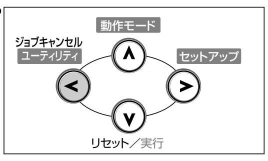
MAP C ユーティリティメニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


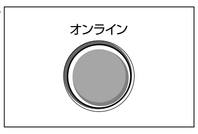
2. ［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

Push


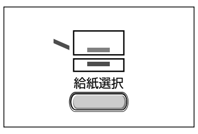
MAP C 給紙選択メニューを表示する

1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯させます。

Push


2. ［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

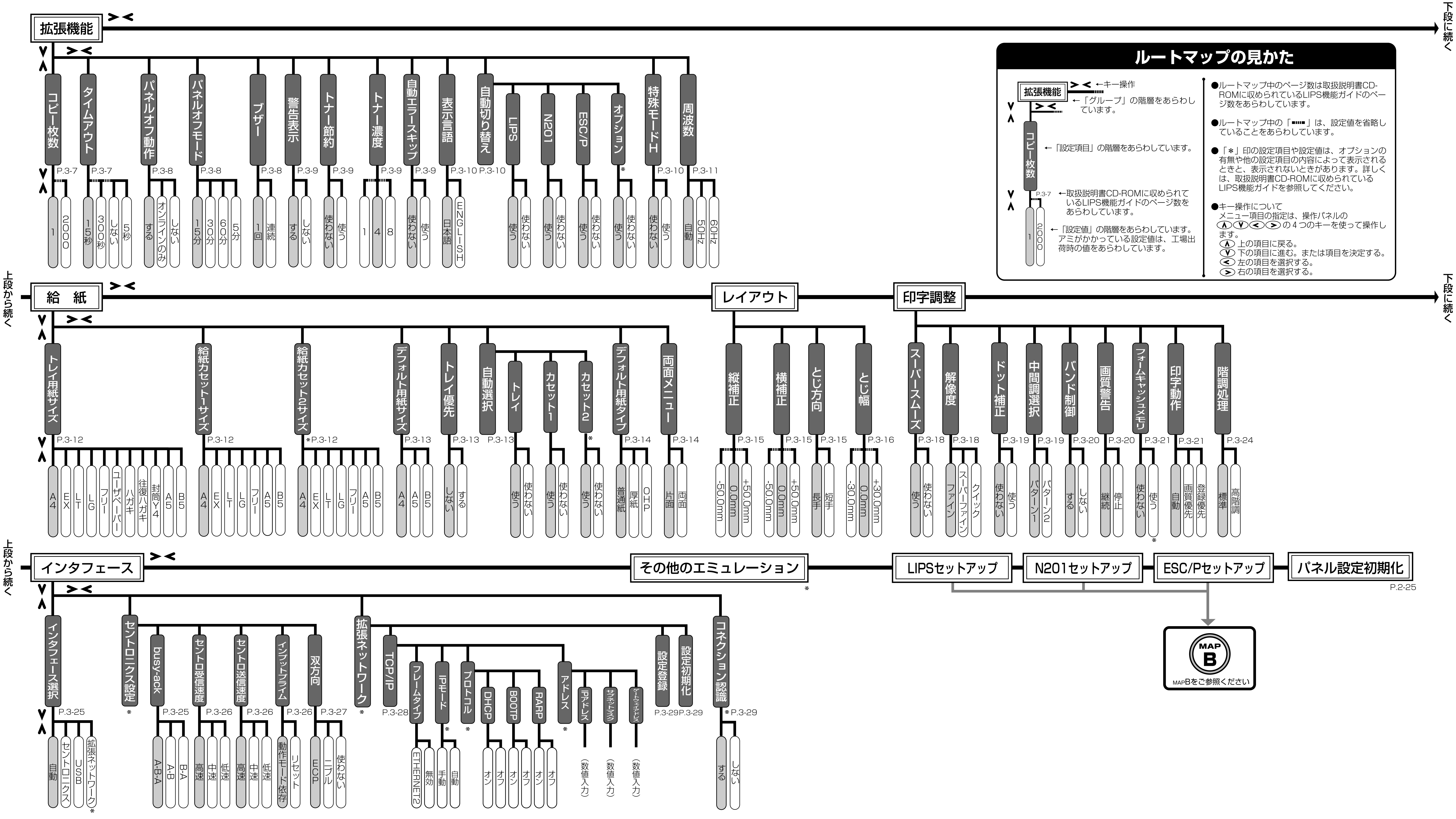
ｷｭｳｼ ﾓｰﾄﾞ

Push


MAP A

メニュールートマップ

共通セットアップ編



キリトリ線

MAP B

メニュールートマップ

LIPS・N201・ESC/P セットアップ編

LIPSセットアップ

- 拡大/縮小 P.4-4: しない / →A4 / →B5 / →A5 / →ハガキ / →往復ハガキ / →LG / →LT
- 複数ページ印刷 P.4-4: しない / 2ページ(左) / 2ページ(右) / 4ページ(横-左) / 4ページ(横-右) / 4ページ(縦-左) / 4ページ(縦-右)
- 複数ページ余白 P.4-6: パターン1 / パターン2
- ページの向き P.4-7: 縦 / 横
- オーバレイ1 P.4-7: しない / 0 / 32767
- オーバレイ2 P.4-7: しない / 0 / 32767
- スタートアップマクロ P.4-8: 0 / 30 / 32767
- 漢字コード P.4-9: JIS / シフトJIS / EUC / DEC
- 文字サイズ P.4-9: 10ポイント / 12ポイント / 8ポイント
- 漢字書体 P.4-10: 明朝 / ゴシック
- ANK書体 P.4-10: 明朝 / ゴシック / ラインプリンタ
- 漢字グラフィックセット P.4-10: JIS90 / JIS78
- 行数 P.4-11: 6LPI / 8LPI / 10~99
- 桁数 P.4-11: 自動 / 10CPI / 12CPI / 15CPI / 10~200
- 自動改ページ P.4-11: する / しない
- 自動改行 P.4-12: する / しない
- CR機能 P.4-12: CRのみ / CR+LF
- LF機能 P.4-12: LFのみ / LF+CR
- 網かけ解像度 P.4-12: クイック / ファイン
- ジョブタイムアウト P.4-13: しない / する
- 白紙節約 P.4-13: 使う / 使わない

N201セットアップ

- ページレイアウト
  - ページフォーマット P.5-5: 実寸縦 / 実寸横 / 10"→A4縦 / 15"→A4横 / 15"→B4横 / 2/3縦 / 2/3横
  - 用紙位置 P.5-7: 中央 / 左
  - 上余白 P.5-8: -127 / +000 / +127
  - 用紙位置微調整 P.5-10: -127 / +000 / +127
  - 領域 P.5-12: 標準 / ワイド
  - 右マージン既定値 P.5-12: 136桁 / 右端
  - 用紙サイズ P.5-12: カレント用紙 / A4 / B5 / A5 / ハガキ
- フォント
  - 漢字書体 P.5-13: 明朝 / ゴシック / ID
  - フォントID *P.5-13: 001 / 002 / 999
  - 漢字サイズ P.5-13: システム / 8ポイント / 10ポイント / 12ポイント
  - ゼロ書体 P.5-14: 0 / Ø
  - 国別文字 P.5-14: 日本 / USA / UK / ドイツ / スウェーデン
  - 漢字グラフィックセット P.5-14: JIS78 / JIS90
- 印字機能
  - イメージの補正 P.5-15: しない / する
  - 外字サイズ P.5-15: 10.8ポイント / 10ポイント
  - グラフィック P.5-16: ネイティブ / コピー
- 印字動作
  - CR機能 P.5-17: 復帰のみ / 復帰/改行
  - 印字指令 P.5-17: CRのみ / CRなど
  - バッファフル P.5-17: 復帰/改行 / 復帰のみ
- VFC
  - 単票用紙長機能 P.5-18: 無効 / 有効
  - 用紙長機能 P.5-18: 無効 / 有効
  - 用紙長設定 P.5-18: 1行 / 66行 / 199行
  - ミシン目スキップ P.5-19: 0行 / 197行
- その他
  - 登録レベル P.5-20: 一時 / 永久

ESC/Pセットアップ

- ページレイアウト
  - ページフォーマット P.6-4: 実寸縦 / 実寸横 / 10"→A4縦 / 15"→A4横 / 15"→B4横 / B4→A4縦 / B4→A4横
  - 上余白 P.6-6: -127 / +000 / +127
  - 用紙位置微調整 P.6-7: -127 / +000 / +127
  - 領域 P.6-9: 標準 / ワイド
  - 右マージン既定値 P.6-9: 136桁 / 右端
  - 用紙サイズ P.6-9: カレント用紙 / A4 / B5 / A5 / ハガキ
- フォント
  - 漢字書体 P.6-10: 明朝 / ゴシック / ID
  - フォントID *P.6-10: 001 / 002 / 999
  - 漢字サイズ P.6-10: システム / 8ポイント / 10ポイント / 12ポイント
  - 文字コード P.6-11: カタカナ / グラフィックス
  - 国別文字 P.6-11: 日本 / ノルウェー / デンマーク2 / スペイン2 / ラテンアメリカ / USA / フランス / ドイツ / UK / デンマーク / スウェーデン / イタリア / スペイン
- 印字機能
  - イメージの補正 P.6-12: しない / する
  - 縮小文字 P.6-12: しない / する
- 印字動作
  - 改行機能 P.6-13: LFコマンドを待つ / 改行
- VFC
  - 連続用紙長 P.6-14: システム / 1行 / 199行
  - 単票用紙長 P.6-14: システム / 1行 / 199行
  - ミシン目スキップ P.6-15: しない / 1行 / 31行
- その他
  - 登録レベル P.6-16: 一時 / 永久

ルートマップの見かた

- 拡張機能 ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- コピー枚数 ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- P.3-7 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
- 1 / 2000 ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中のページ数は取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。

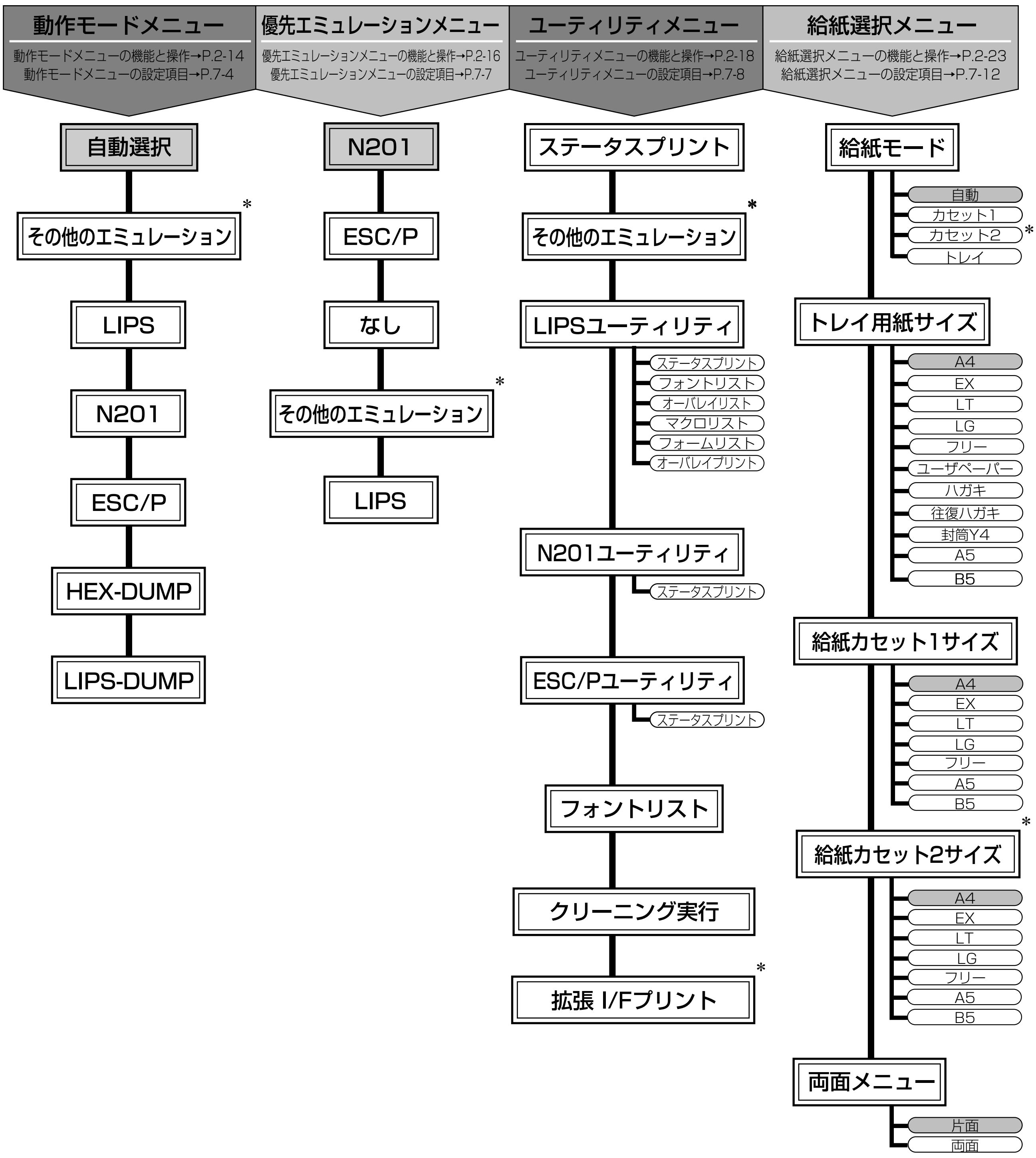
●ルートマップ中の「■■■■」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの∧∨<>の4つのキーを使って操作します。
∧ 上の項目に戻る。
∨ 下の項目に進む。または項目を決定する。
< 左の項目を選択する。
> 右の項目を選択する。

キリトリ線

メニュールートマップ　その他のメニュー編



●ルートマップ中のページ数は取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

キリトリ線

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。

本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。

リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-942AN